



報告事項 2023-2024 第 5 回ガバナー協議会 2024/6/13

報告事項 1

協議会議長

澤 辰水

次期協議会議長決定について

6/1 に開催された新旧引継ぎ会（旧ガバナーエレクト会議）にて、
現 336-B 地区ガバナー藤井 信英 氏が次期協議会議長として正式に決定された。

2024～2025 年度 336 複合地区ガバナー協議会議長決定通知書…………… P5

一般社団法人日本ライオンズ執行理事会・理事会・社員総会 報告

【一社日 L】 第 7 回理事会議事録（2024/01/19 開催）…………… P6～11
【一社日 L】 第 8 回理事会議事録（2024/02/26 開催）…………… P12～16
【一社日 L】 第 9 回理事会議事録（2024/03/19 開催）…………… P17～21
【一社日 L】 第 3 回社員総会議事録（2024/03/19 開催）…………… P22～29

報告事項 2

複合地区年次大会委員長

勝本 竜一

複合地区年次大会総括とお礼

報告事項 3

LCIF コーディネーター

高岡 英治

2024-2025 年度 DGE 研修会について

LCIF 日本リーダーズ会議(第 5 回引継会議)

2024 年 5 月 20 日(月) 10:30～12:00 ウィンクあいち 903 会議室

DGE 研修会 (研修会 1 日目)

2024 年 5 月 20 日(月) 14:00～17:30

DGE 研修会 (研修会 2 日目)

2024 年 5 月 21 日(火) 10:00～13:00 ウィンクあいち 901 会議室

LCIF 日本リーダーズ会議議事次第(第 5 回引継会議)…………… P30

研修会 1 日目 議事次第…………… P31

研修会 2 日目 議事次第…………… P32

2023～2024 年度 DGE 研修概要報告…………… P33～36

2024～2025 年度 寄附目標額…………… P37

グループディスカッションの総括資料…………… P38～39

2024～2025 年度 LCIF 寄付目標額の確認…………… P40～42

LCIF 写真コンテスト 中間報告…………… P43～44

報告事項 4

GMT コーディネーター

池原 堅

【MD336】 第 3 回 GMA・GAT 全体会議議事録（2024/03/22 開催）…………… P45～48

報告事項 5

GMA 世話人

真鍋 隆

国際本部集計クラブ数・会員数（4 月末現在）…………… P49

2023-2024 年度 MD336 会員拡大報告書（2024 年 3 月末現在）…………… P50

報告事項 6

SCP・FWT コーディネーター

鵜飼 恵美

4 月度会員増強報告 P51
 2022～2023 年 各地区支部結成状況（単年度結成分） P52～53
 2023～2024 年 336 複合地区支部結成状況（総数） P54～55

報告事項 7

GLT コーディネーター

西尾 慎一

指導力育成副地区ガバナー研修プログラムの主な変更点について
 研修プログラム最新情報 P56～57

報告事項 8

アラート委員会委員長

西尾 慎一

【一社日 L】第 6 回委員会次第（2024/5/15 開催）※議事録未着 P58

報告事項 9

会則および付則運営マニュアル編集委員会委員長

松岡 諒

6/17（月）第 10 回一般社団法人日本ライオンズ委員会開催

【一社日 L】第 8 回委員会議事録（2024/03/14 開催） P59～61
 【MD336】第 5 回委員会議事録（2024/03/22 開催） P62～63
 【一社日 L】第 9 回委員会議事録（2024/04/24 開催） P64～68

報告事項 10

青少年・ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会委員長

春木 扶佐子

1. 薬物乱用防止活動について

薬物乱用防止教育認定講師養成講座開催について

A 地区 1R～9R で開催

薬物乱用防止教室 2R・3R・7R クラブ単位で多数、開催された
 6R-1Z 高知桜 LC オーストラリアの国際麻薬委員会へクラブから 3 名参加
 高知県立大学サークルとの協力関係の構築を行っている

B 地区 岡山県真備町で薬物乱用防止啓発活動実施

6 月 9 日 岡山表通り商店街で、薬物乱用パレードを予定している

C 地区 認定養成講座 広島市 9 月 23 日 福山市 9 月 24 日で開催

D 地区 山口開催 10 月 21 日 大田市開催 10 月 22 日

「薬物乱用ダメ。ゼッタイ。教室」山口県 30 校 島根県 16 校で実施

2. 青少年活動について

A 地区 子ども食堂支援は丸亀製麺のキッチンカーによる支援が能登半島地震の影響で中止となり、4 月以降に調整中

サン de ウォーク（サンタの衣装を着けてウォーキングしながら募金を呼び掛ける）
 6R～9R で開催され、寄付金・街頭募金を贈呈。子ども食堂支援に繋がった

3. ライオンズクエストメンバー対象の 1 日ワークショップ開催について

A- 地区 3 月 31 日 香川県高松市で開催 20 名参加 次期委員長も参加された
 夏のワークショップに向けてクラブの理解と 4R 内のクエストへの理解を
 深めるために開催 高松東 LC から 13 名参加

B- 地区 開催なし

C- 地区 9 月 20 日 福山市 9 月 21 日 広島市 2 回 開催済

D- 地区 6 月 15 日 山口県 6 月 16 日 島根県 開催予定

4. LCIF 交付金申請について

A- 地区 2024 年 1 月申請（5 月審査）

C- 地区 2023 年申請済（2023 年 7 月 1 日～2025 年 6 月）

5. 次年度ライオンズクエストワークショップ開催予定

- A- 地区 高松東 LC 8月9日 市内学校関係者対象 初めてのWS開催
鳴門 LC 8月20日 市内学校関係者 鳴門市教育委員会
土佐 LC 8月23日 市内・小中学校関係者 土佐市教育委員会
D- 地区 福山私立校3校対象(1R1Z) 7月25日・26日
広島市立亀崎小学校 7月26日

6. 委員会活動

- ・5月14日 広島太田川ライオンズクラブ例会 沖副委員長 ライオンズクエストの説明
- ・5月22日(水) 第3回 web 委員会開催 議事録参照
4 準地区委員長による事業報告・次期への引継ぎ報告
ライオンズクエスト交付金・普及活動についての勉強会

【MD336】第3回委員会議事録(2024/05/22開催)P69~71

報告事項 11

YCE・国際関係・レオ・平和ポスター委員会委員長	蔵本 守雄
--------------------------	-------

6/12(水) 第7回一般社団法人日本ライオンズ委員会開催

【一社日L】第5回委員会議事録(2024/03/13開催)P72~78

【MD336】第5回委員会議事録(2024/06/03開催)P79~80

報告事項 12

環境保全・保健福祉・献血・献眼・視聴覚委員会委員長	田中 秀幸
---------------------------	-------

献血推進・協力実績(2024/01-05)P81

報告事項 13

長期計画委員会委員長	酒井 公一
------------	-------

【MD336】第3回委員会議事録(2024/04/05開催)P82~84

報告事項 14

ライオン誌日本語版委員会委員	上田 隆政
----------------	-------

【一社日L】第9回委員会議事録(2024/04/08開催)P85~88

【一社日L】第10回委員会議事録(2024/05/09開催)P89~92

報告事項 15

国際大会委員長(日本ライオンズ国際大会委員会 MD336 担当委員)	徳永 修
------------------------------------	------

メルボルン国際大会 2024年6月21日(金)~25日(火)

MD336 登録状況 6/5 現在

【現地参加者各位のご所属クラブと現地参加者数】

A: 17名	B: 23名	C: 19名	D: 11名	計: 70名
高知	岡山みらい	宮島口	下関	
坂出白峰	総社雪舟	広島鯉城	出雲中央	
鴨島	岡山西	尾道	大田	
今治東	邑久	広島五日市	宇部かたばみ	
丸亀京極	津山鶴山	広島太田川	防府	
	津山衆楽		徳山	

- ・ 336 のタベ出席者数：63 名 ※タベのみご出席の方 2 名含む
- ・ ジャパンレセプション出席者数：25 名
- ・ 会長晩餐会出席者数（対象：ガバナー以上）：2 名
- ・ 渡航無し、登録のみの方：7 名
- ・ MD336 全登録者数：77 名

【一社日 L】 第 6 回委員会議事録（2024/02/21 開催）	P93～101
【一社日 L】 第 7 回委員会議事録（2024/04/24 開催）	P102～106

その他報告事項



2024 年 6 月 1 日

ライオンズクラブ国際協会
336 複合地区ガバナー協議会
議長 澤 辰水 殿

ライオンズクラブ国際協会 336 複合地区ガバナー協議会 2024～2025 年度協議会議長決定通知書

2024～2025 年度 336 複合地区ガバナー協議会議長選任について、ガバナーエレクト 4 名の総意に基づき下記にて決定いたします

2024～2025 年度 336 複合地区ガバナー協議会議長	
氏 名（ふりがな）	藤井 信英（ふじい のぶひで）
所属地区・クラブ	336-B 地区 岡山みらいライオンズクラブ

336-A 地区ガバナーエレクト

署名

石井淑雄

336-B 地区ガバナーエレクト

署名

上原正樹

336-C 地区ガバナーエレクト

署名

鳴戸 大二

336-D 地区ガバナーエレクト

署名

神田義満

(2023-2024 年度)

一般社団法人日本ライオンズ第7回理事会 議事要録

日時：2024 年 1 月 19 日（金）13：30-16：00

場所：メトロポリタン盛岡ニューウイング（岩手）

出席者：

理事長	田名部 智之（八戸）	理事（公益財団法人日本ライオンズ理事長）
副理事長	池 原 堅（福山久松）【WEB】	不老 安正（大宰府）【欠席】
副理事長	松浦 淳一（岩見沢はまなす）	理事（一般社団法人日本ライオンズ前理事長）
専務理事	増澤 義治（諏訪湖）	村木 秀之（東京数寄屋橋）【欠席】
常務理事	田中 雄一（狭山）【欠席】	
常務理事	栗村 安弘（大船渡）	
常務理事	星野 勝美（太田）【欠席】	監事 今井 文彦（東京巣鴨）【欠席】
常務理事	戸祭 宏樹（鯖江王山）	監事 佐々木 忠康（小樽）【WEB】
常務理事	中谷 豊重（岸和田）	監事 橋本 勝策（焼津）【欠席】
常務理事	澤 辰 水（下関）	監事 岡村 聖爾（下関北）【WEB】
常務理事	新里 正雄（沖縄）	
理事	吉本 晴夫（藤沢中央）	<u>オブザーバー：</u>
理事	須藤 敏幸（伊達）	
理事	松本 宰史（南房総）	法律顧問
理事	吉村 弘吉（和歌山）【WEB】	池田 和 司（東京桜門）【欠席】
理事	玉 川 孝（熊本葵）	会計顧問
		吉田 宗一郎（東京武蔵野）【欠席】
		事務局補佐
		菅原 孝明（八戸）

議題：

1. 議事録作成人の指名 菅原事務局補佐が指名される。

2. 審議及び確認事項：

(第4回執行理事会(1/11)からの継続協議事項)

①2024年1月1日 能登半島地震支援について

- ・池原アラート委員長より現状の報告。334-D 地区より支援要請がまだ届いていないことや、現在行われている支援活動について報告される。台風 19 号支援金の余剰金を今回の地震の支援に充てたい要請がアラート委員会より出ている件が伝えられた。又、アラート委員会としては支援要請を頂きたい、加え現状説明も必要である旨の説明があった。
- ・戸祭常務理事より説明。石川県より個人企業団体は物資搬入について控えるように呼び掛けている為地区ガバナー、議長としても現状は支援要請を出せない状況である事の理解を求めた。
- ・中谷常務理事より かつて 335-B 地区では災害時にアクティビティの残り資金を年次大会で決議後に基金としたことがある。台風 19 号支援金の余剰金については、然るべき決定機関にて決議が必要である旨の意見があった。
- ・増澤専務理事より会計資料が示され、預かり金についてはすべて監査を受けている説明あり。
- ・吉村理事より 現在は預かり金となっているが、アラート準備金を社団内に創設し余剰金は振替の上、速やかに支出できる体制、同準備金を維持する体制が必要、規約を作り総会にかけたほうが良いとの意見あり。
- ・須藤理事より アラート委員会内に資金を準備すること自体は不要ではないかとの意見。
- ・様々な立場から意見が寄せられ、監事へも諮られた。
- ・佐々木監事より 東日本大震災時に金銭問題で事件もあった。出入りについて精査が必要。
- ・岡村監事より 死に金にならないようにすることはよいとは思われるが、現状では用途が明確ではなく、目的以外には使うことができない。理事会に一任する、等、しくみがないと使うことができない。
- ・池原副理事長より、アラート委員会より活けるお金とするため、規約を作りたいと意見が出ている報告。334D 地区へすべてを振り込むわけではなく、必要な支援に対して使える資金としたい。
- ・その後も協議が続き様々な意見が寄せられたが、すぐには使用しないとしても使用についての会則の整備について採決を行いたい旨の提案があり。
- ・松本理事より説明。会則変更で対応すべきである旨の意見があった。
- ・田名部理事長より説明。今後余剰金について使用できるような会則を整備し、社員総会に諮っていくことと、334-D 地区 3 R 3 Z 全被災 LC 1 年間の賛助金の免除について諮ったところ満場一致で承認された。

②入社に関わる定款内容の変更について（第7条2項）

- ・次回への継続審議とする

③総務人事関係

- ・ライオン誌検討委員会報告を田名部理事長より、検討委員会会議次第に沿って説明。

- ①会計の独立についての要望があったが国際本部より会計報告不要の通達あり。又、編集については独立していることを確認した。
- ②余剰金について適正に処理頂きたいとの旨の要望について、社団は全く手を付けていないことを確認している。
- ③ライオン誌検討委員会設置の要望について、既に設置している。
- ④委員長の選考について、他委員会と同様にする。編集長においてのみ互選とする。
- ⑤賛助会費について、80円である事を改めて年次大会に間に合うように調整していく。
- ⑥余剰金の額について、2億2千万とする。経費についてはこれより控除していく。控除後の余剰金については検討委員会、理事会で決定していく事を継続審議とした。
- ⑦社労士等に依頼し客観的に精査し一般的な給与水準と大きく乖離しないように調整していく。
- ⑧社団内事務員の職務分掌等を整備していく。
- ⑨予算について、相見積もりを取り外注費も見直していく。

- ・総務人事管理委員会からの提案文書について田名部理事長より説明。

別紙の通りの給与案である。

- ・法人外部監査について田名部理事長より説明。

ライオンでは無い外部会計監査を入れていく事を考えるがどうか諮ったところ
現行で継続ではどうかとの意見有り。継続審議とする。

◇その他追加協議・報告・確認事項

- ・松本会則委員長より提案事項について説明。
 - a.今年度 MD 年次大会 共通提案事項の確認
- ・賛助会費について30円・50円の区分けがなく、80円となっていることを再確認いただく件
- ・学生会員の新年度からの賛助会費免除の件
- ・国際理事資格審査委員の名称変更に伴う規約変更の報告。
- b.日本ライオンズ組織図変更案について

理事会の下に 8 つの委員会を設置した。執行理事会の位置について、理事会の上にあったものを横へ移動した。

- ・組織図変更について賛成多数で承認。

- ・日本ライオンズ HP について

ロゴの変更など、更新についての説明があった。

- ・第 1・第 2 副地区ガバナーへ向けた勉強会の開催について

田名部理事長より説明。

社団について御理解をいただくべく、日本ライオンズその他の関係性や責任・権限などの勉強会を開催していく。当日の資料案について製作者の松本会則委員長より説明あり。

- ・メルボルン国際大会について

吉村理事より説明。

- a.最新情報の確認（パレード・代議員会開催について等）

早期登録 786 名、パレードは日本一単位として希望者のみで行い、衣装はベスト。

代議員会について、レセプション形式で行われる予定。

- b.ホテル部屋数割り当てについて

- ・560 室 8 ホテルを確保済み。MD 単位でホテル確保を、公認 TC を通し行ってほしい。

- ・収支会計報告書（2023 年 11 月分）について

添付書類の通り

3. 報告事項（直近に開催された会議報告）

- ・ライオン誌検討委員会（12/12 第 2 回）
- ・ライオン誌委員会（1/10 第 6 回）
- ・会則委員会（12/11 第 5 回）
- ・国際大会委員会（1/18 第 5 回）

上記については議案の中ですでに報告済のため省略。

- ・YCE 委員会（1/16 第 4 回）

吉村理事より説明。冬に行った派遣についての説明があった。

夏についての準備をしている。

4. その他報告事項

- ・マニラフォーラム記念誌再発行予定について
不備があり再発行されることの説明があった。

◆今後の予定確認

・2月3日(土)岡山アラートフォーラム開催

池原副理事長より説明。田名部理事長にはビデオメッセージを依頼したい。480名の参加予定

・SON 冬季大会開催情報

(2月11日(日)-12日(月) 北海道名寄市・2月24日(土)-2月25日(日) 長野県長野市)

・GAT 関連会議 2月16日(金)-2月17日(土) 名古屋

◆次回執行理事会・理事会 理事会内委員会 開催予定

2024年2月14日 上半期会計監査 東京

2024年2月19日 第5回執行理事会 WEB

2024年2月26日 第8回理事会 福井県鯖江市

2024年3月19日 第9回理事会・第3回社員総会 東京

2024年4月9日 第6回執行理事会 WEB

2024年4月18日 第10回理事会 沖縄

◇監事講評

佐々木監事より：

ライオン誌の件は注視していきたい。震災支援については全国の動向が知りたい。

岡村監事より：

改革はスムーズに進んでいる。決定事項をガバナーにお伝えいただけるよう議長には配慮いただきたい。アラート基金の件は前述の通り。外部監査の件は団体の規模を考えると不要ではないか。執行理事会の構成員について見直しをお願いしたい。公益財団法人日本ライオンズの公益化の件はMD年次大会にて報告いただきたい。

以上

2024年1月19日

議事録作成人：事務局補佐 菅原 孝明

議事録署名人：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 田名部 智之 【押印省略】

監事 佐々木 忠康 【押印省略】

監事 岡村 聖爾 【押印省略】

(2023-2024 年度)

一般社団法人日本ライオンズ 23-24 年度 第 8 回理事会（鯖江）議事要録

開催日時：2024 年 2 月 26 日(月)13：30-16：00

場 所：福井県鯖江市 富士屋会館

出席者：

理事長 田名部 智之（八戸）
副理事長 池 原 堅（福山久松）
副理事長 松浦 淳一（岩見沢はまなす）
専務理事 増澤 義治（諏訪湖）

常務理事 田中 雄一（狭山）
常務理事 栗村 安弘（大船渡）
常務理事 星野 勝美（太田）
常務理事 戸祭 宏樹（鯖江王山）
常務理事 中谷 豊重（岸和田）
常務理事 澤 辰 水（下関）
常務理事 新里 正雄（沖縄）

理事 吉本 晴夫（藤沢中央）
理事 須藤 敏幸（伊達）【WEB】
理事 松本 宰史（南房総）
理事 吉村 弘吉（和歌山）【WEB】
理事 玉 川 孝（熊本葵）【WEB】

理事（公益財団法人日本ライオンズ理事長）

不老 安正（大宰府）【欠席】

理事

（一般社団法人日本ライオンズ前理事長）

村木 秀之（東京数寄屋橋）

監事 今井 文彦（東京巣鴨）【欠席】
監事 佐々木 忠康（小樽）【WEB】
監事 橋本 勝策（焼津）
監事 岡村 聖爾（下関北）

オブザーバー：

法律顧問

池田 和 司（東京桜門）【欠席】

会計顧問

吉田 宗一郎（東京武蔵野）【欠席】

事務局補佐

菅原 孝明（八戸）

◇参加者確認・挨拶

◆第3回定時社員総会へ向けての協議及び審議事項

① 年次大会での共通提案事項について

松本会則委員長より報告。複合地区会則・国際理事資格審査委員会規約の変更。
ボストン大会での会則変更が反映されている。
330 会則委員長を通じて提出された修正箇所も反映する。
賛成多数で可決。

② OSEAL フォーラム札幌（2025 年）協力金について

松浦副理事長より報告。2,000 円の協力金について各複合年次大会にてお諮り頂きたい。
賛成多数で可決。

③ SON 名寄大会 釧路・帯広レオクラブからの経費補助依頼について

増澤専務理事より報告。交通費宿泊費について報告及び補助について説明。
吉本理事より、SON 委員会内に補助について規約を作ってはどうか。
中谷常務理事より、本来各クラブ単位での補助ではないか。
条件付き（SO 予算で決済、複合ないし地区予算で決済を諮る）で賛成多数で可決。

④ および学生会員 賛助会費免除開始日について

増澤専務理事より説明。学生会員は7月1日、被災クラブについては直ちに。
賛成多数で可決。

⑤ 第3回社員総会開催について(3月19日(火)13:30- AP 日本橋 G ルーム)

(ア) 本日の審議事項より第3回社員総会での審議事項はなし。

報告事項、日本ライオンズ活動報告、各委員会報告のみとする。

3月19日13時30分 AP 日本橋 G ルーム開催、午前中に理事会を開催したい。

以上、賛成多数で可決。

(イ) 参加対象者について

一社日本ライオンズ正社員 55 名、日本ライオンズ各顧問、第一第二副地区ガバナーは
ストリーミング配信をご覧いただきたい。賛成多数で可決。

◇その他継続協議事項・意見交換

① 今後の災害支援のあり方について

池原副理事長より説明。日本ライオンズのアラート委員会を中心として行っていく。
水が不足している事の報告。

② アラート委員会関係

(ア) 台風19号支援金余剰金名称変更および今後について

池原副理事長より説明。

預託金について能登半島地震に使わせていただきたい。賛成多数で可決。

(イ) 現緊急アラート災害支援運営規則（案）・組織図変更について

池原副理事長より説明。委員会、執行理事会にて承認を得た案について承認を得たい。
賛成多数で可決。

③ 定款変更案について

入社承認の件および中谷常務理事からの提案事項について
継続審議とする。

④ コンプライアンス規約・運営について

松本理事より説明。委員会に素案を上げている。今後も報告していくのでご意見を頂戴したい。

⑤ 国際理事との情報交換について

田名部理事長より説明。国際協会からの情報についての報告体制に社团は横にずれている形が多くの
点で問題である。現在三人の国際理事がいるが理事会、総会に出て頂かなくとも情報交換の場を作って
はどうか。

→各理事会構成員に意見聴取した。意見を参考に今後の継続審議とした。

⑥ ライオン誌冬号「獅子吼」掲載内容について

田名部理事長より説明。掲載内容について社团（ライオン誌委員会）としても日本の全ライオンズとし
ても問題と考えている。

今後の対応については報告していく。

⑦ 公益財団法人日本ライオンズとの関係について（資料の確認）

増澤専務理事より説明。資料についてご確認いただきたい。今後内容を検討していく。

◆報告事項

・その他報告

☆ 前期決算報告書について（2月14日 上半期会計監査）

須藤理事より前期決算報告書について説明があった。田名部理事長よりライオン誌委員会等に関わり
のあった積立金2億2千万円について補足報告説明があった。

積立金の名称で、決算報告書欄外に記載することを賛成多数で可決。

☆ 第60回 OSEAL フォーラム決議 最終報告

増澤専務理事より説明。マニラより提出があった決議内容について報告する。

☆ ダイナースカード報告

増澤専務理事より会計報告説明。

・委員会報告

☆ 1/16（火）第4回 YCE 委員会

吉村理事より説明。アプリケーションフォームの件、ベストの件、MD336においてYCE活動無しの
件の報告。

☆ 2/7（水）第7回ライオン誌委員会

増澤専務理事より報告説明。今後の編集について報告。

☆ 2/15（木）第2回アラート緊急会議

池原副理事長より説明。334D 地区ガバナーよりの物資支援についての案内等の報告。

☆ 2/21（水）第6回国際大会委員会

吉村理事より説明。パレードに着用するベスト（ユニフォーム）について、缶バッジについて、交換ピンの件、MD 公認旅行業者間で客室料金の記載等を申し合わせた件、パレードの件について報告。

☆ 2/22（木）第7回会則委員会

松本理事より説明。ライオンズ必携の HP 掲載をする旨の説明があった。

・ 今後の予定の確認

3/19（水）第9回理事会・第3回定時社員総会 東京

4/2（火）サンジープ事務総長との会議

4/9（火）第6回執行理事会 WEB

4/18（木）第10回理事会沖縄（懇親会開催のお知らせ）

6月最終理事会について追って報告する旨の説明があった。

・ 監事講評

・ 佐々木監事より

今年の理事会は、本音がしっかりと出ている。今後も現議長、前議長がイニシアチブを取り進めてほしい。

・ 橋本監事より

やりがいのある社団をつくり頑張って頂きたい。

・ 岡村監事より

規則は簡単で皆がやりやすいよう多く作らない方が良いのではないかな。

以上

2024 年 2 月 26 日

議事録作成人 事務局補佐 菅原 孝明

議事録署名人

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 田名部 智之 【押印省略】

監事 佐々木 忠康 【押印省略】

監事 橋本 勝策 【押印省略】

監事 岡村 聖爾 【押印省略】

(2023-2024 年度)

一般社団法人日本ライオンズ 23-24 年度

第 9 回理事会 議事録

開催日時：2024 年 3 月 19 日(火) 11：00-12：00

場 所：一般社団法人日本ライオンズ

出席者：

理事長	田名部 智之	(八戸)
副理事長	池原 堅	(福山久松)
副理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす)
専務理事	増澤 義治	(諏訪湖)
常務理事	田中 雄一	(狭山)
常務理事	栗村 安弘	(大船渡)
常務理事	星野 勝美	(太田)
常務理事	戸祭 宏樹	(鯖江王山)
常務理事	中谷 豊重	(岸和田)
常務理事	澤 辰水	(下関)
常務理事	新里 正雄	(沖縄) 【Web】

オブザーバー：

法律顧問	池田 和司	(東京桜門)
会計顧問	吉田 宗一郎	(東京武蔵野)
事務局補佐	菅原 孝明	(八戸)

理事	吉本 晴夫	(藤沢中央)
理事	須藤 敏幸	(伊達)
理事	松本 宰史	(南房総)
理事	吉村 弘吉	(和歌山)
理事	玉川 孝	(熊本葵)

理事 (公益財団法人日本ライオンズ理事長)

不老 安正 (大宰府)

理事 (一般社団法人日本ライオンズ前理事長)

村木 秀之 (東京数寄屋橋)

監事	今井 文彦	(東京巣鴨) 【欠席】
監事	佐々木 忠康	(小樽) 【Web】
監事	橋本 勝策	(焼津)
監事	岡村 聖爾	(下関北) 【Web】

議題：

1. 議事録作成人の指名

- ・菅原事務局補佐が指名される。

2. 協議及び確認事項：

① 年次大会 上程議案の確認（1-4 号）

※資料を元に上程議案について確認。

【年次大会 第 1 号議案】 ライオンズ必携第 61 版 複合地区会則改正の件（訂正を含む）

- ・松本会則委員長から複合地区年次大会への上程と、61 版での変更部分、発行後の訂正箇所について説明。

複合地区年次大会にて承認を頂く。

【年次大会 第 2 号議案】 ライオンズ必携 61 版 国際理事候補者資格審査委員会規則改正の件

- ・松本会則委員長から説明。

複合地区年次大会にて承認・可決を頂く。

ライオンズ必携 61 版に掲載された会則内容変更についての年次大会への議案上程は、複合地区のみとすることを第 8 回会則委員会にて協議したことが報告され了承される。

文書を後日配信する。

【年次大会 第 3 号議案】 第 62 回 OSEAL フォーラム(札幌)協力金の件

※(3/7)配信「資料 1 -b」の下記項目を改めた上で

議案の通り承認

* 対象者 :正会員

* 会員数算出日 :2 0 2 4 年 7 月 1 日現在

* 納入締め切り日 :2 0 2 4 年 1 2 月末

- ・対象者について松本会則委員長から、「特典会員（割引を受ける全ての会員）は除く」の表記とすることが提案され了承。

※正しく明記した文書は、日本ライオンズから 8 複合 35 地区に(3/22)再配信済み

【年次大会 第 4 号議案】 一般社団法人日本ライオンズ 賛助会費の件

- ・集め方については地区で違いがあり地区内のルールへは干渉しないが、今年度 8 複合地区で足並みをそろえていくという目的があり、賛助会費 80 円の意味合いのみご理解を頂く。
議長報告事項としたい申し出があり決議は必要ないとして了承を頂く。

【年次大会 第 5 号議案】 賛助会費納入についての MD330 への議案上程について

- ・田中常務理事から、賛助会費の支払いについて地区年次大会にて投票で決議する旨の説明があり。
330 複合地区内ですでに十分なご理解・ご尽力をいただいていることから、上程議案はお願いしないこととする。

② 第 3 回定時社員総会（3 月 19 日（火）13:30-16：00） 進行の確認

- ・増澤専務理事から、全体スケジュールの説明があり全員承諾した

●松本会則委員長から、ガバナーに向けて以下を案内したいと要望があった

- ・次期「クラブ三役研修会」開催時において、会則委員から次の説明をする時間（20～30 分程度）を設けてほしい。

- 1）新役員配布用に「役員必携増刷分」の注文をとる
- 2）加えて、改定・修正箇所の内容説明

社員総会にて、委員長報告の中で案内することを全員承諾した。

③ アラート委員会 池原委員長から能登への拠点設置案について報告

- ・能登にある斉和コミュニティーセンターに仮設シャワーを設置（寄贈）した。費用については後日報告。社員総会出席の 334-D 小出ガバナーには、被災地現状報告をしていただくことになっている。

また戸祭常務理事からは、LCIF では計 20 万ドルの振込と、334-D 支援金口座には皆様からの多くの温かい支援のもと現在 7,000 万円を超えた額が集まっている、支援物資については現場では水が最重要。多品目を時間をかけて届けるよりも、何か一品目に注目して、その安定供給をはかった方が被災地にとっては良きサポートになるのではとの報告・意見があった。

3.その他

- ・今後の行事予定の確認

増澤専務理事から、資料 3 をもとに今後の予定の確認があった。

- ・【訂正】7/22（予定）AM 旧年度理事会（23－24 事業報告と決算の承認）PM 新旧理事会
→（正）7/11（木）

◆その他

●戸祭常務理事から質問

「学生会員」は日本ライオンズ賛助会費免除となるが、国際会費はどうか

→ 松本会則委員長から回答：特典会員にあたるため、半額免除

●新里常務理事から質問

「家族会員」を正会員にしたが、複合会費免除の希望がクラブから上がってきたがどのように対応するか（正会員のため代議員算出数の分母とはなる）。

アラート地区班長の任命についてはどこが任命権を持つか。

→複合地区会費については増澤専務理事から回答：複合会費については複合内での協議をお願いする。

→アラート班長については来年度の人事になるため、次年度委員長となる新里議長も含め協議を行いたいと池原副理事長から回答。

◆村木前理事長からあいさつ

◆監事講評（参加監事から）

- ・社員総会にて講評を頂く。

以上

2024年3月19日

議事録作成人：

事務局補佐

菅原 孝明

議事録署名人：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長

田名部 智之 【押印省略】

監事

佐々木 忠康 【押印省略】

監事

橋本 勝策 【押印省略】

監事

岡村 聖爾 【押印省略】

2024年3月19日(火) 13:30-16:00AP 日本橋 G ルーム

出席者リスト**2023-24 年度正社員【地区ガバナー】**

330-A 地区ガバナー 阿部 かな子
 330-B 地区ガバナー 石田 真一
 330-C 地区ガバナー 田中 雄一 ※
 331-A 地区ガバナー 設楽 幸子
 331-B 地区ガバナー 藤原 回向 【欠席】
 331-C 地区ガバナー 渡部 義男
 332-A 地区ガバナー 大矢 進
 332-B 地区ガバナー 高橋 寛 【欠席】
 332-C 地区ガバナー 渡邊 俊弥
 332-D 地区ガバナー 門馬 弘
 332-E 地区ガバナー 西村 公夫
 332-F 地区ガバナー 石垣 勝康
 333-A 地区ガバナー 鈴木 壽男
 333-B 地区ガバナー 後藤 一男 【欠席】
 333-C 地区ガバナー 北野 淳子
 333-D 地区ガバナー 福田 勝巳
 333-E 地区ガバナー 齊藤 正行 【欠席】
 334-A 地区ガバナー 木野村 好己 【欠席】
 334-B 地区ガバナー 川嶋 富士雄
 334-C 地区ガバナー 前田 磨
 334-D 地区ガバナー 小出 進
 334-E 地区ガバナー 喜多 友一
 335-A 地区ガバナー 山中 健 【欠席】
 335-B 地区ガバナー 西尾 良典 【欠席】
 335-C 地区ガバナー 山本 忍
 335-D 地区ガバナー 廣田 晃一
 336-A 地区ガバナー 山崎 勝彦 【欠席】
 336-B 地区ガバナー 藤井 信英
 336-C 地区ガバナー 三口 巖
 336-D 地区ガバナー 山崎 もとみ
 337-A 地区ガバナー 中村 巧
 337-B 地区ガバナー 下堂 蘭 一将
 337-C 地区ガバナー 古賀 義行 【欠席】
 337-D 地区ガバナー 新里 正雄 ※ 【WEB】
 337-E 地区ガバナー 伊藤 竜彦
 ※DG、CC 兼任

2023-24 年度正社員【理事会理事】

公益財団法人日本ライオンズ理事長 不老 安正
 2022-23 一般社団法人日本ライオンズ理事長 村木 秀之

【2023-24 年度 協議会議長】

MD330 議長 田中 雄一
 MD331 議長 松浦 淳一
 MD332 議長 栗村 安弘
 MD333 議長 星野 勝美
 MD334 議長 戸祭 宏樹
 MD335 議長 中谷 豊重
 MD336 議長 澤 辰水
 MD337 議長 新里 正雄 【WEB】

【2022-23 年度 協議会議長】

MD330 議長 吉本 晴夫
 MD331 議長 須藤 敏幸
 MD332 議長 田名部 智之
 MD333 議長 松本 宰史
 MD334 議長 増澤 義治
 MD335 議長 吉村 弘吉
 MD336 議長 池原 堅
 MD337 議長 玉川 孝

【2022-24 年度監事】 2年任期の2年目

MD330 元議長 今井 文彦
 MD331 元議長 佐々木 忠康 【WEB】
 MD334 元議長 橋本 勝策
 MD336 元議長 岡村 聖爾 【欠席】

正社員総数 55 名（出席 45（うち WEB2）名・欠席 10 名）

【オブザーバー】

法律顧問 池田 和司
 会計顧問 吉田 宗一郎
 事務局補佐 菅原 孝明

(午後 1 時 30 分開始)

・定足数の確認

増澤専務理事から、本日出席者人数の確認。

正社員 55 名中 45 名の出席。定款 17 条 社員総会は、総正社員の過半数の出席がなければ開催することができない により過半数の参加を頂いているため社員総会の成立の確認。

今回は審議事項なしのため議決権行使書での参加は無。

・出席者紹介およびご挨拶

一般社団法人日本ライオンズ 田名部理事長からご挨拶。

・議事録署名人選出、議事録作成人選出

議事録作成人として MD332 栗村常務理事・MD333 星野常務理事。補助として菅原事務局補佐。

議事録署名人として 334-B 川嶋 DG・336-D 山崎 DG を指名。

・議長の指名と議事運営ルールの説明

定款第 16 条 社員総会の議長は、理事長がこれに当たる により、田名部理事長が議長に指名される。

続いて議事運営ルールの説明。

・審議事項

本総会においては無し。異議なしのため報告事項へ移る。

・各種報告内容

① 第 62 回 OSEAL フォーラム（札幌）協力金の件

331 議長・松浦副理事長から説明。

札幌での OSEAL フォーラム開催概要と、すでに配信されている文書に基づき会員一人につき 2,000 円 拠出のお願いと下記の通り説明があった。訂正文は再度配信予定。

対象者 : 正会員（特典会員を除く）

会員数算出日 : 2024 年 7 月 1 日

納入締め切り日 : 2024 年 12 月末

・質疑応答

334-E 喜多 DG・335-D 平田 DG から納入締め切り日について質問。

地区ごとに事情があり、来期 1 回目のキャビネット会議での引き継事項になる場合も問題ないと回答、また 12 月末日という表記については、12 月 31 日で間違いないと確認がなされた。

② 一般社団法人日本ライオンズ 2023-24 年度補正予算案の報告

財務担当責任者である須藤理事から資料に沿って報告があった。

・受取賛助会費について

当初は MD330 の年次大会決議を尊重し、留保となっている MD330 内会員 1 万名分の賛助会費収入を組み込んでいなかった。日本ライオンズのサービスは 330 へも通常通り継続しており、賛助会費留保問題については田中議長を筆頭に解決に取り組んでいただいている。解決への期待を込めて、例年通り計上することとした。

・国際大会・アジアフォーラム関係費

今年度は皆様ご存知の通り日本に国際理事の枠がなく、メルボルン大会での国際理事候補者がいない。例年国際理事候補者に一部費用のご負担を頂いていた代議員会等の費用について日本ライオンズから一部を負担するべく、予算を 130 万から 250 万とした。

・減価償却費

購入（PC）・寄贈された備品（棚）を足し、45 万から 100 万へ修正。

・前年度繰越金取崩収入

留保分賛助会費を補正予算として組み込んだことなどから、当初の 600 万から 0 とした。

・貸借対照表 積立金の記載について

貸借対照表 正味財産の部に「積立金」の項目を追加。2 億 2 千万を計上している。

日本ライオンズの前身である連絡事務所と、ライオン誌日本語版事務所が合併したときからの課題であったお金であるが、田名部理事長が解決に尽力し、ライオン誌日本語版委員会とも協議を重ねた結果、積立金という名称とすることで了承を頂いた。使途については今後の理事会決議をもって有意義に使用していく。

田名部理事長から補正予算案・貸借対照表の積立金の記載について 2 月 14 日に行われた上半期監査の結果であることが報告され、橋本監事より 2 月 14 日に開催された、上半期会計監査報告があり。

（上半期：2023 年 7 月 1 日から 12 月 31 日まで）

・数値的にも事業内容も問題なく、理事の業務についても定款に即し適正に行われている。

・組織運営については、前期からの引き継ぎ事項および田名部理事長の主導によりかなりの改善がみられ、下半期にも期待する。

・事務所運営についても菅原前事務総長の退職後、責任者が空欄であったが今期より増澤専務理事が事務長として着任され円滑な業務遂行がなされている。業務適性分掌など課題についても田名部理事長の主導の下改善が進むと思われる。

・但し、理事の理事会出席率については課題がある。お忙しいとは思いますが改善をお願いしたい。

335-C 山本 DG から 2 点質問。

- ・ MD330 賛助会費問題について、解決はいつか。
- ・ 積立金である 2 億 2 千万について各複合・地区への分配は可能か。

田名部理事長から積立金について説明。

ライオン誌側から現委員長・現編集長・前委員長、
社団側から現理事長・現専務・会計合併時の専務理事、
中立の立場として国際理事 3 名が参加し、計 9 名で「第 2 回ライオン誌検討委員会」を 2023 年 12 月 13 日に開催した。

積立金について元々は金額や貸借対照表への記載も不明瞭であったが検討委員会の中で、
金額を 2 億 2 千万と定めることとし、理事会でも承認された。

監査を受けた際に貸借対照表に記載するべきとの指摘を受け、会計顧問にも相談しライオン誌側にも
納得を頂いた上で、「積立金」として記載をすることになった。

使い道についてはまずは会計合併後にライオン誌発行にかかった金額を控除してほしいとライオン誌
側より要望があり、現在精査中である。下半期にて控除の後、次期以降に議長の皆さんとも相談し、
分配の可能性も含め、残った残金をどうするか協議していくことになる。勝手に使用する、などとい
うことはないのご安心いただきたい。

MD330 田中議長から賛助会費留保についての説明

経緯と現状について説明。現在解決へ向けて複合内地区においても良い方向に進んでいる。

5 月 20 日に行われる 330 複合年次大会において議案として上程予定。

本件は挙手ではなく投票による決議を行う。

335-C 山本 DG から、MD330 から国際理事が出ていることも踏まえ確実な解決をお願いする旨の発言。

③ 賛助会費免除について（学生会員（※特典会員）及び能登半島沖地震被災地区）

松本理事（会則委員長）・田名部理事長から説明。学生会員は賛助会費（80 円）については、
次年度が始まる 2024 年 7 月 1 日より免除とし、能登半島沖地震被災地区（334-D 地区 3R3Z 約 170 名）
については即時免除（復興の状況を見て、免除期間は都度判断していく）とする報告。

333-A 鈴木 DG から同じく地震で被害を受けた 333-A 地区（新潟）内のリジョン・ゾーンについて問い
合わせがあり。増澤専務理事から、333-A 地区はアラート委員会や緊急支援は辞退されたと聞いているが、被災状況が判明したら地区内で相談の上、問い合わせをいただくよう回答。

田名部理事長から、今後の災害でもクラブからガバナー、ガバナーから議長へご報告いただき、議長から執行理事会へ上程いただいた上で協議する、ガバナーの思いをしっかりと反映していくと回答。

335-C 山本 DG・331-A 設楽 DG からの特典会員の賛助会費についての質問を受け、特典会員についても賛助会費を免除する、学生会員の表記は適切でなく、特典会員と表記すると田名部理事長から回答があった。

④ 日本ライオンズ・アラート委員会緊急支援金口座及び一般社団法人日本ライオンズ・アラート委員会運営規則改訂の件

・アラート委員会緊急支援金口座（日本ライオンズ・アラート委員会緊急支援金口座）

池原副理事長から説明。資料の通りに、緊急支援金口座の残金と資金を能登の地震の支援への使用について説明。

今後被災地・アラート委員会とも使途について協議していく。

・一般社団法人日本ライオンズ・アラート委員会運営規則改訂・今年度アラート委員会新組織図について

資料に基づき説明。緊急時の迅速な対応を行えるように一部内容の改定を行った。

緊急支援金については、台風 19 号緊急支援金の残金である事、当該緊急支援金の速やかな使用計画についてスムーズに対応できるよう理事会にて協議した旨の説明があった。

・334-D 小出 DG から被災地の現状などについて報告。

地震発生直後は人命救助を優先し、県からの指示があった通り、1月26日までボランティアの受け入れを待っていただいていた。現在支援物資のニーズの見極めなど、支援活動を継続中。

LCIF からの災害緊急援助金 10 万ドルについては複合に能登半島地震救済委員会が設置され、毎週会議を開いて使い道を精査している。

今後支援が復旧・復興と次のステップへ進むにつれ支援者が利用するベースキャンプの設置も必要になってくるのではないかと。皆様には引き続き温かいご支援とご協力をお願いしたい。

皆様に頂いた 334-D 地区口座への支援金についても使い道を精査し、能登の皆様と、被災クラブの火が消えないように使用させていただきたい。

332-C 渡邊 DG から

支援金の原資についての質問と、これから長い時間をかけて復興が進んでいくことを考え、災害時国内にて有効かつ緊急に使いやすい財源の確保について検討いただきたいと要望があった。

田名部理事長から、今回の支援金は台風19号支援金の残金であり、使えばなくなるお金である。現在約680万が緊急時にすぐ使えるお金の上限である。新たに災害が発生したときの対応について今後議論し、今期で解決もしくは来期への申し送り事項になると思われるが良く議論していきたい。その後LCIFへの指定献金についての質問があり、田名部理事長・増澤事務長から補足説明。指定献金の場合すべて該当の地区へ行くと回答あり。その後も質問と意見交換が続き、田名部理事長からLCIFのルールを理解した上で今後議長・ガバナー・社団で一緒にルールを構築してゆくことが大切であると呼びかけ。

その他活動報告

・各委員会報告

☆国際大会委員会

吉村委員長からパレード頒布品（ベスト・ピン・缶バッジ）についての説明、現時点での大会登録人数約800名。その他代議員会等詳細について、決まり次第報告する旨の説明があった。

☆YCE委員会

吉村委員長から新ユニフォームであるベストの仕様の報告、23-24春・夏期交換における現時点での来日人数66名、派遣人数99名である事の報告。

☆ライオン誌委員会

増澤専務理事からライオン誌発行状況やWEB版についての説明報告。

☆スペシャルオリンピックス委員会

増澤専務理事から冬季ナショナルゲーム開催状況の報告。

報告の後、公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 平岡拓晃理事長（柔道家・ロンドン五輪銀メダリスト）が登壇され田名部理事長・村木前理事長へメダルと感謝状が贈られ、ご挨拶とお礼を頂く。

☆会則委員会

松本会則委員長から、ライオンズ必携61版改定内容と、発行後の訂正箇所も併せて複合地区年次大会での事後承認をお願いすると報告。役員必携については5月に行われる次期クラブ3役研修に役立ててほしいことと、第1副地区ガバナーと相談の上注文を頂きたいこと、会則改正について周知するためのビデオを作成中であることが伝えられた。

前回の総会で質問があった地区ガバナーが退会後復活した場合の経歴の復活についてはOSEALへ問い合わせたところ元々の会員NOを含め復帰の申請が必要であると回答を頂いたと報告。復帰についてさらに細かい内容について質問があったが後日OSEALへ問い合わせると回答。

その他、会則委員会にて協議中であるコンプライアンス委員会の現状について報告。

☆国際理事候補者資格審査委員会

松本会則委員長から名称変更の報告。複合・地区にてエンドースを取られた方は日本の代表として皆さんの応援を受けることができるよう、ぜひとも日本ライオンズにて資格審査を受けてほしいと呼びかけ。

☆アラート委員会

池原副理事長から報告。岡山で2月3日に開催された岡山フォーラムの参加者数および内容の報告。次年度は333-E地区（茨城）で開催。

☆ライオンズクエスト・薬物乱用

玉川委員長から報告。ご協力をお願いしていたアンケート結果で地区の状況や考えを知ることができた。皆様にもご覧いただきたい。

・その他活動報告

☆公益財団法人日本ライオンズ

不老理事長から財団の活動へのご協力のお礼と報告。

財団の事業であるフットサル大会について去年開催された第2回の決算報告と、今年開催される地区大会・全国大会の予定が発表されぜひ応援にきていただきたいと呼びかけ。

・報告への質疑応答

332-D 門馬 DG から社団と財団が両輪として長く活動いただけるように LCIF との兼ね合いや、会員の意見が反映される仕組み作りに取り組んでほしいと提案と要望。

不老・田名部両理事長から皆様に理解いただけるような仕組み作りへ取り組んでいくと回答。

・監事講評

佐々木監事から講評。

大変実りの多い会議であったと思う。北海道出身の修道女・渡辺和子氏の著書「置かれた場所で咲きなさい」にあるように皆さんにも出会い・喜びを共有し、互いに知見を頂き、残り3カ月となった今年度において掉尾を飾ってほしい。

以上

2024 年 3 月 19 日

議事録作成人：

常務理事 栗村 安弘

常務理事 星野 勝美

事務局補佐 菅原 孝明

議事録署名人：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 田名部 智之【押印省略】

334-B 地区ガバナー 川嶋 富士雄【押印省略】

336-D 地区ガバナー 山崎 もとみ【押印省略】



LCIF 日本リーダーズ会議（第5回引継会議）

2024年5月20日 10:30-12:00

ウインクあいち 9階 903会議室

議事次第

司会進行：松岡エリアリーダー

- | | | | |
|----|---------------|---------|-------------|
| 1. | 開会の挨拶 | 鈴木理事 | 10:30-10:35 |
| 2. | 挨拶 | 山田元国際会長 | 10:35-10:45 |
| 3. | 各メンバーの総括/あいさつ | | 10:45-11:30 |

今期最後の会議ですので、今年度リーダー全員から一言ずつ総括いただきます。来期の新メンバーの皆様にもご挨拶いただきます。一人1分半でお願いします。

- | | | | |
|----|---|---------------|-------------|
| 4. | DGE 研修の準備 | | 11:30-11:55 |
| | <ul style="list-style-type: none">● 研修の概要● リーダーズの役割● 資料について | | |
| 5. | 次回会議（2024-2025 年度第1回） | 2024年 7月 22日 | |
| | （地区コーディネーター研修1日目の午前） | | |
| 6. | 閉会の挨拶 | 鶴嶋 ID・エリアリーダー | 11:55-12:00 |

昼食休憩

昼休憩時間中に、研修会グループディスカッションでの役割分担を決め、打ち合わせをしてください。DGE 研修は午後2時開始です。開始10分前までに会議室にお戻りください。



Lions Clubs International
FOUNDATION

2023-2024 年度 DGE 研修会

1日目 2024年5月20日(月) 14:00 - 17:30

2日目 2024年5月21日(火) 10:00 - 13:00

名古屋・ウインクあいち

議事次第

<研修会1日目> 903会議室

司会進行: LCIF西日本エリアリーダー L. 松岡 勲

- | | | | |
|--|---------------|----------|-------|
| 1. 開会の挨拶 | LCIF理事 | L. 鈴木 誓男 | 14:00 |
| 2. 挨拶 | 元国際会長・LCIF 理事 | L. 山田 實紘 | 14:10 |
| 3. 研修会の概要とスケジュール | 事務局 | | 14:30 |
| 4. LCIF の開発目標と活動 | | | 14:45 |
| <ul style="list-style-type: none">• 世界の方針、日本の方針• 日本への寄付の分析• 寄付と交付金 | | | |

LCIF 理事 L. 鈴木 誓男

休憩(15分)

15:45-16:00

- | | |
|---|-------|
| 5. グループディスカッション(現状分析と課題の明確化) | 16:00 |
| <ul style="list-style-type: none">• 2MD 毎、4つのグループに分かれてディスカッションします。• 地区の開発目標を達成するためには、クラブおよび会員の寄付参加を高める地区戦略が必要ですが、そのために、まず現状を把握し、課題を明確にします。 | |
| 6. 1日目の総括 | 17:00 |

会議終了後、18:00から懇親会を行います。会場の11階1101会議室に移動してください。

<研修会2日目> 901会議室

司会進行:LCIF西日本エリアリーダー L. 松岡 勲

- | | | | |
|--|------------|----------|--------|
| 1. 再開の挨拶 | LCIF理事 | L. 鈴木 誓男 | 10:00 |
| 2. 初日レビュー及び2日目スケジュール | | 事務局 | 10::10 |
| 3. LCIF の事務局支援 | | | 10:30 |
| • 寄付・表彰 | | | |
| • 広報・リソース | | | |
| (フォトコンテスト延長と作品応募について) | | | |
| 4. グループディスカッション(目標達成への SMART な行動計画の策定) | | | 10:45 |
| • 研修1日目と同じグループでディスカッションします。 | | | |
| • 地区の行動計画が、1日目に明確にされた課題に取り組みながら、来期の開発目標達成に向けて、①具体的に、②測定可能な、③達成可能な、④現実的な、⑤期限を定めて実行するものとなっているか確認します。 | | | |
| • LCIF 日本のリーダーと来期の開発目標について合意し、目標達成の進捗を確認する時期、頻度、方法について確認します。 | | | |
| 5. ディスカッションの報告 | | | 11:45 |
| 6. 国際大会、7月コーディネーター研修および9月 LCIF 理事長訪問について | | | 12:45 |
| 7. 閉会の挨拶 | 全日本エリアリーダー | L. 丸山 正芳 | 12:55 |

2023-2024 年度 DGE 研修

概要報告

オセアル調整事務局 LCIF 課

2024 年 5 月 20 日及び 21 日の2日間にわたり、名古屋ウインクあいちにおいて、2024-2025 年度の日本各地区の LCIF 開発目標を策定する DGE 研修が行われました。以下に報告します。



研修1日目 5 月 20 日 司会進行:LCIF 西日本エリアリーダー L. 松岡 勲

1. 開会の挨拶 LCIF 理事 L. 鈴木 誓男

地区大会を無事終えられ、ガバナーエレクトになられた皆様おめでとうございます。これから地区のトップリーダーとして地区のメンバーに LCIF の重要性を伝え、LCIF に寄付をし、ライオンズの奉仕の推進に責任ある立場になられます。経験豊富な次期議長及び LCIF のリーダーと連携し、共にメンバーに LCIF への継続的な支援を呼びかけていきましょう。今期、日本は既に 1,005 万ドルの目標を達成し、1,100 万ドルに近づいているところです。現在の為替で 15-16 億円という数字です。これまでにない目標達成にご協力いただきましたことにも感謝申し上げます。

2. ご挨拶 元国際会長・LCIF 理事 L. 山田 實紘

本日の研修は DGE の皆さんのための研修です。今、皆さんはガバナーになる責任とクラブをリードしていこうという熱意を心に感じていることと思います。ライオンズクラブのメンバーになったきっかけは様々だと思いますが、立場が人を作り、責任感が生まれます。最近ではガバナーのなり手不足が大きな問題になっていますが、ボランティア活動の真の意味とライオンズの役割について、今一度しっかりと考える必要があります。今、世界中で自然災害が頻発し、今まで以上にライオンズの支援が求められています。支援の担い手を維持するためにもミッション 1.5 で会員数を増やし、LCIF への寄付を通じて支援する資金作りをしているのです。日本はこれまで長年最大寄付国として世界をリードしてきました。今期も 15-16 億円の素晴らしい実績を残しました。しかし、ライオンズと双璧をなすロータリークラブは、年間 300 億円の寄付を集めています。ライオンズはキャンペーン 100 で、せめてその3分の1の年間 100 億円を集められる LCIF にしようと動き始めました。メンバー全員が1人 100ドルをし、MJF をしてくれるメンバーがいれば達成できない数字ではありません。ここに集まる皆さんはそれを十分に理解されていると思いますが、その重要なメッセージをクラブのメンバーに伝えるのがガバナーの仕事です。今日は活発な議論を期待いたします。

3. 本日の研修について グループリーダー L. 濱島 清美

今日の参加者名簿をみると皆さんのタイトルが「地区ガバナーエレクト」となっています。まさにガバナー就任が近づいており、緊張感が高まっていると思います。来期の地区目標の設定が今月末に迫っています。シカゴQセンターでは、優れたリーダーのビジョンや戦略について学びました。メンバーの LCIF への理解を高めることが求められている中、変革が求められており、それぞれが地区の成功に向けた着実な取り組みを行うことが求められています。ガバナーは自分が何をするか、仲間と一緒に力を合わせて何をするかを考え、成果を出されることを期待します。

4. 研修の目的

オセアル調整事務局 LCIF 課 本間より、2日間のスケジュールと研修の目的について説明。

研修の目的は、来期の各地区の LCIF 目標を確定すること。特に以下に留意。

- 来期の目標数値と SMART な行動計画の策定、および目標達成を可能とする地区の体制づくり
- LCIF の MD コーディネーターやエリアリーダー、その他の LCIF 日本のリーダーと親睦を深め、来期一年間を通じて相談や進捗確認ができる体制づくりを始めること

より具体的な行動計画を策定するために、2MD毎に分かれてグループディスカッションを行い、1日目は現状分析と課題の明確化、2日目は目標達成への SMART な行動計画の策定をテーマにして意見交換し、数値目標の確定と地区の行動計画にさらに磨きをかけることを目的とした研修。

5. LCIF の開発目標と活動 パワーポイント資料1.「LCIF の開発目標及び寄付の分析」を参照

• 世界の方針、日本の方針 LCIF 理事 L. 鈴木 誓男

今期の LCIF の当初目標は 5,250 万ドルでスタートしたが、既にこの目標は達成され、シーハン理事長は現在 7,000 万ドルのストレッチ目標を掲げ、組織を上げて取り組んでいる。この目標も国際大会までには達成される見込みである。会則地域によって貢献度には差があるが、日本をはじめとするオセアル地域が寄付の半分を担っている。アメリカなどの状況を見ると、会費が低く、カバーする地域が広大で、組織的な活動が大変難しい。その点、日本は経験もあり、組織力もある。これからは日本が世界をリードする活動を推進し、メンバーの皆さんにも LCIF を通じて世界に貢献することの重要性をご理解いただけるよう、ガバナーは LCIF チームで全てのクラブ例会訪問を実現させることを目指して欲しい。

• 寄付の分析

事務局マーズおよび本間より、会則地域毎のデータ、日本の寄付データについて説明。
データはパワーポイント資料1を参照のこと。

6. グループディスカッション（現状分析と課題の明確化）

2MD 毎に分かれ、1時間で地区目標を達成するための現状分析を行い、課題について議論した。

7. 1日目の総括

各 MD の代表がグループでのディスカッションについて報告した。要点は別添 PDF「1日目ディスカッションの総括」を参照のこと。



研修2日目 5月21日 司会進行:LCIF 西日本エリアリーダー L. 松岡 勲

1. 再開の挨拶 LCIF理事 L. 鈴木 誓男

おはようございます。今日から参加される MD330 のガバナーエレクトの皆様、朝早くからご苦労さまです。昨日もお話しましたが、今期、ブライアン・シーハン理事長は、7,000 ドルという前例のない目標を掲げています。達成できると信じています。より多くの人々を助けるためにも、来期は今期以上の目標を頑張ってくださいと思います。

2. ご挨拶 元国際会長・LCIF 理事 L. 山田 實紘

これまでガバナーエレクトを対象とした LCIF の研修がありませんでした。ガバナーが地区で LCIF のことを伝えていかなければならない責任を担うなかで、ガバナーになる前に行われるこの研修は非常に有意義なものです。ガバナーはメンバーに LCIF への寄付をお願いする役割です。ガバナーが謙虚にお願いすることが評価されるところでもあります。この研修でしっかりと話し合っ、一緒に頑張っていきましょう。

3. 初日レビュー及び2日目スケジュール

初日レビューは、冒頭で松岡エリアリーダーが、現状把握と課題の SWOT 分析を行ったことを振り返った。事務局本間より2日目スケジュールの説明があり、グループディスカッションでは、

- 来期の寄付目標額の確認
- 目標を達成するための SMART な行動計画の策定
- MD コーディネーターを中心とした LCIF 日本のリーダーとの進捗確認の方法とスケジュール

について話し合い、最終確認することの説明が行われた。

4. LCIF の事務局支援

• 寄付・表彰 パワーポイント資料2.「寄付と表彰」を参照

LCIF 寄付者サービス・スペシャリストの塚田より、寄付から表彰までの流れ、寄付の種類や方法、及び LCIF の表彰一覧について説明。特に寄付記録データの確認について、地区キャビネットの事務局員の皆様に協力いただいているため、来期ガバナーの皆様にも支援の継続をお願いした。

• LCIF の広報・リソース パワーポイント資料3.「LCIF.jp サイトについて」を参照

LCIF コミュニケーション・スペシャリストの藤井より、日本のライオンズに LCIF の情報をいち早く伝え、より良く理解いただくために立ち上げられた LCIF.jp サイトから取り込める情報及び各種リソースについて説明。また、現在開催中の LCIF 写真コンテストについて、応募状況に関する中間報告と今期末まで延長される募集に各地区から応募いただきたい旨説明された。

(パワーポイント資料4.「LCIF 写真コンテスト募集中間報告」を参照のこと)

鶴嶋国際理事・LCIF 東日本エリアリーダーより、これまでに行われた交付金事業でもいいので、各 MD で 10 作品の応募に協力いただきたいとの要請があった。

濱島グループリーダーより、写真撮影の際の個人情報の保護について質問がなされ、事務局マーズより、写真の広報への使用について説明し、同意書に署名をもらう必要があるとの説明があった。写真コンテストでは同意書のひな型を応募ウェブに掲載している。

また、事務局マーズより、LCIF の活動をもっと知っていただくための広報資料として使える写真が少ない現状があり、写真の重要性を知っていただく意味も込めて写真コンテストを行っていることが説明された。是非、生き生きとした活動の写真を応募いただきたい。

5. グループディスカッション(目標達成への SMART な行動計画の策定)

2MD 毎に分かれ、1 時間で来期の寄付目標と行動計画の確認を行った。

6. ディスカッションの報告

2024-2025 年度の各地区の寄付目標額が確認され、全日本で 10,288,000 ドルを目標とすることが決まった。各地区の数字は別添 PDF「2024-2025 年度 LCIF 寄付目標額」を確認のこと。

各 MD の代表によるグループでのディスカッションについての報告及び講評は、別添 PDF「2日目ディスカッションの総括及び講評」を参照のこと。



7. 7月～11月の主要行事 協議会議長および地区ガバナーは参加

7月22-23日	地区コーディネーター研修	名古屋・ウインクあいち
9月24日	LCIF 理事長公式訪問	式典及び晩餐会 名古屋・マリオットアソシアホテル
11月26日	国際会長公式訪問	式典及び晩餐会 大阪・リーガロイヤルホテル

8. 閉会の挨拶 全日本エリアリーダー L. 丸山 正芳

2日間大変ご苦労さまでした。DGE の皆さんが真剣に話し合っている様子に心より感動いたしました。DGE 研修で確認したことを実行し、来期は素晴らしいガバナー一年にさせていただきますことを祈念して、閉会とさせていただきます。ありがとうございました。



2024-2025年度 LCIF寄付目標額 5/21 DGE研修で確認

地区	エリア	FY24-25目標（案）	FY23-24実績 （5月13日速報値）	5/21 DGE研修で 確認の数字
330-A	東京	500,000	495,235	500,000
330-B	神奈川・山梨・東京	500,000	511,953	510,000
330-C	埼玉	180,000	245,746	200,000
MD330計		1,180,000	1,252,934	1,210,000
331-A	道央	260,000	407,766	270,000
331-B	道北・道東	150,000	109,181	150,000
331-C	道南	120,000	139,561	150,000
MD331計		530,000	661,508	570,000
332-A	青森	130,000	122,242	130,000
332-B	岩手	100,000	84,970	100,000
332-C	宮城	100,000	101,646	95,000
332-D	福島	130,000	140,881	120,000
332-E	山形	100,000	102,393	75,000
332-F	秋田	50,000	30,702	60,000
MD332計		610,000	582,817	580,000
333-A	新潟	220,000	244,414	220,000
333-B	栃木	130,000	102,572	130,000
333-C	千葉	250,000	258,317	250,000
333-D	群馬	150,000	149,895	150,000
333-E	茨城	500,000	628,425	500,000
MD333計		1,250,000	1,383,622	1,250,000
334-A	愛知	1,100,000	1,027,827	1,100,000
334-B	岐阜・三重	340,000	383,345	340,000
334-C	静岡	300,000	347,163	300,000
334-D	富山・石川・福井	400,000	374,045	400,000
334-E	長野	260,000	283,525	260,000
MD334計		2,400,000	2,415,905	2,400,000
335-A	兵庫東(神戸)	200,000	203,254	200,000
335-B	大阪・和歌山	900,000	877,115	900,000
335-C	滋賀・京都・奈良	550,000	668,812	550,000
335-D	兵庫西(姫路)	200,000	269,331	200,000
MD335計		1,850,000	2,028,515	1,850,000
336-A	徳島・高知・香川・愛媛	400,000	487,762	448,000
336-B	岡山・鳥取	200,000	215,575	220,000
336-C	広島	250,000	314,814	260,000
336-D	山口・島根	200,000	239,392	220,000
MD336計		1,050,000	1,257,543	1,148,000
337-A	福岡・長崎	500,000	565,728	500,000
337-B	大分・宮崎	200,000	127,243	200,000
337-C	佐賀・長崎	230,000	255,065	230,000
337-D	鹿児島・沖縄	200,000	229,763	200,000
337-E	熊本	150,000	149,533	150,000
MD337計		1,280,000	1,327,331	1,280,000
全日本合計		10,150,000	10,910,173	10,288,000

1 日目グループディスカッションの総括

テーマ：現状分析と課題の明確化

MD333 L. 中嶋 2024-2025 年度 MD333 コーディネーター

- A 地区 当事者意識に問題がある。組織の改革－クラブの会長へのアプローチを強化
- B 地区 特別家族会員が多い。どうしよう？LCIF への貢献は心配。1 人 100 ドルの推進、地区委員の活動の強化。委員会構成をしっかりとやる。
- C 地区 円安の影響が心配。1 人 100 ドルを推進。寄付者へのアワードをしっかりとやる。
- D 地区 会員の減少⇒寄付の減少。会員増強を図り、LCIF への貢献
- E 地区 LCIF 委員会の強化（独立させてやる）今期同様に来期も 50 万ドルを目標にする。

MD331 L. 及川 2024-2025 年度 副エリアリーダー (MD331/MD332)

- 現状分析－会員の LCIF への理解度が不足している。寄付 0 クラブがある。寄付の参加率が低い。高額寄付者に頼っている。
- 準地区間の差が大きい。
- 課題－準地区で差があるのは、準備の問題。過去最高の成績を残したガバナーは、ガバナーになる前の 2 月から計画・準備を進めて 5 月には来期のスタートが切れるように準備されていた。成績の悪いガバナーは、7 月になってから準備を始めた。
- 公式訪問も早めにやり、期中にもう 1 回やることをお願いできると効果があると思う。
- 組織作りの際に、FVDG がコーディネーターをやると期の後半は忙しくなって話もできなくなる。FVDG ではないリーダーを立てることも大事

MD332 L. 谷岡 2023-2024 年度 副エリアリーダー (MD331/MD332)

- 今、DGE は非常に前向き
- 東北にはたくさんの消滅可能地域がある中で、LCIF へのモチベーションを上げるには、ガバナーがいち早く準備をして、活動に取り組むことが大事だと考えている。
- トップの熱意があれば、いい成績が残せると思う。
- 東北は果物×FWT でピーチスタンドやアップルススタンドなどのファンドレイジングが根付いている。特色を持ったファンドレイジングをさらに推進したい。
- 前期 50 ドル、後期に 50 ドルで 100 ドル寄付をする場合に、前期のはじめ、後期のはじめに前倒しにしてやるように変えていきたい。⇒準備を早く取り掛かることにも影響する。

MD334 L. 原口 2024-2025 年度 MD334 コーディネーター

- 課題・問題点—セミナーの開催が遅い。LCIF の説明が遅くなり、取り組みが遅れる。
- D 地区は県（岐阜・三重）をまたいでいて、連携が悪い。⇒改善
- 円安の影響
- クラブの理解が低い。夏 L、遠藤 L の指導に期待
- リジョンチェアパーソン（ゾーン）を LCIF の委員につけて活動を強化

MD335 L. 高井 2024-2025 年度 MD335 コーディネーター

- A 地区 DGE と C 地区 DGE が欠席。A 地区は来期も 20 万ドル
- B 地区 北畑 L と夏 L が築いてきた様々ノウハウの上に活動を推進
- D 地区 C 地区に倣って、地区の代議員会でメンバーは 1 人 100 ドル、役員は 1 人 1,000 ドルのノルマで、来期も上乘せできるように頑張る。今年のガバナーが地区大会で決議した。

MD336 L. 藤井 2023-2024 年度 MD336 コーディネーター

- 今期の目標を達成し、来期も同様に頑張る
- 20 ドル寄付がまだ根強く残っているので、この改善を図る
- 集中セミナーが功を奏したので、来期は複合でも集中セミナーを行い、準地区に落とし込んでいく。
- 円安の影響 B 地区ではいきなり 100 ドルではなく、アシスト 70 というテーマで 1 人 70 ドルを推進した。100 ドルまでにそういうステップがあってもいいかもしれない（1 万円やりましょう！）

MD337 L. 二場 2024-2025 年度 MD337 コーディネーター

- 強みは個人寄付が多いことだが、これが逆に弱みにもなる。
- 全ての会員が参加できる機会の創出
- 会員数の減少、高齢化、円安
- 地区会費の値上げ⇒LCIF への影響
- 役員が 1 年で交代し、意識不足
- ガバナーが率先して取り組むことの重要性を共有
- MD チームで研修し、各準地区に落とし込んでいきたい。

2 日目グループディスカッションの総括

テーマ：目標達成への SMART な行動計画の策定

<報告>**MD330 報告 L. 櫻井 2024-2025 年度 MD330 コーディネーター**

- MD330 の 3 地区は今年の目標を上回る目標を設定
- 参加した 2 人の DGE は現状を把握しており、来季にはセミナーを開催し、情報を広める予定
- 来年度 3 月までに全地区で目標を達成するとの力強い言葉があった、期待しながら、一緒に頑張りたい。

MD333 報告 L. 中嶋 2024-2025 年度 MD330 コーディネーター

- 来期の地区年次大会までには各地区目標を達成したい。
- その方法として、諮問委員会や地区キャピネット会議での情報共有、及びクラブ訪問を通じた周知活動を行う。

MD331 報告 L. 美田 2024-2025 年度 MD331 コーディネーター

- MD331 の来期は、前年度比で大幅に目標を増額する。
- 現状把握に基づく来期の戦略では、セミナーを期の前半に 2 回開催し、状況を見て、さらに期の半ばで開催を予定したい。
- クラブ会長にも周知を徹底し、リジョン担当者を活用してチームとして活動
- 交付金やアワードの活用も推進し、MD の LCIF 活動の活性化に努める。

MD332 報告 L. 佐野 2023-2024 年度 MD332 コーディネーター

- 東北は、まだ LCIF の認知度が低い。時間はかかるが、地道な活動を続けていきたい。
- 来期の目標額は、MD 全体では前年度と同じような数字となる。6 名のガバナーエレクトから目標達成の決意を聞き、大変心強く感じている。

MD334 報告 L. 山田 2024-2025 年度 MD334 副コーディネーター

- MD334 の来期目標額は前年と同額だが、目標を 100%以上達成することを目指すことを前提にした
- LCIF セミナーを年 4 回開催し、各地区での実施計画は 5 月末までに提出する。
- 各地区で 8 月に LCIF 例会を開催し、早期の目標達成を目指す。
- 12 月までに 80%、2 月までに 100%達成を目指す体制を組んでいきたい。

MD335 報告 L. 高井 2024-2025 年度 MD335 コーディネーター

- 335 複合地区の LCIF 研修会が 10 月に決まっている。
- A 地区ガバナーエレクトは本日欠席。寄付目標の数字は野木 L が確認。
- B 地区は、リジョン単位の研修を早めに実施し、十分目標達成できる予定。各リジョンでそれぞれ 10 回の研修会を実施する計画
- C 地区は、地区の決議として全員 100 ドル寄付することが決まっており、役員は MJF 寄付をすることが決まっている。これを実行すれば目標は十分達成できる。
- D 地区は、8 月に地区の研修会の予定し、その後、複合の研修会が予定されている。12 月までに 80%、2 月までに 100%達成の予定
- 各地区でリジョンごとに研修会を開催し、目標達成を目指す。

MD336 報告 L. 高岡 2024-2025 年度 MD336 コーディネーター

- MD336 は、今期上位の成績を上げ、現在、次期ガバナーへの引継ぎを行っている。
- 6 月にクラブ設定目標を文書で案内し、早期に LCIF の重要性和ミッション 1.5 を周知する。そこで上がってくる数字をできるだけ早く集計し、必要に応じて修正する。例年クラブは、示された目標よりアップした数字を出してくるが、実際その通りに実行できるかどうかは別の問題。問題は早期にガバナーと話しあって進めていきたい。
- 来期はすぐに公式訪問が始まる。公式訪問の場で、ガバナーにはクラブ会員に LCIF の重要性和ミッション 1.5 を周知していただく。これが一番大事なこと。
- セミナーも、できるだけ早めに実施し、コーディネーターは各地区を回りたい。
- 目標達成は、1 月末までには 85%から 90%は達成を目指す。
- ガバナーと一緒に協力しあって頑張っていきたい。

MD337 報告 L. 二場 2024-2025 年度 MD337 コーディネーター

- MD337 のガバナーは士気が高く、LCIF チームの研修を最初に行う。7 月 10 日に第一回目のセミナーを開催し、前年度と同じ目標数値を早期に達成することを目指す。
- 会員向けのセミナーを 10 月に行い、状況を見ながら 1 月にも開催する。
- 今期はスタートダッシュをかけ、できる限り早い段階で数値目標を達成したい。進捗確認は毎月行い、ガバナーと LCIF チームで進捗を管理する。

<講評>

L. 山田 實紘 元国際会長・LCIF 理事

目標設定は重要です。オークブルックでは、はじめに達成可能な目標を設定し、進捗を図りながらストレッチ目標を設けることが多いですが、より高い目標を設定することは大切です。ロータリークラブとライオンズクラブの寄付集めの違いは、ロータリークラブは設立当初から財団を設立し、資金を集めて困っている人々を支援するシステムを築きました。一方、ライオンズクラブは労力奉仕を提供する活動からスタートし、協会設立から 50 年後に財団を作りました。その 50 年の開きは大きいものですが、私たちも頑張りましょう。DGE の皆さんは真のリーダーシップと誇りある取り組みに期待しています。

L. 鈴木 誓男 LCIF 理事

各グループで皆さん本当に真剣に話し合い、目標を作っていました。来期は一年を通じてガバナー公式訪問やクラブ訪問に行かれることと思います。そして、フィナーレは、メキシコ国際大会で、「この1年本当に良かったな」と感じられると思います。皆さん、2日間の議論をありがとうございました。

L. 鶴嶋 浩二 国際理事・東日本エリアリーダー

LCIF 理事の役を来期は仰せつかり、少し不安を感じておりましたが、本研修で DGE の皆さまには前年よりもプラスの目標を立てていただき、感謝しております。我々は額に汗をしながら一人 100 ドルをお願いさせていただく立場にあります。凡そ日本の会員数×100 ドルの数字が目標となりますので、これに向かって頑張ってください。来期はどうぞよろしくお願いします。

L. 丸山 正芳 全日本エリアリーダー

今期は寄付目標の達成にご協力いただき、本当にありがとうございました。まだ期は少し残っていますので、まだ目標を達成していない地区は6月末まで頑張ってください。私は 2010-2011 年度にガバナーを経験しましたが、当時はガバナーが集まって LCIF について討論する機会はありませんでした。今日の発表で、多くの地区が来期も頑張りたいと発言されているのに感動しました。なるべく早めに、1 月末までには達成が見えるように頑張ってください。来期もどうぞよろしくお願いします。

L. 濱島 清美 グループリーダー

議論の中でセミナーの実施を多くの地区が報告していましたが、セミナーを行う時に、参加者の問題意識や参加の目的を理解し、それに応える内容を提供することが重要です。しかし、地区やクラブでのセミナーでは、参加者が必ずしも問題意識を持っていない場合があります。LCIF セミナーでは、LCIF を通じたライオンズの奉仕を参加者に理解してもらう必要があります。そのツールとして、写真コンテストで広報に使える写真を求めているとか、交付金の活用例を用いて LCIF を通じた奉仕のストーリーを伝えることが有効です。また、セミナーの形式も工夫することが大事です。スクール形式ではなく、ディスカッションに適したスタイルをセミナー講師と相談し、参加者の意見を吸い上げることが大切です。セミナーの目的を明確にし、実りあるセミナーを実施して目標を達成されることを願っています。

L. 榎本 舜治 LCIF アンバサダー

困っている人に手を差し伸べることが奉仕ですが、事業を行うには人、もの、金が必要です。また、目標とは、今より高くしなければ目標にはなりません。その意味で、来期の目標が今期の実績よりも低いことに不満です。達成可能な数字ではなく、努力目標を持って活動を進めてください。寄付ゼロクラブをなくし、全てのクラブが一人 100 ドルを目標にしましょう。334-A は毎年 100 万ドル以上の寄付をして、一地区で日本の寄付総額の 10 分の 1 を担っています。地区でもなぜ一番多く寄付をしなければならないの？という疑問の声が聞かれますが、一番はカッコイイと思うのです。一番と二番は雲泥の差です。日本は LCIF ではナンバー 1 なのです。DGE の皆さまは地区に戻り、いつまでに、誰が、何をやって LCIF の目標を達成するのか具体的な活動に落とし込み、みんなで楽しく前向きに努力していきましょう。



Lions Clubs International
FOUNDATION

写真で伝えようLCIFのストーリー

LCIF 写真コンテスト

「文章より1枚の写真」

LCIFの交付金事業やファンドレイジング活動で、あなたが撮影したLCIFのストーリー（活動や体験）が伝わる渾身の1枚を。

ネットやSNSで情報が飛び交う時代にあって、時に「写真」が人々の心を大きく動かします。LCIFでは、世界中のライオンズのストーリーを集め、それを広めることで、次の人道的な支援へとつなぐ様々な広報活動に取り組んでいます。

毎年たくさんの寄付と多くの交付金事業で貢献する日本のライオンズ会員の皆様にも、人々の心を動かす写真を共有していただく機会として写真コンテストを行います。ぜひふるってご応募ください。

募集要項

応募作品：LCIFの交付金事業、またはファンドレイジング活動で撮影された写真が対象です。事業や活動を通じて人々や子どもたちとのふれあい、活動の様子や感謝感が伝わる、ライオンズクラブの専任ならぬ1枚をご応募ください。
※ 詳細は「応募のきまり」をご確認ください。写真の撮り方についてはLCIFのホームページ、広めるも事務局に相談を。

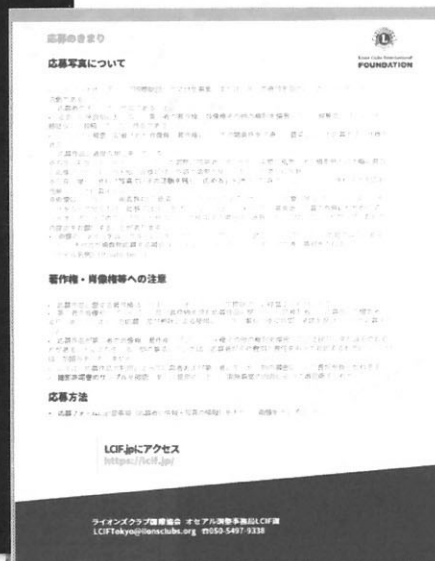
応募資格：応募者は、グッドスタンディングのライオンズクラブに所属するクラブ会員に限ります。

応募方法：LCIF.jpに掲載する応募専用リンクから画像ファイルのアップロード ※ 「応募方法」をご覧ください。

応募締め切り：2024年5月10日 17:00アップロード分まで

応募作品の審査：ご応募いただいた作品の中から、募集テーマ「写真で伝えようLCIFのストーリー」をもっともよく表す写真をLCIF日本リーダーズが審査し、3作品を入賞作品として金賞、銀賞、銅賞を授与します。

応募作品の公開：応募作品はLCIF.jpをはじめ、ライオンズ・インターナショナルの各種メディアにて公開させていただきます。可能性があります。あらかじめご了承ください。



LCIF.jpを
クリック！



SCAN ME



お問い合わせ：ライオンズクラブ国際協会 オセアリア調整事務局LCIF課 LCIFTokyo@lionsclubs.org ☎050-5497-9338

LCIF写真コンテスト

中間報告

実施期間：2月1日～5月10日（実施中）

告知媒体：LCIF.jp、一斉メール、個別メール等

応募総数：23点

応募地区数：9地区

応募クラブ数：9クラブ

応募状況内訳：

地区	クラブ名	応募点数
330-A	東京葛飾LC	1
332-C	石巻日和LC	1
334-A	名古屋ウエストLC	1
334-D	金沢菊水LC	1
335-A	西宮ホワイトLC	3
335-C	京都むらさきLC	3
336-A	松山白鷺LC	9
336-C	三原LC	3
337-C	武雄中央LC	1



こんな写真をお待ちしております！

-



報告用の
写真+プラス
活動の一部を
切り取った
魅力的な写真を
お願いします！



こちらに詳細を
掲載しています。
LCIF.jpから
ダウンロード
を！

「写真の撮り方」 ppt

LCIFのフライヤーなどに写真を活用することにより、さらに支援の輪が広がります。

※本プレゼンテーションにある画像は、すべて内部資料の扱いです。本説明会以外での使用、転載、利用はできません。不要の際には破棄するなどしていただき、お取り扱いにはご注意ください。

2023～2024 年度
第 3 回 336 複合地区 GMA・GAT 全体会議 議事録

開催日時：2024 年 3 月 22 日（金）13:30～16:30 接続 13：15～15:15
形 式：WEB

出欠

※敬称略、順不同

	役 職	氏 名	出欠
1	ガバナー協議会議長	澤 辰水	○
2	ガバナー協議会会計（A 地区ガバナー） 複合地区 GLT 担当ガバナー/A 地区 GMA リーダー	山崎 勝彦	○
3	ガバナー協議会副議長（B 地区ガバナー） 複合地区 GMT 担当ガバナー/B 地区 GMA リーダー	藤井 信英	欠
4	ガバナー協議会幹事（C 地区ガバナー） C 地区 GMA リーダー	三口 巖	○
5	ガバナー協議会会計（D 地区ガバナー） 複合地区 SCP・FWT 担当ガバナー/D 地区 GMA リーダー	山崎 もとみ	○
6	複合地区 GMA 世話人 A 地区 GMT コーディネーター/A 地区 GLT コーディネーター	真鍋 隆	欠
7	複合地区 GMT・GMA コーディネーター	池原 堅	○
8	複合地区 GMT 副コーディネーター	石井 淑雄	欠
9	複合地区 GMT 副コーディネーター	上原 正樹	○
10	複合地区 GMT 副コーディネーター	鳴戸 大二	○
11	複合地区 GMT 副コーディネーター	神田 義満	○
12	複合地区 GLT コーディネーター	西尾 慎一	○
13	複合地区 GLT 副コーディネーター	向 和人	○
14	複合地区 GLT 副コーディネーター	榎本 明	○
15	複合地区 GLT 副コーディネーター	西本 義弘	○
16	複合地区 GLT 副コーディネーター	日下 眞二	○
17	複合地区 GST 世話人	弓場 秀俊	欠
18	複合地区 GST コーディネーター	中島 繁	○
19	複合地区 GST 副コーディネーター	占部 智之	○
20	複合地区 SCP・FWT コーディネーター	鵜飼 恵美	○

（総合）司会進行：MD336 GMT・GMA コーディネーター 池原 堅

1. 開会挨拶：ガバナー協議会会計（A 地区ガバナー）
複合地区 GLT 担当ガバナー/A 地区 GMA リーダー 山崎 勝彦
2. 議長挨拶：ガバナー協議会議長 澤 辰水
3. 議事録作成人の指名：B 第二副地区ガバナー榎本 明
4. 議 題：
議事進行 MD336 GMT・GMA コーディネーター 池原 堅
 - ① GMA・GAT 各委員会 2024-2/末までの会員移動状況報告並びに
各準地区ガバナーからの報告（ミッション 1.5 進捗状況含む）
 - ② 各委員会報告と今後の課題について
 - ③ その他
5. 質疑応答
6. 次回開始日と開催方法の決定
7. 閉会挨拶：B 第二副地区ガバナー榎本 明

司会進行

池原 GMT.GMA コーディネーター *以下 肩書略

- ・司会進行は池原が務めます。本日は16名の出席者です。

開会挨拶

GLT 担当ガバナー/A 地区ガバナー 山崎 勝彦 *以下 肩書略

- ・アワード選考も終わり地区年次大会に向けて準備を進めています。
- ・LCIF,会員拡大ともに336複合地区はプラスで来てるが期末の大量ドロップをどうにか食い止めたい。

議長挨拶

ガバナー協議会議長 澤 辰水 *以下肩書略

- ・松岡エリアリーダーから新旧の会議を5月ごろに予定していると聞いた。
- ・解散クラブの話 380→379ークラブ解散した

出席者挨拶

澤 ・ 第70回複合地区年次大会の挨拶文を作成中です。

山崎 (A) 地区年次大会に向け細かい作業を進めている

三口 巖 ガバナー協議会幹事 C 地区ガバナー *以下肩書略

- ・年次大会に向け細かい作業を進行中
- ・会員純増に向け努力
- ・LCIFは336の奇跡を是非実現したい

山崎 もとみ ガバナー協議会会計 D 地区 ガバナー *以下肩書略

- ・今、336の奇跡が起きている。
- ・支部づくり、学生クラブのエクステンションを達成させたい

鳴戸 大二 GMT 副コーディネーター *以下肩書略

- ・チームを作る、ビジョンを作る、このことをシカゴで徹底的に勉強してきた
- ・GMTが機能してるのか、個人行動に走ってるのではないか
- ・ライオンズを知ってもらい、定着してもらい、チームとして機能しなければならない
- ・強み、弱みを理解していないクラブが多い→キャビネットが指導、誘導していく
- ・純増20名は難しい→新しいクラブを作ることが大切
- ・地区のGMT,GLT,GSTに副コーディネーターをおく

西尾 慎一 GLT コーディネーター *以下肩書略

- ・GATに一本化され、複合のGLTとして再構築したい
- ・6月1日の複合年次大会では日本ライオンズについての議案を詰めたい

神田 義満 GMT 副コーディネーター *以下肩書略

- ・山崎 (D) ガバナーとともに支部づくりに力を注いでいる。
- ・特にヘッドネーションからの支部づくりに期待している

現況報告

山崎 (A)

- ・ガバナーチームで毎月会議を開いている。4年かけてミッション1.5を達成したい。
- ・危機的クラブにテコ入れをしている、20名以下、3名以上減のクラブ
- ・アルファベットが多すぎて理解できない会員が大変多い。是非改善してもらいたい
- ・8名の支部 5名の支部が出来た→60名増(目標135)

西尾

- ・全体ではプラス、期末のドロップを阻止したい
- ・B地区は現42名プラス、昨年の100名超えるドロップはどうか避けたい
- ・藤井ガバナーが全クラブ会長、ZCとヒヤリングをした結果、昨年のようなことはないと予想

榎本 明 336-B地区第二副地区ガバナー 以下肩書略

- ・元気があることが退会を防ぎ現状維持に効果がある
- ・R全体のカラオケ大会の開催、チャリティーゴルフ大会には147名が参加

西本 義弘 336-C地区 副地区ガバナー *以下肩書略

- ・三口ガバナーが大変がんばっておられるので、特にありません。

日下 眞二 336-D地区第二副地区ガバナー *以下肩書略

- ・年度末で忙しく工作中で、すみません
- ・支部に対しての理解が段々と前向きになっており、期末ドロップも少ないだろう

中島 繁 複合地区 GST コーディネーター *以下肩書略

- ・転んで体調を崩していました。

占部 智之 複合地区 GST 副コーディネーター *以下肩書略

- ・報告できる材料がありません。

池原

- ・8複合の中で336だけがGLTコーディネーターが1年で変わってる。若手をそだてる意味でも〜3年継続する必要がある。

西本

- ・退会者を防ぐことが大切。

鵜飼 恵美 SCP FWT コーディネーター *以下肩書略

- ・中々数字が合わない

榎本

- ・ニューメンバースクールでの効果が大である
- ・昨年岡山と鳥取、今年も両県で実施し、効果をあげたい。

三口

- ・毎月GAT会議にZCを加え5年間の中期目標をたててきめ細かくやってる。
- ・ニューメンバースクールを開催→優秀な若手が揃ってる→若手中心のクラブ作り
- ・能登へユニットシャワー4機を送った
- ・輪島に土嚢袋を3000枚送った

池原

- ・三口ガバナーは幅広く活動してくれて素晴らしい

鵜飼

- ・アルファベット改善案に賛成
- ・学生会員は活動量もすごいが情報量も多い
- ・校長先生を今訪問をしている→学生会員、薬物乱用防止活動

澤

- ・学生会員を通じて献血活動を広めてほしい

池原

- ・全体的な数字は MyLCI を参考にしているが未だにサバンナを使ってるクラブがある。
- ・GAT 全体会議で大いに効果も出ている。
- ・最後に能登震災に対してアラートの活動が素晴らしい。住民から慕われ感謝されている
- ・B 地区の若手はせいぜい 50 代だが他地区では 30 代 40 代が活躍
- ・→B も遅れを取り戻そう

次回開催日

- ・次期藤井議長予定者と協議して 5 月ごろを目途に検討したい

閉会挨拶

榎本

- ・藤井ガバナー、上原第一副地区ガバナーがご欠席になったために思いがけず発言の機会を多くいただきました。気楽に臨んだ今日の会でしたが、いっぺんに目が覚めました。私はまだ再来期なのですが、もうスタートを切る時期が来たと実感致しました。

いずれにしても皆さんお疲れさまでした、次の 4 回までにそれぞれの目標を目指してがんばりましょう。今日はありがとうございました。

議事録署名人：336 複合地区 GMT・GMA コーディネーター 池原 堅
承認年月日：2024 年 3 月 29 日

Ikehara Katashi

日本ライオンズクラブ クラブ数・会員数

2024年4月末現在 国際本部集計

* 増減及び入退会等は期首からの累計

	クラブ数	新結成	解散	クラブ数増減	会員数	入会者数	退会者数	会員数増減	(%)	男性会員数	女性会員数	女性の割合	家族会員(子会員)	子会員の割合	男性子会員数	女性子会員数	子会員を除く会員数
330-A	187	3	2	1	5,191	396	544	-148	(-2.77%)	3,761	1,428	27.5%	1,046	20.2%	341	705	4,145
330-B	141	0	0	0	3,462	213	139	74	(2.18%)	2,884	577	16.7%	297	8.6%	90	207	3,165
330-C	67	1	0	1	1,650	129	97	32	(1.98%)	1,376	274	16.6%	189	11.5%	70	119	1,461
330MD	395	4	2	2	10,303	738	780	-42	(-0.41%)	8,021	2,279	22.1%	1,532	14.9%	501	1,031	8,771
331-A	71	0	0	0	2,372	185	169	16	(0.68%)	1,949	422	17.8%	271	11.4%	62	209	2,101
331-B	71	0	1	-1	2,018	110	134	-24	(-1.18%)	1,655	361	17.9%	262	13.0%	37	225	1,756
331-C	43	0	0	0	1,511	133	89	44	(3.00%)	1,219	291	19.3%	230	15.2%	61	169	1,281
331MD	185	0	1	-1	5,901	428	392	36	(0.61%)	4,823	1,074	18.2%	763	12.9%	160	603	5,138
332-A	64	2	0	2	2,037	177	92	85	(4.35%)	1,549	488	24.0%	331	16.2%	71	260	1,706
332-B	50	1	0	1	1,890	197	108	89	(4.94%)	1,263	627	33.2%	601	31.8%	109	492	1,289
332-C	55	0	0	0	1,521	89	83	6	(0.40%)	1,102	419	27.5%	331	21.8%	72	259	1,190
332-D	66	0	0	0	2,196	159	110	49	(2.28%)	1,668	528	24.0%	438	19.9%	95	343	1,758
332-E	49	0	1	-1	1,647	103	71	32	(1.98%)	1,299	348	21.1%	244	14.8%	43	201	1,403
332-F	44	0	1	-1	1,238	48	49	-1	(-0.08%)	885	353	28.5%	297	24.0%	54	243	941
332MD	328	3	2	1	10,529	773	513	260	(2.53%)	7,766	2,763	26.2%	2,242	21.3%	444	1,798	8,287
333-A	69	0	0	0	2,677	154	159	-5	(-0.19%)	2,257	420	15.7%	224	8.4%	71	153	2,453
333-B	47	1	0	1	1,428	92	94	-2	(-0.14%)	952	476	33.3%	374	26.2%	102	272	1,054
333-C	105	0	0	0	2,727	191	115	76	(2.87%)	2,112	615	22.6%	348	12.8%	124	224	2,379
333-D	47	0	1	-1	1,804	116	74	42	(2.38%)	1,354	450	24.9%	382	21.2%	88	294	1,422
333-E	81	1	0	1	3,986	256	223	33	(0.83%)	2,894	1,092	27.4%	1,043	26.2%	316	727	2,943
333MD	349	2	1	1	12,622	809	665	144	(1.15%)	9,569	3,053	24.2%	2,371	18.8%	701	1,670	10,251
334-A	106	1	0	1	5,188	389	231	158	(3.14%)	3,603	1,585	30.6%	1,431	27.6%	283	1,148	3,757
334-B	72	1	0	1	3,548	231	171	60	(1.72%)	2,661	887	25.0%	927	26.1%	214	713	2,621
334-C	71	0	0	0	2,853	201	136	65	(2.33%)	2,477	376	13.2%	267	9.4%	42	225	2,586
334-D	92	1	0	1	4,422	251	284	-33	(-0.74%)	3,223	1,199	27.1%	1,091	24.7%	180	911	3,331
334-E	48	1	0	1	2,185	153	178	-25	(-1.13%)	1,574	611	28.0%	492	22.5%	103	389	1,693
334MD	389	4	0	4	18,196	1,225	1,000	225	(1.25%)	13,538	4,658	25.6%	4,208	23.1%	822	3,386	13,988
335-A	67	1	1	0	1,689	167	114	53	(3.24%)	1,355	334	19.8%	85	5.0%	20	65	1,604
335-B	147	1	3	-2	6,113	417	663	-246	(-3.87%)	4,353	1,759	28.8%	1,370	22.4%	289	1,081	4,743
335-C	103	2	0	2	3,654	372	231	141	(4.01%)	3,002	651	17.8%	293	8.0%	61	232	3,361
335-D	54	0	0	0	1,588	97	63	34	(2.19%)	1,321	266	16.8%	147	9.3%	38	109	1,441
335MD	371	4	4	0	13,044	1,053	1,071	-18	(-0.14%)	10,031	3,010	23.1%	1,895	14.5%	408	1,487	11,149
336-A	135	0	0	0	5,070	359	317	42	(0.84%)	3,905	1,164	23.0%	733	14.5%	153	580	4,337
336-B	82	0	1	-1	2,375	165	156	9	(0.38%)	1,994	375	15.8%	189	8.0%	37	152	2,186
336-C	78	0	1	-1	2,809	199	177	22	(0.79%)	2,301	508	18.1%	293	10.4%	52	241	2,516
336-D	84	0	0	0	2,613	185	178	7	(0.27%)	2,295	317	12.1%	104	4.0%	12	92	2,509
336MD	379	0	2	-2	12,867	908	828	80	(0.63%)	10,495	2,364	18.4%	1,319	10.3%	254	1,065	11,548
337-A	112	0	1	-1	4,498	308	318	-10	(-0.22%)	3,293	1,202	26.7%	751	16.7%	149	602	3,747
337-B	60	0	0	0	2,186	161	113	48	(2.25%)	1,770	417	19.1%	250	11.4%	41	209	1,936
337-C	73	0	0	0	2,983	163	184	-21	(-0.70%)	2,117	866	29.0%	798	26.8%	219	579	2,185
337-D	70	2	1	1	2,150	222	203	19	(0.89%)	1,707	442	20.6%	271	12.6%	58	213	1,879
337-E	52	0	0	0	1,716	158	97	61	(3.69%)	1,384	331	19.3%	228	13.3%	67	161	1,488
337MD	367	2	2	0	13,533	1,012	915	97	(0.72%)	10,271	3,258	24.1%	2,298	17.0%	534	1,764	11,235
総計	2,763	19	14	5	96,995	6,946	6,164	782	(0.81%)	74,514	22,459	23.2%	16,628	17.1%	3,824	12,804	80,367

336複合地区 会員拡大報告書 (2024年3月末現在)

336複合地区GMA世話人 真鍋 隆

(単位：人)

会員数 ※6月末計	A地区	B地区	C地区	D地区	336複合地区
2015-2016年度	6,105	3,392	3,442	3,391	16,330
2016-2017年度	6,171	3,143	3,376	3,200	15,890
2017-2018年度	6,013	3,069	3,340	3,042	15,464
2018-2019年度	5,793	2,921	3,212	2,918	14,844
2019-2020年度	5,518	2,775	3,069	2,820	14,182
2020-2021年度	5,414	2,630	3,003	2,753	13,800
2021-2022年度	5,177	2,461	2,858	2,629	13,125
2022-2023年度	5,028	2,360	2,787	2,606	12,781
2023-2024年度					
前年度期首比	-149	-101	-71	-23	-344

四半期会員増強計画 期間：2023年7月1日～2024年6月30日

(単位：人)

	A地区 山崎 勝彦		B地区 藤井 信英		C地区 三口 巖		D地区 山崎 もとみ		336複合地区 合 計	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
7月～9月	150	135	70	76	90	93	80	72	390	376
退会見込み者数	100	128	50	47	50	38	50	60	250	273
10月～12月	150	95	60	29	80	34	70	41	360	199
退会見込み者数	100	83	50	43	70	66	50	43	270	235
1月～3月	150	106	50	46	80	48	60	56	340	256
退会見込み者数	100	96	50	52	70	42	50	55	270	245
4月～6月	105		50		80		60		295	0
退会見込み者数	120		70		90		70		350	0
会員増強計画 計	555	336	230	151	330	175	270	169	1,385	831
退会見込み者数 計	420	307	220	142	280	146	220	158	1,140	753
会員純増目標 合計	135		10		50		50		245	

会員拡大計画に対する方法

A地区ガバナー 山崎 勝彦	各単一クラブが、年度末に純増1名を達成できるようにガバナーチーム、GATチームがRC・ZCと情報共有し会議を開催している。 又、会員の種別を活用して入会及び退会防止に努めています。
B地区ガバナー 藤井 信英	会員増強の為に退会防止に力を入れています。その為には会員同士の交流が不可欠と考え、今期はニューメンバースクール岡山2回、鳥取2回の計4回開催し終了後には懇親会を開催します。すでに2回開催しましたが懇親会の参加者も6割以上の方が参加してくださり好評でありました。 また来年早々にライオンズ交流会も開催を予定しています。あと6月での退会者をできるだけ防ぐため全リジョンに訪問し退会防止のお願いに参りたいとも思っています。
C地区ガバナー 三口 巖	地区内全クラブ（79クラブ）GMA目標を定めRC・ZCに地区ガバナー諮問委員会で取組み及び進捗状況を確認させ目標達成に向けて取り組んでいる。また、現在地区内では4つのクラブ支部結成に向けて進んでいることを把握しており、地区GATガバナーチームでサポートしている。退会者・解散の防止と会員満足度向上に向けて、地区委員会が中心となり新たなアクティビティ "PEACE STOCK 78'HIROSHIMA"にて、地区内賛同クラブ合同アクティビティとして6つの奉仕活動を地区内44クラブ・約300名の参加予定で開催に向けて取り組んでいる。
D地区ガバナー 山崎 もとみ	1. 公式訪問に同行し、各クラブへ支部結成のお願いをした。 2. 支部結成の手引書の作成、HPIにUPした。 3. 11/19 GLTと合同で支部結成を含む会員増強の研修会を予定。 4. 退会防止に向けて各クラブへの会員満足度調査の依頼予定。
336複合地区 GMA世話人 真鍋 隆	各ガバナーの目標を達成する為に支部作りや女性会員増強にチャレンジして下さい。又、退会防止には「会員種別」を活用し、ガバナー・地区役員・地区委員・クラブ会長・クラブ会員委員長が責任をもって、クラブの為に会員増強・維持に真摯に取り組んで下さい。

336複合地区4月度会員増強報告＜2023-2024年度＞

地 区	目 標	開始数字	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	増 減	女性比率
336-A	総会員数純増 135名	5,028	19	-9	-3	21	20	-29	31	-8	-8	9			43	学生 3 23.03%
	女性会員数 60名	1,164	-5	-13	-1	14	5	-11	14	1	-2	-1			1	
	女性会員目標 25.0%	23.22%	22.96%	22.75%	22.74%	22.92%	22.93%	22.85%	22.98	23.40%	23.03%	22.97%			-0.25%	
	支部結成目標 9支部	11	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1			4	
	家族会員数 0名	737	-9	-18	0	6	1	-7	21	1	2	-2			-5	
	新クラブ結成目標 1クラブ	135	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	
336-B	総会員数純増 10名	2,354	30	7	4	0	5	-19	10	5	-21	5			26	学生 6 15.92%
	女性会員数 0名	371	-2	3	4	0	2	-1	-1	2	-4	5			8	
	女性会員目標 %	15.76%	15.48%	15.55%	15.69%	15.70%	15.75%	15.83%	15.73%	15.77%	15.75%	15.92%			0.16%	
	支部結成目標 3支部	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	
	家族会員数 0名	193	-1	0	-1	-1	0	1	0	0	0	-2			-4	
	新クラブ結成目標 1クラブ	83	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	
336-C	総会員数純増 50名	2,787	33	27	-5	2	8	-42	12	3	-9	-5			24	学生 4 18.00%
	女性会員数 65名	502	1	3	-2	2	0	-13	6	5	-2	4			4	
	女性会員目標 20.0 %	18.01%	17.83%	17.77%	17.73%	17.79%	17.74%	17.51%	17.68%	17.84%	17.83%	18.00%			-0.01%	
	支部結成目標 11支部	17	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0			3	
	家族会員数 7名	309	2	0	-1	0	-2	-12	-1	0	0	-2			-16	
	新クラブ結成目標 1クラブ	79	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	
336-D	総会員数純増 30名	2,596	34	-5	-7	3	3	-10	0	19	-13	6			30	学生 5 12.07%
	女性会員数 5名	322	0	0	0	0	-3	-4	0	6	0	-4			-5	
	女性会員目標 %	12.40%	12.24%	12.16%	12.08%	12.29%	12.16%	12.04%	12.02%	12.19%	12.29%	12.07%			-0.33%	
	支部結成目標 5支部	7	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0			2	
	家族会員数 0名	101	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-4			-4	
	新クラブ結成目標 1クラブ	84	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	

2022～23年 各地区支部結成状況（単年度結成分）

地区	支部名	結成日	人数	親クラブ名	メイン アクティビティ	備考
330	A 東京白鵬	2022年10月12日	36	東京ウィルLC		
	A 東京江東南ソフィア	2022年11月9日	5	東京江東南LC		
	B 川崎中央	2022年7月	6			
	B 大和artistic支部	2023年2月	6	大和中央ティLC	障がいを持つ子どもたちだけの音楽会を年6回（偶数月）開催	
	C 川越トライブ	2022年8月	5			
	C 霞ヶ関ロマン	2022年10月	5			
計	クラブ数	4	人数	63		
331	C わんぱく相撲サポートクラブ	2022年10月25日	5			
	A あぐり支部	2023年1月6日	7			
	A クエスト支部	2023年2月14日	7			
	B ミントクラブ	2023年3月5日	5			
計	クラブ数	3	人数	24		
332	C 仙台夢支部	2022年11月	6	南三陸志津川LC	現在 結成直後	
計	クラブ数	1	人数	6		
333	A 新津あきはドリーピース支部	2023年1月27日	7	新津LC	青少年育成	
	A 十日町妻有あいよい支部	2023年1月27日	10	十日町LC	メインアクティビティはこれから話し合い	
	A 新潟万代有明支部	2023年2月末	5	新潟万代LC	子供食堂	
	A 支部	2023年3月末申請	5	横越LC		
	A 支部	2023年5月末予定	5	六日町LC		
	B 小山東マラーク支部	2023年1月23日	5	小山東LC	スペシャルティクラブ	
	B 佐野西フードパントリー支部	2023年1月26日	5	佐野西LC	食糧支援	
	B 小山FBライオンズクラブ	2023年2月末結成	22		スペシャルティクラブ	
	B 学生支部	2023年5月予定	15	小山FBLC		
	C セントラルダイヤモンド支部	2023年2月申請	8	関宿LC		
	C 桜支部	2023年2月申請	5	松戸LC		
	C ISSフードバンク支部	2023年3月申請予定	5	印西LC	食糧支援	
	D 高崎柳川ライオンズクラブ	2023年1月6日	22			
	E フードバンク支部	2023年1月9日	5	土浦LC	食糧支援	
	E まんぷく支部	2023年1月12日	5	牛久荳崎LC	食糧支援	
	E ハッピーチャイルド支部	2023年1月31日	5	筑波LC	募金活動	
	E ヘレンケラー支部	2023年1月31日	5	筑波LC	ヘアードネーション	
	E Art支部	2023年1月31日	5	つくばOAKLC	芸術活動支援	
	E 五霞ライオンズクラブ	2023年2月結成	22			
	E しらは支部	2023年2月末申請	5	かすみがうらLC		
	E 支部	2023年2月末申請	5	水戸葵LC	フードバンク支援	
計	クラブ数	21	人数	176		
334	A 名古屋東山つばさ	2022年8月18日	16	名古屋東山LC	児童養護施設児童との交流。子ども食堂への支援活動。	
	A 名古屋シニア葵	2023年2月2日	5	名古屋シニアLC	親クラブ活動のお手伝い。	
	B 菰野かもしか	2022年11月1日	12	四日市中央LC	障がい者福祉施設慰問。チャリティゴルフコンペ。	
	B 養老炎鵬	2023年2月7日	5	養老LC	相撲を通じた青少年健全育成。	
計	クラブ数	4	人数	38		

2022～23年 各地区支部結成状況（単年度結成分）

地区	支部名	結成日	人数	親クラブ名	メイン アクティビティ	備考
335	B	ボーイスカウト支部	2022年11月9日	5	大阪大正LC	
	B	北おおさかみらいライオンズクラブ	2023年2月8日	29	R5	支部からエクステーション
	B	ふれあいラパテラ支部	2023年2月28日	10	堺LC	
	B	エココーラス支部	2023年3月1日	5	和歌山LC	
	B				堺仁徳LC	
	B				枚方ローズLC	まずは支部に来期エクステーションの予定
	B				寝屋川中央LC	
	B				狭山LC	
	B				和泉大阪LC	
	B				泉大津LC	
	B				すみの江LC	
	C	はッピーカムカム支部	2022年12月29日	5	京都洛翠LC	
計	クラブ数	12	人数	54		
336	A	青少年育成クラブ支部	2022年11月12日	5	高松玉藻LC	青少年育成・献血・清掃
	A	高知あじさいクラブ支部	2023年2月7日	6	高知よさこいLC	親クラブの奉仕活動に参加
	A	しらさぎクラブ支部	2023年2月	5	徳島城山LC	献血、清掃活動、今後独自の活動を考える
	A	奈々友の会クラブ支部	2023年2月	5	鴨島LC	清掃活動、親クラブ奉仕活動に合同参加
	C	尾道エスポアールFCクラブ支部	2022年7月12日	5	尾道向島LC	青少年育成。親クラブ活動お手伝い
	C	尾道みなとクラブ支部	2022年7月15日	11	尾道瑠璃LC	ゴルフ・桜の植樹
	C	広島西北シニアクラブ支部	2022年12月9日	5	広島西北LC	クラブの見守り（高齢者退会防止）
	C	広島城南クラブ支部	2023年2月1日	7	広島城北LC	ダンス同好会
	C	庄原アラートクラブ支部	2023年2月	13	庄原LC	災害支援
	C	呉未来想育クラブ支部	2023年2月	6	呉うるめLC	若手中心で独自のアクティビティ
	D	長門Rise(ライズ)クラブ支部	2022年12月	13	長門LC	親クラブの奉仕活動の援助
	D	瑞風(みずかぜ)クラブ支部	2023年1月1日	7	瑞穂LC	公民館の清掃
計	クラブ数	12	人数	88		
337	A	飯塚パティーズスペシャルティクラブ	2022年8月25日	8	飯塚カトレアLC	FWT
	A	フレッシュクラブ(学生会員)	2023年2月	8	福岡玄海LC	国際協会申請中
	A			5	稲波LC	打合せ中
	A			5	福岡中央LC	打合せ中
	A	スペシャルティクラブ			山田LC	打合せ中
	B	高千穂子ども未来スペシャルティクラブ	2022年7月1日	6	高千穂LC	
	C	とすみなみクラブ	2023年1月6日	5	鳥栖養基LC	
	D	沖縄華僑 LC	2022年11月9日	20	沖縄LC	支部よりエクステンション
	D	KAGOSHIMA YOUTH スペシャルティLC	2023年3月3日	22	鹿児島島LC	エクステンション
	E	UEKI GOLF スペシャルティクラブ	2023年1月12日	5	植木LC	
計	クラブ数	10	人数	84		
	クラブ数	67	人数	533		

2023～24年 336 複合地区支部結成状況（総数）

地区	支部名	結成日	人数	親クラブ名	メイン アクティビティ	備考
A	瀬戸クラブ支部	2003年5月11日	5	伊方LC	瀬戸支部で清掃	
A	高知南海クラブ支部	2014年5月9日	4	高知南LC	親クラブの清掃活動に参加	
A	ToyoATM Club Branchi	2020年1月8日	6	東予LC	毎月 ゴルフコンペを開催し、地域の参加者から1人 ¥1,000を徴収しLCIFに寄付	
A	未来クラブ支部	2021年2月2日	17	高知LC	子ども食堂支援、アラートについての勉強会	
A	高知紫千年クラブ支部	2021年2月26日	6	高知りょうまLC	親クラブの清掃奉仕に参加	
A	とさみずきクラブ支部	2022年6月10日	7	高知LC	ライオンズクエスト普及、地域清掃活動	
A	高松青少年育成クラブ支部	2022年11月12日	5	高松玉藻LC	青少年育成・献血・清掃	学生会員 3 名
A	しらさぎクラブ支部	2023年2月	5	徳島城山LC	献血、清掃活動、今後独自の活動を考える	
A	高知あじさいクラブ支部	2023年2月7日	6	高知よさこいLC	親クラブの奉仕活動に参加	
A	奈々友の会クラブ支部	2023年2月	5	鴨島LC	清掃活動、親クラブ奉仕活動に合同参加	
A	グランロッジ・シェルクラブ支部	2023年6月	8	高松葵LC	これからのライオにズムの開発・実行 親クラブの奉仕活動への参加	
A	高松葵リアン支部	2023年11月	6	高松葵LC	親クラブの活動手伝い、古切手・書き損じハガキ収集、子ども食堂支援	
A	グランロッジ・マルゴー支部	2024年3月	5	高松葵LC	ベトナムとの交流、親クラブ奉仕活動に参加	
A	あかがねグリーン支部	2024年3月	5	新居浜ひうちLC	新居浜各所の清掃、献血推進活動、災害ボランティア	
A	中央支部	2024年4月	8	坂出白峰LC	親クラブ奉仕活動に参加	
A						
B	岡山さくらクラブ支部	2013年4月	12	岡山LC	子ども食堂食糧支援事業のためにフリーマーケット参加	
B	岡山チャンピオンクラブ支部	2019年7月	5	岡山LC	子ども食堂食糧支援事業のためにフリーマーケット参加	
B	岡山カンタービレクラブ支部	2014年11月	7	岡山後楽LC		
B	Perl in Motion Okayamaクラブ支部	2020年10月	7	岡山パールLC		
B	岡山みらいESTクラブ支部	2021年8月	17	岡山みらいLC	親クラブと一緒に活動。アラート活動	
B	ハノイクラブ支部岡山	2017年11月	10	岡山東	ベトナム社会主義共和国で奉仕活動するために結成された支部。	
B	絆クラブ支部	2013年10月	5	岡山操山LC	北長瀬コミュニティフリッジへ食料品・日用品等の寄贈	
B	津山鶴山平成クラブ支部	2013年1月	7	津山鶴山LC	年2回献血ACT 花火大会チャリティ売店出店 児童養護施設二園訪問献血ACT等、ACT全般	
B	津山黎明平成クラブ支部	2013年1月	2	津山衆楽LC	親クラブの補助及び会員増強	
B	サムライクラブ支部	2018年6月	8	倉敷西	将棋大会	
B	きららクラブ支部	2016年2月	4	倉敷西	切手、書き損じはがきの回収	
B	倉敷白壁クラブ支部	2015年2月	8	倉敷天領	白壁音楽祭	
B	鳥取久松しろやまクラブ支部	2013年5月	4	鳥取久松	鳥取砂丘ボランティア早朝除草	
B	SETONAI会クラブ支部	2023年5月	8	岡山東	チャリティゴルフ大会	
B						
B						
B						
B						

2023～24年 336 複合地区支部結成状況（総数）

地区	支部名	結成日	人数	親クラブ名	メイン アクティビティ	備考
336	C 広島ソフトテニスクラブ支部	2017年11月	7	広島紅葉LC	小・中・高校生のソフトテニス指導	
	C 福山ピースエキップティランクラブ支部	2018年1月	10	福山ピースLC	自転車競技	
	C 福山ピース剣道クラブ支部	2018年2月	13	福山ピースLC	剣道大会・剣道指導	
	C 福山久松グリーンサポートクラブ支部	2018年11月	10	福山久松LC	花壇・街路樹の手入れ	
	C 福山平成スマイルクラブ支部	2019年1月	14	福山平成LC	親クラブの活動手伝い	
	C 広島安芸音楽クラブ支部	2020年6月	8	広島安芸LC	音楽演奏活動	
	C 福山ピース居合道クラブ支部	2020年8月	5	福山ピースLC	居合道大会・居合道指導	
	C 広島ピースチャリティゴルフ支援クラブ支部	2020年10月	10	広島平和LC	チャリティゴルフ大会の運営・支援	
	C 福山ピーススナッグゴルフクラブ支部	2021年10月	5	福山ピースLC	スナッグゴルフ大会・スナッグゴルフ指導	
	C 尾道エスポアールFCクラブ支部	2022年7月12日	5	尾道向島LC	青少年育成。親クラブ活動お手伝い	
	C 尾道みなとクラブ支部	2022年7月15日	11	尾道瑠璃LC	ゴルフ・桜の植樹	結成時 9 名
	C 広島西北シニアクラブ支部	2022年12月19日	5	広島西北LC	クラブの見守り（高齢者退会防止）	
	C 広島城南クラブ支部	2023年2月3日	7	広島城北LC	ダンス同好会	
	C 庄原アラートクラブ支部	2023年2月	11	庄原LC	災害支援	結成時8名
	C 呉未来想育クラブ支部	2023年2月	6	呉うるめLC	若手中心で独自のアクティビティ	
	C 三原浮城さつきクラブ支部	2023年3月	5	三原浮城LC	青少年育成・こども食堂等	
	C 広島バスケットボールクラブ支部	2023年6月	5	広島ワイズLC	バスケットボール活動	
	C 呉ニューポートクラブ支部	2023年8月	6	呉ポートLC	本年度新会員（入会促進）	
	C 広島ニューモアニクラブ支部	2024年1月	5	広島ニューLC	子ども食堂支援	
	C 広島ニューイーグルクラブ支部	2024年1月	8	広島ニューLC	チャリティゴルフ開催→青少年健全育成に活用	
	C					
	D 松江キャッスル葵クラブ支部	2015年10月	14	松江葵LC	世界ライオンズデー・スペシャルオリンピックス日本・島根への活動支援	
	D 大田トータスクラブ支部	2018年5月	8	大田LC	盲導犬育成事業・海岸清掃・公園清掃	
	D 松江カメラクラブ支部	2014年2月	18	松江湖城LC	盲導犬啓発・盲学校ボランティア活動・環境保全登山・中海宍道湖清掃・	
					青少年育成アクティビティ	
	D 出雲中央ララクラブ支部	2020年2月	9	出雲中央LC	こども食堂「ライオン食堂」開催	
	D 隠岐海士クラブ支部	2022年6月	10	松江葵LC	福祉施設の草刈り・エコキャップの回収選別作業	
	D 長門Rise(ライズ)クラブ支部	2022年12月	13	長門LC	親クラブの奉仕活動の援助	男性11・女性 2
	D 瑞風(みずかぜ)クラブ支部	2023年1月	7	瑞穂LC	公民館の清掃	
	D 徳山中央周南公立大学支部	2024年2月	5	徳山中央LC	地域人口増加を目的とした活動	
	D 松江三ツ星クラブ支部	2024年2月	9	松江LC	3月23日 結成式	
	D					
	D					
計	クラブ数	58	人数	451		

※朱色文字 = 2023～2024年度結成分

[オンラインで見る](#)

指導力育成副地区ガバナー（VDG）研修プログラムの最新情報

米国マサチューセッツ州ボストンで開催された2023年国際大会で、地区チームの役割および責務が、計画、チーム開発、目標達成、年度をまたいだ継続性を重視するものに改定されました。就任を控えた地区ガバナーが確実に準備を整えられるよう、副地区ガバナーを対象としたリーダーシップ研修は、より包括的な2年間の「副地区ガバナー（VDG）研修プログラム」に生まれ変わりました。

これに伴い、第二副地区ガバナー（SVDG）を対象とした新しい研修が2024～2025年度から始まるとともに、第一副地区ガバナー/地区ガバナーエレクト（FVDG/DGE）研修も2025～2026年度より刷新されます。各研修の具体的な詳細は、それぞれのウェブページに掲載されています。

主な変更点

- 第二副地区ガバナー研修は、リーダーシップ技能の開発と、協会／財団プログラムの構築・理解を主眼としたものになります。
- これに対し第一副地区ガバナー／地区ガバナーエレクト研修は、リーダーシップ技能の実践、目標と行動計画、そして戦略的イニシアチブの実施に焦点を置きます。
- 2025～2026年度より、複合地区／単一地区研修は、第二副地区ガバナーと第一副地区ガバナー／地区ガバナーエレクトがともに学び協力する、合同ワークショップとなります。
 - 副地区ガバナーが地区目標と行動計画の提出期限に先立って準備を整えられるよう、複合地区には毎年3月までに合同ワークショップを終えるよう奨励されます。
- 2024～2025年度以降、上級ライオンズ・リーダーシップ研究会（ALLI）は実施されなくなります。

- 。ALLIに類するリーダーシップ育成研修を求めるライオンズは、ライオンズ学習センター（LLC）の自習コースにアクセスしたり、初級ライオンズ・リーダーシップ研究会（ELLI）や地方ライオンズ・リーダーシップ研究会（RLLI）など地域の研修行事に出席することができます。

以上の変更に伴い、皆様には以下によるご協力をお願いいたします。

- ・ 研修プログラムの変更点について、地区／複合地区のリーダーたちにお知らせください。
- ・ 新しい第二および第一副地区ガバナーがそれぞれの研修に関する重要な連絡を確実に受け取れるように、現地区ガバナーには大会/選挙報告書を速やかに提出するよう促してください。
- ・ 第二および第一副地区ガバナー／地区ガバナーエレクトの連絡先が正確に報告されていることをご確認ください。特に自分専用のEメールアドレス（他のメンバーと共有されていないアドレス）が登録されていることが重要です。
- ・ 複合地区/地区GLTコーディネーターが地域別で実施する今年度の第一／第二副地区ガバナー研修を支援し、また今後の研修の計画を立ててください。

詳細については、協会の[よくある質問（FAQ）](#)、または新しい副地区ガバナー研修プログラムの[ウェブページ](#)をご覧ください。Eメールでお問い合わせください。

お問い合わせは、vdgtraining@lionsclubs.org までどうぞ。

協会でも最も重要な役職の一つである地区ガバナー職に就くメンバーたちが、これまで以上にしっかりと就任に備えられることを目的に加えられる変更です。ご理解ご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。

心を込めて
リーダーシップ開発チーム

このEメールは、以下の役員に送信されています：GATエリアリーダー、協議会議長、複合地区GLTコーディネーター、地区GLTコーディネーター



フォローしよう：



[ブラウザで読む](#) | [Eメールの設定を管理する](#)

(2023-2024 年度)

第 6 回アラート委員会会議 (HB) 次第

2024 年 5 月 15 日 (水) 15 : 00-17 : 30

日本ライオンズ事務所+ZOOM システム

- ・開会宣言 23-24 年度 アラート委員会委員長 池原 堅
- ・一般社団法人日本ライオンズ理事長ご挨拶 田名部 智之
- ・出席者の確認
- ・議事録作成人 (2 名) の指名

・議 案 :

1. 能登半島地震状況報告(能登半島地震災害活動報告含む)
2. 能登ベースキャンプについて(賃貸借契約書等)
 - ・予算及び支払について
3. 功労者に対して感謝状贈呈にいて
4. その他(功労者表彰規定等について)

- ・閉会挨拶 23-24 年度 アラート委員会副委員長 新里 正雄

- ・参加対象者
- ・日本ライオンズ 理事長・専務理事・アラート委員長・副委員長
- ・日本・東西各リーダー
- ・各複合地区アラート委員長
- ・委員長補佐

(2023-2024 年度)

第 8 回会則委員会 (web) 議事録

日 時： 2024 年 3 月 14 日 (木) 10:00—12:00

システム： ZOOM システム

出席者：

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ：

理 事 長	田名部 智之 (八戸 LC)
委 員 長 (MD333 前協議会議長)	松本 宰史 (南房総 LC)
副 委 員 長 (MD335 協議会議長)	中谷 豊重 (岸和田 LC)
専 務 理 事	増澤 義治 (諏訪湖 LC)

各複合地区会則委員長：

3 3 0 複合地区	細川 孝雄 (東京赤坂 LC)
3 3 1 複合地区	馬場 哲也 (函館東 LC) 【欠席】
3 3 2 複合地区	荒川 友成 (郡山西 LC) 【欠席】
3 3 3 複合地区	岩沼 忠伺 (千葉ネオ LC)
3 3 4 複合地区	野村 善弘 (岡崎竜城 LC)
3 3 5 複合地区	小林 寛 (姫路中央 LC)
3 3 6 複合地区	松岡 諒 (福山久松 LC)
3 3 7 複合地区	高野 正勝 (佐賀葉がくれ LC)

① 開会宣言

松本会則委員長より開会宣言

・コンプライアンス規約についても大詰め。本日はそこも協議していきたい。

② 出席者の確認

③ 議事録作成人の指名

MD330 細川委員 MD333 岩沼委員

議案

1. 前回議事録の確認

松本委員長より前回議事録の確認事項について説明。

2. 年次大会への上程議案の修正点について

①ライオンズ必携複合地区会則 第1章 複合地区 第3条 構成をメンバーに修正して文章を第60版に戻す。

②第2章 地区 第14条キャビネット会議の(d)本地区会則第6条第2項を、
本複合地区会則第2章地区第16条3及び第17条第1と修正する。

④ 氏名の修正 誤) 栢本信治(元国際理事) 正) 栢森新治(元国際理事)

⑤ 上程議案1・2について複合地区年次大会でのみ上程をお願いし、準地区の年次大会では上程議案として取り下げる連絡をする。複合地区会則 第3章 その他 第26条 改正 に従う。

⑥ 第2章 地区 第16条 キャビネット構成員 1. キャビネット構成員を次のとおりとする。にライオンズ必携第60版に記載されていた以下の文章を再掲し、

◎ (c) その他地区ガバナーの任命する地区委員長(330・331・332・333・334・335・337 複合地区)

◎ (c) その他地区ガバナーの任命する地区委員長並びにキャビネット副幹事・副会計(336 複合地区) を追加する。336 複合地区 松岡委員より指摘あり。

3. コンプライアンス委員会について

①ガイドライン(案)の既定を規程にすべて統一する。

②お互いの言い分はともに正しい・委員の選定には中立性などを含め難しいところが多々ある。

③ガイドライン(案)をたたき台として、複合地区・準地区・クラブが議論をしていく。

4. 一般社団法人日本ライオンズ理事長挨拶

・ライオンズ必携・役員必携の改定・発行やプロトコールの整備、コンプライアンス委員会のスタートアップなど土台の部分を作っていただいた。重要な年となり、大変意義のある1年として進んでいると感じる。委員の皆様にご感謝申し上げます。

5. 次回開催日程について

2024 年 4 月 24 日（水）時間 10：00－12：00 web 開催

6. 閉会の挨拶 一般社団法人日本ライオンズ専務理事 増澤 義治

- ・コンプライアンス規定については慎重に進めていくべきであるが、ライオンズの中に指針があることでライオンズ本来の姿に戻り、背筋が伸びると思う。大変ではあると思うが、また皆様のお知恵をいただきたい。

以上

2024 年 3 月 27 日

議事録作成人

MD330 会則委員長 細川 孝雄

MD333 会則委員長 岩沼 忠伺

議事録署名人

一般社団法人日本ライオンズ

会則委員会委員長 松本 宰史

2023～2024 年度
第 5 回 336 複合地区会則および付則・運営マニュアル編集委員会

議 事 録

開催日時：2024 年 3 月 22 日（金）16:00～17：15

開催場所：ホテルニューオータニ鳥取

開催形式：R E A L

出席者：次のとおり（敬称略）

役 職	氏 名
世話人	岡村 聖爾
委員長	松岡 諒
副委員長	一宮 昭夫
336-A 地区委員長	徳本 秀樹
336-B 地区委員長	西尾 慎一
336-C 地区委員長	鈴木 健吾
336-D 地区委員長	堀江 成

司会進行：松岡委員長

議事

第 1 開会挨拶（岡村世話人）

第 2 報告

1 複合会則等の改正

松岡委員長から、先般、複合地区会則改正の件で準地区の地区大会でも決議をするよう求める文書が日本ライオンズから各準地区に送付されたと思うが、複合地区会則は複合地区大会の決議事項であるので各準地区大会での決議は必要ないこと、その旨の案内が近日中に追送されることが説明された。

また、複合地区会則の改正について、地区ガバナー等の役割が変更されたこと、キャビネット会議において各コーディネーターに投票権が与えられたこと、禁忌事項について追加されたことが重要な変更点であると説明された。

2 運営マニュアル

松岡委員長から、運営マニュアルの注文部数が想定よりも大幅に少なかったこと、4 月の始めに順次発送されることが報告された。

第 3 議題

（各種規程についての検討）

1 コンプライアンス委員会及びその規程について

松岡委員長から、日本ライオンズから各複合地区、各準地区においてコンプライアンス委員会の設置とそのための規程を整備するよう要請があり、336 複合地区における対応を検討して欲しいと趣旨が説明された。

委員より、ガバナー協議会が個別の会員を縛る権限があるのか、周知するのが限度ではないか、委員会を立ち上げたとして協議会議長がその長に就くのはおかしいのではないか、紳士淑女の集まりであるはずのライオンズクラブでコンプライアンスを強調するのは矛盾があるのではないか、３３６複合地区でそもそも必要性があるのかなど疑義が続出した。

３３６複合地区としては、既存の会則委員会がコンプライアンスに関する決まりを周知徹底する役割を担うこと、この点について今後ガバナー協議会で確認することを決めた。準地区においても同様の対応とすることで一致した。

2 緊急援助資金規程

昨今の大規模災害が頻発しているが、その際に緊急援助資金委員会の委員が被災して緊急援助の実施ができない事態が想定される。

そのため、５条に「(５) 緊急に援助を実施する必要がある、かつ、委員が被災するなどして上記(２)の手続きを経ることができないときは、上記(２)の手続きを経ずに委員長(ガバナー協議会議長)は援助を実施することができる。この場合、援助金額は１００万円を超えることはできず、意思確認できる委員全員の賛成を要する。」と付け加えることを提案する。

今後、ガバナー協議会に提言し、次々回の複合地区大会での改正を目指す。

3 旅費規程

宿泊費支給基準の明確化、支給対象者の明確化、日本ライオンズから支給される旅費との棲み分けなど、協議を継続する。

4 委員会運営内規

旅費の支給対象者の表現が分かりにくいため、４条但し書の「顧問、委員長・コーディネーター、委員」を「役員」に変えるよう、今後、ガバナー協議会に提案する。

5 その他の規程

現時点で変更の必要は無いが、事務局給与規則の８条(役職手当)について、ガバナー協議会で議論が続いているようであり、会則委員会としてはガバナー協議会が議論を決定・確定した後に関係諸規則を整理する。

第３ 閉会挨拶(西尾委員)

○次回以降の委員会日程

未定

議事録作成者 松岡 諒

(2023-2024年度)
第9回会則委員会 (WEB) 議事要録

◎日時：2024年4月24日（水） 10：00～12：00

◎会場：Web会議

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ：

○各複合地区会則委員長：

理事長 田名部智之（八戸LC）

330 複合地区
細川孝雄（東京赤坂LC）

委員長 （MD333協議会議長）
松本宰史（南房総LC）

331 複合地区
馬場哲也（函館東LC）

副委員長（MD335協議会議長）
中谷豊重（岸和田LC）

332 複合地区
荒川友成（郡山西LC）

専務理事
増澤義治（諏訪湖LC）

333 複合地区
岩沼忠伺（千葉ネオLC）

334 複合地区
野村善弘（岡崎竜城LC）

335 複合地区
小林 寛（姫路中央LC）

336 複合地区
松岡 諒（福山久松LC）

337 複合地区
高野正勝（佐賀葉がくれLC）

1. 開会宣言 招集権者 一般社団法人日本ライオンズ会則委員長 松本宰史

2. 一般社団法人日本ライオンズ理事長 ご挨拶

今年度の会則委員会においては、ライオンズ必携・役員必携等の改訂発行等ライオンズのクラブ運営に非常に貢献し、ライオンズクラブの発展に会則委員会が良い流れを作り次年度につながるご活躍をされており感謝しております。またコンプライアンス規定作成に一歩近づき会則を守り楽しく仲良くライオンズ活動ができるように本年の流れを来年度にもつなげてほしい。

3. 出席者確認

全員出席を確認

4. 議事録作成人の指名

MD332 荒川委員 MD334 野村委員

5. 議案

① 前回議事録の確認

松本委員長より前回議事録確認事項の説明

◎上程議案修正説明あり。

◎キャビネット構成員の表記の仕方の件について説明。

◎コンプライアンス委員会について各複合地区において議論をしていただきたい。

② 年次大会への共通提案事項について最終確認

◎複合地区年次大会の上程議案の説明方法について、資料に沿って松本委員長より対応説明。

異議等のあった場合の対処として「ご意見をお伺いし、後日会則委員会にて協議の上対処する」とする。

◎各複合地区の年次大会上程状況の報告

3 3 0 複合地区 複合地区会則委員会として上程を行ったが、ガバナー協議会において事後承諾は認められないという理由から年次大会への上程を拒否。引き続きライオンズ必携第60版を採用。会則関係特別委員会を設置することとなった。会則委員長としては大変無念である。

3 3 1 複合地区 ガバナー協議会に参加し説明を行い、解っていただいた上で上程する。

3 3 2 複合地区 会則変更については国際大会における決定事項であり、上程する。

3 3 3 複合地区 上程議案として提案する。ガバナー協議会では未定だがおそらく問題はないと思われる。

3 3 4 複合地区 問題なく上程議案とする。ガバナー協議会にて決定している。

3 3 5 複合地区 問題なく上程議案とする。国際協会の決定事項であり当然。

3 3 6 複合地区 複合地区大会での承認後に効力を発揮と明記されており、内容も先に知らされているため事後承諾ではないと考えている。複合地区を決めるのはあくまで複合地区の判断であるが、国際会則が優先され

る箇所も当然あり矛盾が生じる箇所は330内で協議が必要になると考えられる、

337 複合地区 年次大会において資料を元に説明をすれば問題はないと考えている。

◎田名部理事長

国際大会において改正された会則の複合地区に於いて上程する年次大会は1年後であるが、国際大会での決定事項に関しては速やかに施行される。会員に改正について速やかに認識していただくため、ライオンズ必携の複合地区会則第30条に施行期日が記載されている。国際大会決定事項に関して、意見は社団として重く受け止めるが、複合地区が年次大会への上程を拒否することは国際協会に対するルール違反となる。

◎増澤専務理事

国際大会での決議事項は実行されており拒否できない。今後は会則改正について、年次大会においては確認事項とするなど、新たなルールの制定も必要になるのではないかと考える。申し送り事項としていただきたい。

◎松本委員長

国際理事候補者資格審査委員会については日本独自の規則であり必携への記載は事後承諾ではあるが、すでに昨年度より名称変更を含めルールとしては採用されており、社員総会にて決議の上実行されている。ボストン国際大会での決定事項については国際理事会においてもすでに採用されている。

③ 23-24年度役員必携 増刷について

松本委員長より役員必携、増刷に当たっての説明。特に初めて会長をされる方にとって非常に役に立つ、必ず必要となるものである。5月連休後印刷ができる予定。新三役研修会に役立ててほしい。

◎各複合地区役員必携についての状況

331 複合地区 周知を徹底していきたい

332 複合地区 クラブ三役はもちろん地区役員にも必要であり、ライオンズクラブ組織運営が理解することができる。クラブ七役まで見てほしい。利用・配布を徹底してほしい。

333 複合地区 クラブ三役研修会で配られおり重宝している。クラブ三役・キャビネット構成員には配布をいただき、活用していただきたい。

334 複合地区 役員必携が発行されない年度があり、独自の資料を作成している地区もある。しかし役員必携は必要であり理解を求めていく。

335 複合地区 クラブの質が落ちると会員数も少なくなる傾向がある。役員必携は必要である。

336 複合地区 必要であり三役セミナーにて使用する。

337 複合地区 研修に視察へ行き活用状況を確認する予定である。

◎中谷副委員長

各地区委員の皆様方の発言通り、クラブ運営に役立つ、活用するよう案内をしていただきたい。

◎松本委員長

クラブ会長にとって組織改正等がありわからない部分が多々あり役員必携は必要、会長

以外にも特にクラブ会計担当の方の助けになり、今後の活動理解に役立つ。

◎田名部理事長

社団の方からも役員必携の必要性を複合・準地区に会則委員長名にて、年度末・年度初めに案内を出してもよいと思う。社団としても周知への取り組みが必要と感じる。

◎増澤専務理事

役員必携を最低でもクラブ三役・五役にも時間が掛かっても購入していただき、活用し、正しい組織運営を勉強していただきたい。

④ コンプライアンス委員会について

松本委員長より日本ライオンズ理事会に於いてコンプライアンス規定・委員会についてほぼ承認される事が固まってきている。複合地区に於いてはさらに複合会則委員会にて規定及び委員会の活用を考えていただき、複合・準地区にて議論検討していただきたい。来期一年間をパイロット期間とし、よりよいものを作るために実際に規約を試用しつつ様子を見、委員会の設置運営を含め、次年度の本格導入を検討いただきたい。

◎各複合地区コンプライアンス委員会についての状況

- 3 3 0 複合地区 検討はする。必要のない地区であるよう努力することが一番である。
- 3 3 1 複合地区 複合地区年次大会にて説明する。
- 3 3 2 複合地区 ガバナー協議会にて直接説明を行う予定である。
- 3 3 3 複合地区 必要な地区があるがそこは拒否する可能性が高い。他の地区では進めたい。
- 3 3 4 複合地区 複合会則委員会では説明し検討。複合協議会では未、複合報告会では内容を説明済み。審議途中である。
- 3 3 5 複合地区 資料は配布済。明後日委員会を行い検討する。人選が大切である。慎重に行うべき問題である。
- 3 3 6 複合地区 ガバナー協議会には頭出しをした。会則委員会に於いて議論検討をした。人選などかなり詰めていくべき問題があるという意見が出、周知徹底が必要であるとの意見がありコンプライアンス委員会でその役目を担っていくこととした。今回は会則委員がコンプライアンス委員を務めることにした。ガバナー協議会に於いて協議していただき大まかな流れを作ってください予定。
- 3 3 7 複合地区 ライオンたるものがどうあるべきか、は必携を見ればわかるという意見はあったが、問題発生時の解決方法は必要であると思っており、再度協議するようにする。

◎松本委員長

人選はたしかに難しい、一名二名ではなく、六、七名程度の委員会構成が中立性を保つためには良いと考えている。

◎中谷副委員長

委員会を作るならば準備も必要であり、周知は早いほうが良い。

◎田名部理事長

ようやく形になり、パイロット期間としてお願いするところまで来ることができた。本来は必要ないと思っているが、社団には毎日のようにライオンズの内外からを問わずメールが来ている。ライオンズメンバーの襟を正すことが必要になり、コンプライアンス規定を作成する必要性が生まれた。設置した上で一年間動きがないというのが理想ではあるが、設置をしないということはできない時代である。

問題が起こる前の抑止力としても期待でき、皆が安心して奉仕に邁進できるように思っている。

本年度当初より会則委員会にて討議、検討し体制が整った来年度の年次大会には承認されるようにしたい。

◎増澤専務理事

コンプライアンス委員会が常設とされるライオンズでは困るが、いろいろな問題が起こっているのは事実である。

対処するところがクラブ・リジョン・キャビネット等多々あることから、何処で誰が判断するかなど温度差はあると思うが皆様と相談しつつ規約をどう活用するか検討いただき、一年間のパイロット期間の中で一番よい活用について検討をいただきたい。

⑤その他

330 複合地区について、335 小林委員よりいくつか質疑あり。

337 複合地区高野委員より、大久保元国際理事の訃報が伝えられた。

336 複合地区松岡委員より報告

キャビネット会議においてキャビネット構成員から質問。ライオンズ必携61版複合会則 P165の16条3項に依ると地区GAT (FWT/GLT/GMT/GST/GET) メンバーおよび LCIFコーディネーターに投票権が与えられているが、P177の第17条—10にはキャビネット構成員としてFWTは入っていない。(インドおよび日本のみの制度のため) FWTのコーディネーターの投票権の有無についての指摘あり。

松岡委員としては事実上GATメンバーであり当然投票権はあると考えているが、会則上にないというため、あいまいな回答であるが地区ごとに決めていただいたほうがよいと回答した。

松本会則委員長より、松岡委員長と同じくGATメンバーとして扱うべきだと考えている。プロトコールには国際本部に合わせ、FWCとして記載されている。投票権はあるという考えで周知いただきたい。次回の必携改定時に何等かの記載が必要であると考えている。

⑥ 次回開催日程について

・6/17 (月) 対面にて開催。

⑦閉会あいさつ 会則委員会副委員長 中谷 豊重

6月に最終の委員会があります。よろしくお願いいたします。

以上

2024年5月4日

議事録作成人

MD332会則委員 荒川 友成

MD334会則委員 野村 善弘

議事録署名人

会則委員長 松本宰史

336 複合地区第3回青少年・ライオンズクエスト・薬物乱用防止 web 委員会

開催日時：2024年5月22日（水）13:00～14:30

司会進行：副委員長 沖 一雄

1.開会挨拶

委員長 春木 扶佐子

理事録作成人の指名

沖一雄副委員長を議事録作成人に指名した。

2. 今期委員会報告及び次期への引継ぎ、活動についての感想

準地区 4 委員長

○吉村 政男 336-A 地区 青少年・LCIF・ライオンズクエスト委員会委員長

（欠席の為、春木複合地区委員長が吉村委員長の資料に基づき報告を行った）

青少年健全育成：子ども食堂・フードバンクへの支援

丸亀製麺によるキッチンカーの支援が、能登半島地震の影響で、一旦中止になり、4月以降での再開を調整している。

サンタ de ウォークが6R～9Rで開催され、街頭募金等子ども食堂支援につながった。

ライオンズクエスト：7月～8月に、土佐LC・高知LC・鳴門LCで教員向けの1日ワークショップを開催した。

8月に6R7R合同でライオンズクエスト体験セミナーを開催

3月31日に、高松東ライオンズクラブが中心になり、ライオンズメンバー対象の1日基本編ワークショップを開催本編のワークショップを開催した。

それぞれの開催費用には、LCIFの交付金と、地区の特別支援金が使われた。

ライオンズクエスト交付金は10月に2年間の最終報告書を提出。

コロナ禍の影響を受け計画通りに実施出来なかったが、2023年からは状況が改善された。1万1,700ドルの交付金のうち、44万2,607円をLCIFに返還した。1月には、1万1,300ドルを新たに申請済み

薬物乱用防止教育認定講師養成講座：1～9までの各リジョンで開催が報告された薬物乱用防止啓発活動も、各クラブからたくさんの報告が来ている。

6R1Z高知桜ライオンズクラブでは、オーストラリアでの、国際麻薬委員会に3名の会員が参加され、高知県立大学との協力関係の構築を行っている。

次年度、土佐LC・鳴門LC・高松東LCで、ライオンズクエストワークショップが予定されている。ライオンズクエスト交付金は1月末に申請している。

子ども食堂支援は丸亀製麺のキッチンカーによる支援があることを伝えた。

○小沢 恭介 336-B地区 青少年・ライオンズクエスト委員会委員長

薬物乱用防止教育認定講師養成講座：11月25日岡山シティホテルで岡山・鳥取合同で実施、25名受講。

4月6日 岡山県真備町で薬物乱用防止啓発活動を実施。

6月9日岡山表通り商店街で、薬物乱用防止パレードを予定している。

ライオンズクエスト今年度実施出来なかった。

次期委員長と、実施に向けて、相談していきたい。

○神原 高宏 336-C地区 青少年（ライオンズクエスト・薬物乱用防止）レオ委員会委員長

薬物乱用防止教育認定講師養成講座：9月23日広島市で開催。68名受講。

9月24日福山市で開催。82名受講。

ライオンズクエストワークショップ：1日基本編ライオンズメンバー・教員対象。

9月20日福山市 21名参加。 9月21日広島市 22名参加

2023年に、7/25・26 福山市で、私立3校のライオンズクエストワークショップ開催。

次年度、2024年7/25・26 福山市で、私立3校のライオンズクエストワークショップ開催。7/26 広島市安佐北区の亀崎小学校でライオンズクエストワークショップの開催が決定。

○坂根 良一 336-D地区 青少年健全育成委員会委員長

薬物乱用防止教育認定講師養成講座：10月21日山口市で開催 46名受講。

10月22日大田市で開催。29名受講。

薬物乱用ダメ・ゼツタイ教室。

山口県 小・中・高 30校 島根県 小・中・高 16校で実施。

ライオンズメンバー向けライオンズクエストワークショップ

6月15日 山口市 15名参加 20名にしたい。

6月16日 大田市 15名参加 20名にしたい。

ライオンズクエストの交付金申請、1件申請中。終わり次第、申請予定。

国際平和ポスター：景品の経費の増額を前年の委員長から引き継いでいる。

金額をUP。参加クラブ 出展数 1317点 一割増えた。

3.ライオンズクエスト交付金・普及活動について

委員長 春木 扶佐子

ライオンズクエスト交付金についての申請から最終報告書提出までの流れ、ライオンズクエスト普及活動の流れについて資料を基に丁寧な説明があった。

4. 委員会活動への助言

担当地区ガバナー 三口 巖

薬物乱用防止啓発活動は、コロナ禍以前より、活発に活動されているのではと思います。ライオンズクエスト交付金の申請は、本来は、地区の委員会がすべきであるが大変な作業になり、キャビネット事務局でも行うことが多いが、こちらも大変な事務量になる。ぜひ、青少年育成支援フォーラムに依頼して相談しながら申請をしてほしい。交付金を申請しないと、ワークショップが出来ない。今はA地区とC地区のみしか申請していないが 各地区、ぜひ子どもたちの為にも、交付金を申請して、ワークショップを行って頂きたい。子どもの時にライフスキルを身につけると、70歳・80歳になって生きている限り、身につけているものですから、ライフスキル教育（ライオンズクエスト）をやる地域と、やらない地域で、地域格差が生まれる。地域格差が生まれない為にも自分達の地域の子ども達の為に、ライオンズクエスト普及活動に取り組んで頂きたい。寄付をするだけでなく、LCIFの交付金を活用して頂きたい。交付金の枠を取る・実践する・報告することが委員会の仕事ですのでやって頂きたい。準地区の委員長には今年度が終わってもライオンズクエストに対して引き継いで協力してほしい。春木複合地区委員長の交付金の資料は分かりやすいので、各地区で公開して頂きたい。

5.閉会挨拶

336複合地区ガバナー協議会議長 澤 辰水

今期の活動のお礼と次年度へのお願いがあった。

議事録作成人

2024年5月23日

336MD 青少年・ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会副委員長
沖 一雄

議事録署名人

2024年5月24日

336MD 青少年・ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会委員長

春木 扶佐子

2023-2024 年度
第 5 回 YCE 委員会 (WEB) 議事録

◎日時：2024 年 3 月 13 日 (水) 13 時 30 分～16 時 00 分

◎開催方法：WEB(於：ZOOM システム)

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 田名部 智之 (八戸LC)

専務理事 増澤 義治 (諏訪湖LC)

YCE委員会

委員長 吉村 弘吉 (和歌山LC)

副委員長 田中 雄一 (狭山LC)

各複合地区YCE委員

330複合地区 ベイリー 久美子 (加須LC)

331複合地区 鈴木 善一 (千歳LC)

332複合地区 菊池 徳男 (北上国見LC)

333複合地区 藤川 清幸 (前橋中央LC)

334複合地区 石本 雅之 (鯖江LC)

335複合地区 正岡 章 (吹田江坂LC)

336複合地区 蔵本 守雄 (高松源平LC)

337複合地区 岡 秀昭 (大川LC)

- ① 開会宣言 一般社団法人 日本ライオンズ YCE 委員長 L.吉村弘吉
会議参加に謝意を表し開会を宣言。
- ② 一般社団法人 日本ライオンズ理事長 L.田名部智之 挨拶
忙しいところ第5回 YCE 委員会にお集まりいただきましてありがとうございます。
今期から本格的に事業が動き出しました。様々な問題が出てきていることは承知いたしております。日本ライオンズは全国のこの諸問題にしっかりと取組み調整して進むべき所存でおります。忌憚のないご意見を出していただき事業推進を宜しくお願い致します（委員長御礼）。
- ③ 出席者の確認 MD331L.鈴木委員長出席少し遅れる旨確認有。
他出席予定者全員出席確認（別紙：出席者リストによる）。
- ④ 議事録作成人の氏名
委員長 MD332L.菊池徳男指名 応諾。
- ⑤ 前回議事録の確認
出席者全員異議なしにより承認。
- ⑥ 議題：確認事項及び協議事項
※以下、コメント等から議事録内においては、「来日」は→「受入」に、「YE の手引き」は→「マニュアル」に表記を統一

1. 春季・夏季交換の最新情報共有・・・

「資料【2024.3.12 現在】春季夏季交換予定数」

※資料をもとに変更・追加箇所の報告

・ MD330. 春・派遣：タイ 3 名 グアム 5 名 計 8 名。

受入：タイ 7 名 グアム 3 名 計 10 名 に修正。

コメント：タイは、LINE のやりとりだけで進行し、正式なアプリケーションフォームが届かない（毎年このような進行具合）。

アメリカは書類が難しくなっている。未成年の派遣時特に。
権限の違いが大きくなり、「パワーオブアスリティ（緊急時に全権限をホストファミリーに与えるという公式文書）」がないと
瀕死の状態でも病院に運ばれても治療してもらえない。

夏・受入：フランス 3 名 オランダ 1 名 メキシコ 1 名 アメリカ 1 名
計 6 名 予定（書類は受領済み）。

夏・派遣：ヨーロッパ希望者 2 名だが日程調整難しく、現状未確定。

アメリカ 1 名（MD337 より希望あり）MD4 と交渉次第で 10
名程派遣できれば。

- ・ MD331.
- ・ MD332. 春・派遣：タイ 1 名（MD330 に依頼済み）。
夏・派遣：アメリカコロラド 2 名 テキサス 3 名 ノルウェー 1 名 募集
依頼あり、未確定（18 日締切・22 日会議予定）。
受入：ノルウェー数名希望あり、調整中。
- ・ MD333. 夏・派遣：ブラジル 7 名。
受入：チェコスロバキア 1 名 来日キャンプ 10 名で予定
派遣・受入とも調整中が多い。
- ・ MD334. 夏・派遣：マレーシア 9 名 イタリア 5 名 ドイツ 5 名 他計 25 名。
受入：イタリア 7 名 ドイツ 5 名 ベルギー 3 名 他計 19 名。
MD330 から依頼のフランス 1 名が入れば 20 名。
※別紙派遣および来日予定表参照願います
- ・ MD335. 夏・派遣：24 名。
受入：25 名 キャンプ 8 日間全員参加予定。
※別紙派遣および来日予定表参照願います
- ・ MD 336. 夏：予定なし
コメント：台湾より 2025 年夏に 20 人から 40 人の受入打診有、各 MD に
て受入可能かヒアリング希望。
→17 日、台湾高雄にて台湾 YCE 事務局長と、吉村委員長、
MD336 蔵本委員にて面談決定。
- ・ MD337. 夏・派遣：シンガポール 12 名 マレーシア 3 名（MD335 に依頼済）
アメリカ・カンザス申し出あり(大事にしたい)未確定。
受入：予定なし。
夏は受け入れはなしだが冬はキャンプ開催を検討中。
- ・ 夏季交換数について、次回委員会にて最終報告を頂く予定。

MD330.ベイリー委員より各複合へ確認：

- ベルギーとインドから、受入依頼メールはきているか？ ベルギー 4 名くらい、インド結構な人数で、国際ディレクトリに日本のキャンプ状況が記載されていないというもの。MD330.では 3/14 複合会議後に回答すると返事済み。
- ・ MD335.：国際協会ディレクトリに日本からは 3 地区程の掲載があるはず。インドから 1 名（キャンパー）受入予定。インドからはすべての MD に対して申込があったと思うが、派遣・受入締切を 1/末に設定していたこと、既に準備も進んでおり、基本 1 カ国 1 名の受入なので、その後はお断りしようと思っている。
- ・ MD334.：MD330 へ連絡のあったベルギー 4 名は現在 MD334 にて受入生として進めている 4 名と同一の可能性あり。ヨーロッパは各国 YCE 責任者 1 名が分配するスタイルであり希望について交換生との齟齬が発生しているの

かもしれない。

- ・ MD333. : 個人依頼メールも多数入ってくるが、受入ホストファミリーで苦勞している、できる範囲で対応するため、お断りの返事をしている。各複合の許容範囲・事情等を考慮した折衝、またキャンセルなどの混乱を避けるためにも落ち着いて取り組んだ方が良いだろう。この後、窓口体制について提案したい。

吉村委員長よりまとめ：

できる範囲がどこまでか考え MD 単位で検討する必要がある、ベルギーは MD330.MD334.で確認し進めていただくようよろしくお願いします。

吉村委員長より：

MD336、台湾について 2025 年夏であり次年度への申し送りとなるが、各 MD の見通しを聞かせてほしい。親日なのできちんと対応していきたい。

- ・ MD330. : 受入は最大 3 名まで OK
- ・ MD331. : 数名 OK
- ・ MD332. : 受入は 2～3 名まで OK 派遣は次期委員長と要相談
- ・ MD333. : 現状白紙
- ・ MD334. : 2 名くらいであれば受入は問題ないと思われる。
- ・ MD335. : 受入は来年の 7 月なら可能、キャンプに参加させることも考慮し、2 名ほど。
- ・ MD337. : 受入についてはどうにかなる。各 MD 1 名として 5 名くらい。
派遣については不明

吉村委員長より蔵本委員へ、加えて下記事項を次期委員への申し送りとする：

日本全体としては受入の用意はあるけれど、各 MD には 2 名、多くても 3 名、それ以上の人数になった場合には MD336 で受入れてほしい。派遣は全体で 10～15 名くらいになるかもしれないこと(台湾は近距離すぎて例年希望者が少ない)は了承していただきたい、という意向を台湾に伝えていただく。
協力関係を構築していく。

MD335.正岡委員より：

受入は 20 名くらいにし、半分の 10 名は MD336 で受け、残りは他 MD で協力して対応する、派遣は例年を見ると 10 名くらいと考えられるので、そのようにお伝えするのが良いのでは。受入の 30 名は大変と感じます。

MD333.藤川委員から受入体制変更の報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・「資料 3」

ホストファミリー調整の難しさから、1 週間ホームステイ後、千葉（固定）でキャンプし、そのまま成田から帰国する仕組みに変更した。

2. YE の手引き（マニュアル）改定について・・・・・・・・・・・・・・・・

「YCE 資料：ベスト着用イラストデータ (1)」

「YCE 資料：日本ライオンズ様_ベストお見積り 20240201」

「参考資料：日本ライオンズ YCE 委員会 20210316 改訂版-統合資料」

●ユニフォーム改定に伴う服装規程の見直しについて

吉村委員長より：

ベストについて 見積もり 300 着作成 1 着 6,013 円（初回）。

身なり等の問題について改定、前回議事録 P4 の内容関連、ベストを含めて各 MD の会議の結果を各委員より報告。

- ・ MD330.：マニュアル改定箇所は協議前、ベスト発注済み
- ・ MD331.：
- ・ MD332.：22 日確認、マニュアル改定は異論出ないと思われる、ベストはタイへの壮行会で着用して利用価値高いと好評。
- ・ MD333.：マニュアル改定文言については検討中、ベストはキャンプ中に役員も着用するため準地区単位で発注・支払いし、YE 生・ボランティア (YE OB・通訳)分は複合が購入。お土産にプレゼント。
- ・ MD334.：マニュアルはユニフォーム着用図の差替で良いのではとの意見。
エンブレム・リボン等の使用について考え方をこの場で確認。（→各地区で判断し、基本、正装およびカジュアルの服装の上にベストを羽織ればそれで良いとの見解を共有した。）
ベスト発注は派遣生、役員分を準地区が対応している。
- ・ MD335.：マニュアル表現については時代に合わせて変更すれば OK。ベストは派遣生着用。複合の委員長や委員はメンバーの希望や公認業者の在庫を加味しブルージャケットを着用（それに合わせてエンブレム、ネクタイ、スカーフ等を着用）。キャンプ用は T シャツ・ポロシャツを別使用。
- ・ MD336.：特に問題なし（後で委員会で確認）。
- ・ MD337.：多様性に合わせて作成変更で良いと思います。

吉村委員長よりまとめ：

「服装規程」についてはジェンダー問題等々、多様性も含めて記述に注意しながら各複合単位で作成する、「マニュアル」についてももう一度見直し等必要だと思うので各複合で話し合っていていただき委員会にあげていただくようお願いします。

3. 交換窓口について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

「資料 4」

「MD335 提案資料：YCE 窓口制度の見直しについて」

吉村委員長より：

件名について MD333.藤川委員、MD335.正岡委員より提案が有ります。

MD333.：別紙資料 4 をもとに説明

窓口制度は残しつつ、窓口を絞る、という提案をしたい。

得意な担当国を残し他の国（グリーンの枠）は時々の MD で 333 を通さずオープンに全国で取り扱い、直接やりとりをしていただく。

日本 8 複合全体のキャンプ情報の地図を掲載できる HP を作成できれば。

MD335.：別紙窓口制度の見直しについて

窓口であってもオープン枠を設け、数名分は窓口を通さず、他 MD へも共有する。キャンプは国際協会ディレクトリを見て MD より直接エントリーしてもらう。窓口MDの了承を得た後は対象国と直接のやり取りをすることによる事務量の削減と、子供たちが行きたい国へ行けることを目指す、YCE の活性化が最大目標です。

・ MD334.：毎日 3～4 個のメールをやり取りしている。

解りやすいのはヨーロッパのようにオールジャパンになればよいですが如何か。個人的には窓口は多いほうが良いとは思いますが難しければ窓口を減らしていくことも検討が必要。

・ MD330.：キャンプは 1 箇所につき 1 つの国から 1 人のルールがあり、例えばフランスから 5 名受け入れる場合はキャンプが 5 か所必要になるため、ヨーロッパについては窓口オープンのほうがやりやすい場合はある。責任の取り方を考えると担当窓口は必要であり、フルオープンにした場合、人気のある地区へ希望が殺到する懸念がある。

・ MD331.：今後の仕組みについて分かりやすく整理するためにも次回の対面会議を希望。

国際協会のディレクトリに日本のキャンプ情報を貼り出し、世界中の募集を受けてはどうか、その中に友好国や得意とする国があれば、その複合が連絡してはどうかと思う。

吉村委員長：

まとめると、各MDで付き合いが長い、人数が多い、信用できる等の国は窓口として残し、他はオープンにするが、責任は担当 MD が負う、という提案。

田中副委員長：

子供たちが大事であり、安心して安全に行き来できることが大事、次を考えるには、次期の担当者も含めて会議を考えては。

田名部理事長：

現時点では厳しいが、複数年の準備期間が必要になるものの日本ライオンズとして担当することは可能ではないかと思う。

増澤専務理事：

現在 YCE の制度が複雑になっており何らかの策が必要ではあるが難しい問題。
人数の割り振りについては1つのテーブルで俎上にあげていくような場があるのがいいと思うが、時間を掛けて制度を作っていくしかないと思う。
日本ライオンズで統括することになれば、5 年スパン位で考えなければいけないと思います。

吉村委員長：

今は結論を出すことはできないが、各複合で得意な国、地域を出して頂いて担当国を確定し、他はオープンとしてどこへ問い合わせをいただいても対応できるようになるのが良いと思うが、責任が発生する以上しっかりした窓口が必要。
次回までに各 MD での得意国をピックアップ
して置いてください。窓口制度を残しつつ移行していけるように考えたい。

田中副委員長：

過去(3~4 年前)に、担当外の国で付き合いがないということで枠外にあったものも含め、窓口には残しましょうと言う話し合いで残し、~~それでまとめた。~~経緯があるので、それは参考にしていただければ。

4. その他

5. 次回委員会開催日程

2024 年 4 月 25 日 (木) 14 時~17 時 対面 東京事務所
委員会終了後は懇親会を開催。

6. 閉会の言葉

田中副委員長

お疲れさまでした。次回、東京で会いましょう。

以上

議事録作成人 MD332YCE 委員長 L.菊池徳男

2023～2024 年度

第 5 回 336 複合地区 YCE・国際関係・レオ・平和ポスター委員会 議事録

日 時：2024 年 6 月 3 日（月）14：00～16：00 ※接続開始 13：50～

場 所：336 複合地区ガバナー協議会事務局

岡山市北区厚生町 3-1-15 岡山商工会議所 6F TEL：086-234-0695

形 式：ハイブリッド

出 欠

※敬称略

		REAL	WEB
議長	澤 辰水		欠
B 地区ガバナー	藤井 信英	○	
次期議長予定者			
MD 世話人	三島 英揮		○
次期 MD 世話人			
MD 委員長	蔵本 守雄	○	
MD 副委員長	大和 博見		欠
B 地区委員長	小銭 和明	○	
次期 MD 委員長			
次期 MD 副委員長	斎藤 明子		○
A 地区委員長	馬場 信一	○	
C 地区委員長	鈴木 啓介		○
D 地区委員長	林 昂史		○
次期 A 地区委員長	泉川 道広	○	
次期 B 地区委員長 ※小川 太郎委員長 代理	住吉 孝文		○
次期 C 地区委員長	松坂 伊佐夫	○	
次期 D 地区委員長	津森 一正		○

司会進行：336 複合地区 YCE 委員会委員長 蔵本 守雄

- 1 開会挨拶：B 地区ガバナー（次期ガバナー協議会議長）藤井 信英
- 2 議事録作成人の指名：
- 3 出席者自己紹介：
- 4 議 題：

①前回 MD336 第 4 回委員会議事録の確認

②第 6 回（4/25）日本ライオンズ YCE 委員会報告

- ・マニュアルの改訂、ジャケットをベストに（MD336 では購入ゼロ）
- ・複合での必要数の予算組予算組。注文は複合を経由し、フジマキネクタイへ
- ・受付窓口の改訂について MD 委員会で検討し、日本 L へ報告 6/10



MD336 の海外交渉国については現行のとおりとする

	交渉国	実施期	交換		人数		備考
			派遣	受入	派遣	受入	
MD336 交渉国	台湾	夏期	○	○	20	20	利用空港は関空発着？
	マサチューセッツ	夏期	△	○	△	1	派遣は交渉による？
	イスラエル	夏期	△	○	△	1～2	来日不可
	モルドバ	夏期	△	○	△	1～2	来日可否要確認
	セルビア	夏期	△	○	△	1～2	来日可否要確認
他 MD 交渉国	各国	※他 MD からの派遣募集と受入要請情報による					

③2025-2026 年、YCE 交換事業再開に向けての意見

- ・キャンプ開催について
- ・ホスト家庭募集について、8MD に依頼を発信
- ・派遣先国について検討等 ※派遣は独自交渉になる予定

④質疑、その他

- ・他 MD 交渉国からの派遣募集、受入要請（ホスト家庭確保）情報にもよるが、地区やクラブでの予算組に無理が生じなければ、次期 2024-2025 年度冬期から派遣、受入ともに可能になることもあり得る。
いずれにしても準備は前倒しで早めに行う必要がある。

※幹事旅行会社の選定

※ホスト家庭の確保

※合同キャンプの場所と内容

- ・次期議長とガバナーエレクト、次期 YCE 委員長を出席対象とし、「次期 YCE 準備委員会」を開催

日 時：6/10（月）15：00～17：00

場 所：複合事務局

形 式：ハイブリッド形式

※会議後に懇親会を開催

5 閉会挨拶：現・次期 MD336 YCE 世話人 三島 英揮

別添資料：MD336 第 4 回委員会（2024/2/24）議事録

日本 L 第 5 回委員会（2024/3/13 議事録

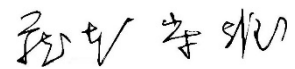
海外交渉通信窓口リスト

台湾 MD 分割図

議事録署名人：

336 複合地区 YCE 委員会委員長 蔵本 守雄

承認年月日 ：2024 年 6 月 3 日



ライオンズクラブ献血推進・協力実績【令和6年1月～5月】

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	合計	R5.1月～6月 実績
受付者数	206人	2,752人	3,002人	3,268人	2,055人	1,512人	3,777人	5,997人	2,948人	25,517人	30,109人
献血者数 -①	174人	2,458人	2,578人	2,787人	1,845人	1,375人	3,272人	5,469人	2,778人	22,736人	27,068人
協力日数(稼働数)-②※	5.0	48.8	43.9	47.5	31.0	26.2	49.5	90.8	71.0	413.7	488.2
1稼働当たりの献血者数 (①/②)	34.8人	50.4人	58.7人	58.7人	59.5人	52.5人	66.1人	60.2人	39.1人	55.0人	55.4人
参加協力クラブ数(実数)	4団体	30団体	37団体	44団体	31団体	18団体	28団体	42団体	26団体	260団体	290団体

※協力日数(稼働数)について:終日の会場は1稼働、半日の会場は0.5稼働など、献血時間に応じて稼働数が変わります。

対象期間における 各県総献血者数	9,484人	8,713人	31,528人	49,341人	20,359人	11,084人	14,917人	21,774人	11,723人	178,923人	220,773人
中四国内総献血者数に占める ライオンズクラブ献血者数の割合	1.8%	28.2%	8.2%	5.6%	9.1%	12.4%	21.9%	25.1%	23.7%	12.7%	12.3%

令和6年1月～6月における中四国各県の献血者数

令和6年	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	合計	令和5年
1月	1,922	1,812	6,628	9,914	4,101	2,294	3,054	4,351	2,435	36,511	35,712
2月	1,788	1,685	6,334	9,577	3,979	2,150	3,125	4,240	2,282	35,160	36,317
3月	1,905	1,650	6,313	10,072	4,158	2,257	3,139	4,405	2,385	36,284	38,146
4月	1,937	1,778	6,223	9,806	4,037	2,212	2,734	4,214	2,289	35,230	36,735
5月	1,932	1,788	6,030	9,972	4,084	2,171	2,865	4,564	2,332	35,738	37,092
6月										0	36,771
計	9,484	8,713	31,528	49,341	20,359	11,084	14,917	21,774	11,723	178,923	220,773

2023～2024 年度
第 3 回 336 長期計画委員会 議事要録

開催日時：2024 年 4 月 5 日（金）15：00～17：00 接続 14：45～
開催場所：336 複合地区ガバナー協議会事務局
形 式：バイブリッド 懇親会：17：30～

出欠

※敬称略、順不同

	役 職	氏 名	REAL	WEB	懇親会
1	ガバナー協議会議長	澤 辰水		○	
2	A 地区ガバナー 複合地区長期計画委員会担当ガバナー	山崎 勝彦	欠		
3	B 地区ガバナー 複合地区長期計画委員会担当ガバナー	藤井 信英	欠		
4	C 地区ガバナー 複合地区長期計画委員会担当ガバナー	三口 巖	欠		
5	D 地区ガバナー 複合地区長期計画委員会担当ガバナー	山崎 もとみ		○	
6	複合地区 GMT(GMA)コーディネーター ※オブザーバー	池原 堅	○		○
7	複合地区長期計画委員会副委員長	石井 淑雄		○	
8	複合地区長期計画委員会副委員長	上原 正樹	欠		
9	複合地区長期計画委員会副委員長	鳴戸 大二	欠		
10	複合地区長期計画委員会副委員長	神田 義満		○	
11	複合地区長期計画委員会 A 地区委員	向 和人		○	
12	複合地区長期計画委員会 B 地区委員	榎本 明	○		○
13	複合地区長期計画委員会 C 地区委員	西本 義弘	欠		
14	複合地区長期計画委員会 D 地区委員	日下 眞二		○	
1.5	複合地区長期計画委員会委員長	酒井 公一	○		○
16	複合地区長期計画委員会 B 地区委員	難波 進	欠		
17	複合地区長期計画委員会 A 地区委員	坂東 伸政	欠		
18	複合地区長期計画委員会 A 地区委員	一宮 昭夫	欠		
19	複合地区長期計画委員会 C 地区委員	九十九 誠		○	
20	複合地区長期計画委員会 D 地区委員	原田 瑞樹		○	

議事進行：MD336 長期計画委員会委員長 酒井 公一

1 開会挨拶：長期計画委員会 委員長 酒井 公一

2. 出席者紹介： //

3. 議長挨拶：ガバナー協議会議長 澤 辰水

4. 議事録作成人の指名

5. 議 題：

- ① ライオンズクラブパンフレット類の配布及び代金振り込み完了報告
- ② 今後の長期計画委員会の進め方、2023 年 9 月 19 日作成に沿った進め方について
- ③ その他（次回開催方法と開催日の決定）

6. 質疑応答：

7. 閉会挨拶：長期計画委員会 オブザーバー 池原 堅

1. 開会挨拶 長期計画委員会委員長 酒井 公一
ライオンズパンフレットの各地区各クラブ5部ずつ配布の確認
来期に向けてミッション1.5に役立ててほしい
2. 出席者
REAL 参加 酒井、池原、榎本 *上原欠席
WEB 参加 澤、山崎もとみ、石井、神田、向、九十九、原田 *藤井欠席
3. 議長挨拶 ガバナー協議会議長 澤 辰水
皆様お忙しい中お疲れ様です。この委員会は将来に向けて大切な委員会ですので
しっかり討議していただき先ずはミッション1.5に向けて役立ててもらいたい

<オブザーバー 池原前議長挨拶>

懸案だったパンフレット問題が解決し いよいよ短期 中期 長期で取り組んでほしい
解散クラブが散見、退会者も増えてる中クラブ支部設立に力を注いでほしい
→クラブ支部設立の基準を作っていく
若手のリーダーを育ててほしい。我が複合では50代が若手だが他地区は30、40代
女性会員の入会、学生会員の入会を将来のために進めてほしい
国際理事候補者となりうる人格者の育成
薬物乱用防止全国大会を336複合地区で開催する案が浮上している

委員は

<現況報告>

- ・酒井 高知県の現況は次期第二副地区ガバナー選定に難航している
- ・石井 A地区は二つのクラブエクステンションと5支部設立を目指してる
第二副地区ガバナー候補者は4~5人いる(香川)
- ・神田 D地区は優秀な候補者がおり、続く候補者もいる
2027年ミッション1.5達成の目標に向かってリーダーを育成
- ・向井 徳島では次世代研修会を開き、候補者選びを行っている
- ・榎本 B地区は次期第二副地区ガバナーは決まっており、その次の予定者もすでに
立候補表明している
336複合地区全体で「若手フォーラム」を開催し未来に備える
- ・九十九 C地区では第二副地区ガバナー選考はうまくいってる
呉にある大企業が撤退する噂があり、新会員発掘には経済的要因が大きく
左右する
- ・原田 ガバナー選考についてはいつも松江3クラブで紛糾する
- ・山崎 次期第二副地区ガバナー候補についてはあまり難しくない
ミッション1.5が大変・・・学生支部エクステンションに向けて努力
2支部達成を目指してる→6月末までにプラス50名が目標
- ・池原 ガバナー特権で優秀な人材を発掘してほしい
C地区ではクラブ会長未経験の若手委員長を複合の会則付則委員長に抜擢し
大きな成果をあげた
- ・榎本 青年アカデミー委員はガバナーが人選し広く全地区から優秀な人材を集める

奉仕活動の進め方

- ・酒井 シェアリングのできる奉仕活動を進めてほしい
- ・神田 一般の人に知ってもらうために、一般の人を巻き込んだ奉仕活動をする
ヘアードネーションで仲間づくりをし支部づくりにつなげたい
- ・向 シェアリングは進んでいない
- ・榎本 我がクラブは地域の美容組合にヘアードネーションのチラシを配布し大きな効果
- ・九十九 NPO法人との連携
- ・原田 メンバー同士の絆を深めコミュニケーションを大切にする
- ・酒井 ガバナー時代のシェアリング例
 - ・コロナ対策 コロナ対策に関する支援で各県100万円
 - ・地震対策 フォークリフトを高知県に300万円
 - ・登山道入り口にトイレ設置で各県に100万円

その他

- ・池原 池原能登の震災に続き台湾花蓮でも大きな地震災害、そして南海トラフに備えますますアラートの役目はおおきくなる。身の安全を守る仕組みづくりを早急に
- ・山崎 2クラブにシェアリング交付金がおりました
- ・神田 台湾花蓮支援をライオンズ中心に→すでにメンバー全員一人 2000 円が決定済み

次期開催について

5 月末か 6 月初めに開催予定

閉会挨拶

- ・ 次世代に向けてこの委員会は大切な委員会だと思います。本日はお疲れさまでした。

懇親会 岡山市本町 「とき」にて 酒井 池原 榎本

おいしい料理とお酒に、楽しいライオンズ話に、窓の外の桜も花を添えてくれ
店主に「そろそろお時間が、、、」と言われ店を後にした。

議事録作成人 336-B 地区 第二副地区ガバナー 榎本 明

議事録署名人：336 複合地区長期計画委員会 委員長 酒井 公一
承認年月日 ：2024 年 4 月 12 日

酒井公一

2023-24年度ライオン誌日本語版委員会 第9回会議 報告書

日 時：2024年4月8日（月）14:00～16:00

場 所：一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議システム・Zoom

出席者：国際理事	城 阪 勝 喜（大阪港ライオンズクラブ）
委員長	藤 谷 文 雄（332複合地区／秋田県・大曲ライオンズクラブ）
編集長	団 英 男（335複合地区／兵庫県・神戸みなとライオンズクラブ）
委員	田 中 明（330複合地区／埼玉県・和光ライオンズクラブ）
委員	馬 場 哲 也（331複合地区／北海道・函館東ライオンズクラブ）
委員	増 澤 義 治（334複合地区／長野県・諏訪湖ライオンズクラブ） 一般社団法人専務理事／PRマーケティング委員長／事務長
委員	渕 野 二 三 世（337複合地区／大分ライオンズクラブ）
一般社団法人理事長	田 名 部 智 之（青森県・八戸ライオンズクラブ）
一般社団法人常務理事 PRマーケティング副委員長	星 野 勝 美（群馬県・太田ライオンズクラブ）
欠席者：国際理事	鶴 嶋 浩 二（北海道・札幌中島ライオンズクラブ）
国際理事	濱 野 雅 司（埼玉県・岩槻ライオンズクラブ）
委員	三 枝 久 夫（333複合地区／栃木県・佐野西ライオンズクラブ）
委員	上 田 隆 政（336複合地区／広島県・三原ライオンズクラブ）
ITアドバイザー	荘 英 隆（東京恵比寿ライオンズクラブ）



藤谷委員長からの開会あいさつで、台湾地震、能登半島地震の被災者に対する見舞いの言葉が述べられ、またライオン誌印刷版春号から社団事務長である増澤委員の制作協力を得ていることに感謝の意が表された。次に城阪国際理事からあいさつがあり、「ライオン誌に関する問題について国内だけでなく国際本部とも協議をし、国際本部からの回答文書を田名部理事長に提出した。田名部理事長と藤谷委員長の下、次回のライオン誌検討委員会で解決が諮られるものと考えている。委員会には充実したライオン誌を作るという使命を果たしていただくことを期待している」と述べられた。続く田名部理事長のあいさつでは「今期また来期の委員会がライオン誌編集に集中出来る環境を構築したい。5月中に第3回ライオン誌検討委員会を開催し合意にこぎ着けたい」との発言があった。

あいさつの後、出席者を確認し、藤谷委員長と団編集長の進行で議事に入った。

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営

●2023年7月～2024年2月ライオン誌関係会計報告

社団の2023-24年度正味財産増減計算書を資料とし、ライオン誌関連科目を確認した。2月は印刷版ライオン誌の発行がなかったので直接出版費は前月からほぼ変わらず24,423,698円（予算執行率76.8%）。毎月発行のデジタル版関連費は8回発行完了し3,564,182円（同51.2%）。予算に沿って運営されていることを確認した。

●2024-25年度ライオン誌予算案

ライオン誌委員会で作成する次年度予算案について、団編集長から社団事務長である増澤委員に提出期限を確認し、5月14日の第11回理事会までの提出が望ましいとの回答があった。前回委員会で次年度予算案作成に当たり直接出版費（印刷・発送・取材）の相見積を取ることにになり、それぞれ3社以上に見積を依頼。各社から提出された見積を一覧にした比較表を資料として団編集長から説明があった。

印刷と発送については、いずれも現在外注している業者の提示額が最も安価であることを確認。印刷は共同印刷、個人発送は宛名商会、クラブ発送は障害者支援情報センター（梱包）及び佐川急便（発送）の見積額をもって、次年度予算案を作成することを承認した。

取材については、現在の外注先であるCUBEから7月以降の受託辞退の申し出があり、他の2社から提示された見積額は現行より3～7割増しとなっている。これについて団編集長から「ウェブマガジン7月号と印刷版夏号までの取材記事は従来通りに掲載出来る。それ以降の取材等については次期委員会の担当だが、次期になってからの対応では間に合わないため今期中に考えておく必要がある。取材方法については今期委員会でもさまざまな意見が出されており議論が必要だが、期限までに予算案を提出するために見積額を基に予算立てし、必要に応じて修正するようにしたい」との考えが示された。また、ライオン誌の質を維持するためには専門家による取材が必要なのか、あるいは必要なスキルを持つ会員で取材を行えるように出来るのかなど、今後の取材方法や記事・表紙などの編集に関して、建設的な意見を出してもらえよう各委員に求めた。

2. ウェブマガジン編集関係

●2024年4月号（4月1日公開）出来

公開済みの4月号出来を確認した。4月の「国際会長メッセージ」は4月2日に国際本部から配信されて編集作業を進めており、近日中に公開する。

●2024年5～7月号更新予定（案）

5～7月号の主要コンテンツの内容を確認した。4月10日にライオン誌委員5人

で能登半島地震の被災地での取材を行い、5、6月号に取材記事を掲載する。前回委員会で取材候補に決定した「取材レポート」3件のうち、日程が確定している1件を6月号掲載とした。実施日未定の残る2件は7月号掲載とするが、うち1件は中止の可能性もあるため、代替案も用意しながら準備を進める。

3. 印刷版編集関係

●2024年春号(4月25日発行)台割

44ページ建ての台割に沿って編集集中の春号の記事を確認した。「特集①能登半島地震」「ミッション1.5」(国際協会配信)「特集②小児がん」「国際理事だより：城阪国際理事」「編集室：団編集長、増澤委員」。

この号から社団事務長の増澤委員がレイアウトを担当し、従来のA4判変型からA4版フルサイズに変更している。団編集長から増澤委員の協力に謝意が伝えられた。また、春号の記事について出席者に発言を求め、以下のような感想、意見が出された。

「すばらしい内容で構成されており、特に問題点はない」(330・田中委員、331・馬場委員)

「判型の変更で比率が変わったことや、時間的な難しさもあったが、委員会に間に合わせる事が出来てよかった」(334・増澤委員)

「読みごたえある記事の集合体で読者にも喜ばれると思う。サイズ変更でどのような仕上がりになるか楽しみにしている」(337・渕野委員)

「新たな取り組みもあり、今後編集長を先頭に新しい態勢を作って発展していくものと感じた」(田名部理事長)

「取材記事は投稿に比べて質が高く、全てを会員で行うのは心配な面もある。専門家による記事が一つは必要と感じる」(星野常務理事)

「良いライオン誌が出来ており来期以降にも期待している。来期は配布の範囲が重要な課題になると考える。経費節減ばかりではなく、ライオン誌をより良くするためであれば、委員会として責任を持って社団に必要な予算を求めればよいと思う」(城阪国際理事)

この他に藤谷委員長から、一部に文字が小さく読みにくい箇所があるとの指摘があり、サイズを大きくする修正を行うこととした。

4 主要記事予定

●2023-24年度主要記事予定

今年度の印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。

5. その他

●ウェブマガジンの改修

ウェブマガジン構築を担当した共同印刷から提出されたサイト改修の概算見積を確認し、検討した。修正が必要な箇所は、ライオン誌出版物をPDF配布にしたことに伴う注文関係のページの削除、分野別記事収集用タグの変更・グローバル奉仕分野の追加など。団編集長から修正箇所について説明があり、そのうちウェブマガジンのバックナンバーを現在の過去12カ月分表示から全号にする修正は費用対効果を考慮して不要とし、総額約50万円の費用で改修を行うことが提案された。また、改修費用については今年度のデジタル版関連費の予算内で賄えるとの見込みが示された。この提案に対する委員の判断が分かれたことから、団編集長の発案で各委員の意見を聴き取るアンケートを行うことにした。

●ServannA（サバンナ）関係

欠席した荘ITアドバイザーからの報告として、次の2点が伝えられた。

- OSEAL調整事務局を通じて本部へ問い合わせていたLion Portal移行によるeMMRへの影響について、技術担当者から「eMMRはこれまで通り稼働する」と回答があった。
- サバンナへの特典会員（学生会員、レオライオン、若年成人会員）の項目追加は現在進行中で、近々完成予定である。

●ライオン誌公式SNS

ライオン誌が運用している公式SNSの登録者数のデータから、徐々に増加していることを確認した。

これに関連して社団の星野常務理事から、来日中の国際本部・サンジーブ・アフジャ事務総長と面会した際、濱野国際理事と共にLion Portalに登録された日本の会員のEメールアドレスをライオン誌普及に利用することが可能か尋ねたところ、許可される可能性が高いという返答があったとの情報が伝えられ、実現すればLINEだけでなくEメールを使った普及活動も出来るようになる、とのコメントがあった。

閉会あいさつ 藤谷委員長

【次回以降開催予定】

5月 9日（木） 14:00～16:00 第10回会議（Zoom）

6月13日（木） 14:00～16:30 第11回会議（集合／日本ライオンズ事務所）

2023-24年度ライオン誌日本語版委員会 第10回会議 報告書

日 時：2024年5月9日（木）14:00～16:00

場 所：一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議システム・Zoom

出席者：委員長	藤谷 文雄（332複合地区／秋田県・大曲ライオンズクラブ）
編集長	団 英男（335複合地区／兵庫県・神戸みなとライオンズクラブ）
委員	田中 明（330複合地区／埼玉県・和光ライオンズクラブ）
委員	三枝 久夫（333複合地区／栃木県・佐野西ライオンズクラブ）
委員	増澤 義治（334複合地区／長野県・諏訪湖ライオンズクラブ） 一般社団法人専務理事／PRマーケティング委員長／事務長
委員	上田 隆政（336複合地区／広島県・三原ライオンズクラブ）
委員	渕野二三世（337複合地区／大分ライオンズクラブ）
一般社団法人常務理事 PRマーケティング副委員長	星野 勝美（群馬県・太田ライオンズクラブ）
ITアドバイザー	荘 英隆（東京恵比寿ライオンズクラブ）
欠席者：国際理事	鶴嶋 浩二（北海道・札幌中島ライオンズクラブ）
国際理事	濱野 雅司（埼玉県・岩槻ライオンズクラブ）
国際理事	城阪 勝喜（大阪港ライオンズクラブ）
委員	馬場 哲也（331複合地区／北海道・函館東ライオンズクラブ）



藤谷委員長からの開会あいさつ、社団の増澤専務理事、星野常務理事のあいさつの後、出席者を確認し、藤谷委員長と団編集長の進行で議事に入った。

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営

●2023年7月～24年3月ライオン誌関係会計報告

社団の2023-24年度正味財産増減計算書を資料とし、ライオン誌関連科目を確認した。3月は印刷版ライオン誌の発行がなかったので直接出版費は前月からほぼ変わらず24,423,940円（予算執行率76.8%）。毎月発行のデジタル版関連費は9回発行完了し3,864,956円（同55.5%）。予算に沿って運営されていることを確認した。

●2024-25年度ライオン誌予算案

前回委員会で採用した業者の見積を基に作成した2024-25年度ライオン誌

予算案が提出され、印刷版及びウェブマガジンの編集にかかる費用などについて団編集長から説明があり内容を確認。委員会の予算案として社団へ提出することを決定した。

2. ウェブマガジン編集関係

●2024年5月号(5月1日公開) 出来

公開済みの5月号出来を確認した。1日の公開後、国際本部からの配信を待っていた「国際会長メッセージ」と、国際大会関係の指定記事(開催通知、公式通達、国際第三副会長候補者)」も追加掲載した。

●2024年6～7月号更新予定(案)

6～7月号の主要コンテンツの内容を確認した。7月号「取材リポート」の取材対象としていた奉仕活動2件のうち1件が中止となったため、代替の取材対象を決定した。

●「取材リポート」取材対象候補

8月号「取材リポート」で取り上げる奉仕活動を検討し、候補2件を選んだ。

3. 印刷版編集関係

●2024年春号(4月25日発行／81,600部) 出来

4月25日に発行した春号の出来を確認。この号から社団事務長の増澤委員がレイアウトを担当した。A4フルサイズに変更したことにより誌面に余裕が出来て見やすくなった点など、評価する意見が出された。

●2024年夏号(7月25日発行) 台割(案)

新年度関係の記事を掲載するため、基本の36ページに8ページを増やした44ページ建ての台割を確認した。新年度関係の記事として指定記事の「表紙・国際会長ポートレート」「2024-25年度国際会長テーマ」の他、「メルボルン国際大会」「2024-25年度地区ガバナー紹介」を掲載し、「国際理事だより」「GAT情報」「LCIF情報」「日本ライオンズ情報」は休載する。「編集室」は次年度も留任する委員の担当とする。

「地区ガバナー紹介」の内容について検討した。昨年度と同じく年齢の記載は任意とし、各地区ガバナーエレクトに原稿を依頼する。また、各地区ガバナーが掲げるスローガンやテーマなどを分かりやすく載せれば参考になるとの意見が出され、掲載方法などについて話し合った。スペースが限られることから一律に記載するのは難しいところもあり、原稿と併せて情報を収集した上で更に検討することにした。

4. 主要記事予定

●2023-24年度主要記事予定

今年度の印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。

5. その他

●第9回委員会の検討事項に関するアンケート

前回委員会で結論が出なかった案件2件について、委員会出席者を対象に行ったアンケート結果が参考資料として提出され、確認した。

今後のライオン誌の記事編集に関する質問への回答では「専門家による取材を継続した方がよい」が「委員やメンバーが出来る範囲で取材を行えばよい」を上回った。これについて団編集長から、現在取材を委託している業者との契約が6月末で終了することから、他の業者の選定を進めると共に委員の協力が必要になるとの見解が示され、出席者からは以下のような意見が出された。

「プロによる記事の方が読み手にとって良い」

「全てをメンバーに任せるのは難しいが、その方向で努力すべき」

「写真などスキルを持つメンバーを活用すべき」

「誌面の充実には専門家の力は必要で、専門家とメンバーの両方をうまく使っていけばよい」

「良いものを作るかどうかを念頭に置き、必要以上に経費を切り詰めるのは適切ではない」

意見交換の後に団編集長から、今年度委員会が編集に当たるウェブマガジン8月号、印刷版夏号まではしっかりと任務を果たせるように取り組んでいきたいとの発言があった。

●ウェブマガジンの改修

上記アンケートで「提案通りに改修すべき」という意見が多数だったことから、必要な修正を行うこととした。修正項目については共同印刷の担当者と詳しい打ち合わせを行った上で決定する。

●ServannA（サバンナ）関係

4月に国際本部のデジタルツールがMyLCIからLion Portalに移行したが、移行後も問題なく以前と同様の入退会情報がサバンナに反映されていることが、荘ITアドバイザーから報告された。

●ライオン誌公式SNS

ライオン誌が運用している公式SNSの登録者数のデータを確認した。

●ライオン誌広告料金

印刷版春号から判型をA4版に変更したことに伴い、広告のサイズを変更して料金は据え置くことを決定。社団の発行となって以降、広告出稿が会員に限定されている理由について質問があり、会計処理上の問題による措置であるとの説明を受けた。会員以外の広告掲載の可否に関して検討してもらえよう、社団の専務理事である増澤事務長に依頼した。

●印刷版有料誌

今年度、クラブ事務局保管用や公共施設等への配布用としてライオン誌

の定期購読を申し込んでいるクラブが約200クラブある。これらのクラブに2024-25年度購読継続の有無を確認し、継続するクラブには7月以降に年間4回発行分の請求書を発送する。

閉会あいさつ 藤谷委員長

【次回以降開催予定】

6月13日(木) 14:00～16:30 第11回会議(集合／日本ライオンズ事務所)＊Zoom併用
7月 8日(月) 14:00～16:00 第12回会議(Zoom)＊新旧合同

2023-2024
一般社団法人 日本ライオンズ
第 6 回国際大会委員会(WEB) 議事要録

作成人 MD333-E 国際大会委員長 車田 一恵
開催日時 2024 年 2 月 21 日(水)13:30～16:00
開催場所 WEB・Zoom

出席者

国際理事

2022-24 国際理事/LCI 大会委員会	鶴嶋 浩二 (札幌中島 LC) 【欠席】
2023-25 国際理事	城阪 勝喜 (大阪港 LC) 【欠席】
2023-25 国際理事	濱野 雅司 (岩槻 LC)

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	田名部 智之(八戸 LC) 【欠席】
専務理事/国際大会委員会(補)	増澤 義治 (諏訪湖 LC)

国際大会委員会

委員長	吉村 弘吉 (和歌山 LC)
副委員長	松浦 淳一 (岩見沢はまなす LC)

各複合地区国際大会委員

MD330	中島 文夫 (東京文化 LC) 【代理出席】
MD331	本所 光男 (室蘭東 LC)
MD332	村上 孝 (水沢中央 LC)
MD333	車田 一恵 (霞ヶ浦 LC) 【代理出席】
MD334	大山 泰範 (一宮 LC)
MD335	江草 長史 (和田山 LC)
MD336	徳永 修 (尾道 LC)
MD337	曾山 純廣 (霧島みらい LC)

オブザーバー/公認 TC 代表

MD333-E 国際大会副委員長	藤野 将寛 (霞ヶ浦 LC) 【第 2 部より参加】
MD335 公認 TC JTB 大阪第二事業部	沼間 章作 (幹事エージェント) 【第 2 部より参加】
MD334 公認 TC JTB 名古屋事業部	丹羽 祐太 【第 2 部より参加】

第1部 (13:30～14:15)

1. 開会宣言

吉村弘吉委員長が開会の宣言をされ、本日の協議内容、特にパレード頒布品のコンペについて説明がなされた。

2. 挨拶

濱野雅司国際理事より以下の挨拶があった。

皆様、ご多忙の中、ご参加くださいましてありがとうございます。メルボルン国際大会まであと4ヵ月となりました。協議しなければことが多々あると思いますので、本日はよろしくお願い申し上げます。

増澤義治一般社団法人日本ライオンズ専務理事より以下の挨拶があった。

本日、田名部理事長が所用で欠席とのことで、代わりに挨拶をさせていただきます。先ほど濱野国際理事よりメルボルン国際大会まであと4ヵ月とお話がありました通り、非常に迫ってきております。決めていかなければいけない事、また過去に決めたことについて問題が発生した時には、それを解決していかなければならないということがありますので、皆様から色々なご意見をいただきながら、多くの方がメルボルン国際大会に行けるようにお力添えいただけますようお願い申し上げます。本日はよろしくお願い致します。

3. 出席者確認

吉村弘吉委員長より出席者リストに基づき、濱野雅司国際理事、増澤義治一般社団法人日本ライオンズ専務理事、吉村弘吉国際大会委員長と松浦淳一国際大会副委員長、各複合地区の委員とオブザーバー、MD335とMD334の公認TCの紹介があった。MD330とMD333は都合がつかず、国際大会委員が欠席となった為、MD330は副委員長が代理出席、MD333はMD333-E国際大会委員長が代理出席することを確認した。

4. 議事録作成人の氏名、および提出締切日の確認

車田一恵 MD333-E 国際大会委員長(岡野良男 MD333 国際大会委員の代理)が指名された。提出期限は、2024年2月29日とされた。

5. 議題 メルボルン国際大会パレード頒布品「コンペ」実施

吉村弘吉委員長より以下の発言があった。

これからコンペ前のルールについて説明をさせていただきます。濱野国際理事のご意見は聞かせていただきますが、投票については差し控えていただければと思います。国際大会委員会で決めなければなりませんので、ご理解の程をお願い致します。投票権をもつ対象者は 11 名です。11 名の内訳は、国際大会委員会の L 吉村、L 松浦、一般社団法人日本ライオンズの L 増澤、各複合地区国際大会委員の L 中島、L 本所、L 村上、L 車田、L 大山、L 江草、L 徳永、L 曾山になります。本日のコンペの内容ですが、ユニフォームが 3 点、交換ピンが 2 点、缶バッジが 3 点になります。私も本日、初見になります。日本ライオンズの鬼塚さんより各社から提出された案の説明をお願いします。

日本ライオンズ鬼塚さんより各社から提案された案の説明がされた。

ユニフォームについては A～C 社から 3 点の提案があった

A 社についての意見

- デザインが良い
- 迫力があって良い
- 文字と年数が入っているので、今年限りで使えない

B 社についての意見

- 値段が高い

C 社についての意見

- 色々詰め込みすぎている感じがする、サイズが多い方が良い
- 値段が良い(L 松浦、L 大山)、絵柄が目立つ
- ポケットと旗がついていて良い
- 文字と年数が入っているので、今年限りで使えない
- 海外で絵柄について話題になったら色々な観光名所を説明できる

増澤義治一般社団法人日本ライオンズ専務理事から以下の発言があった。

コンペは条件が違う中で金額競争すると不利になるので、サイズやポケットの有無等を各社に再度、確認をお願いします。

日本ライオンズ鬼塚さんからの補足情報があつた。

A 社の案のサイズは、本来はフリーサイズのみでの見積り金額だが、あえて 3 サイズでも変わらない単価で提供する考えである。価格を抑えるためにポケットがついていない。

C 社も 3 サイズで、800 着前後の発注があれば、見積りの通り提供ができる。

交換ピンについては A 社と B 社から 2 点の提案があつた

A 社についての意見

- デザインが良い
- 海外の方と交換することを考える良い
- もらったら嬉しいと思うが、桜の形だけでも良い、2 種類の必要があるのか
- ありふれている
- 桜型はメルボルンで交換、オーストラリア型はお土産にもできる

B 社についての意見

- デザインがシンプルで良い
- 値段が良い

C 社についての意見

特になし

缶バッジについては A～C 社から 3 点の提案があった

A 社についての意見

特になし

B 社についての意見

- サイズが小さいので、インパクトに欠ける

C 社についての意見

- 躍動感があって良い
- 富士山と波のインパクトが良い
- 値段が良い
- 北斎を思わせてくれて、日本らしくて良い

上記の意見に基づき、吉村弘吉委員長により採決が行われた。

尚、吉村弘吉委員長は票数が同じになった場合のみに投票に参加する旨を明言された。

◎ユニフォームの投票結果

A 社に賛成 4 票

B 社に賛成 0 票

C 社に賛成 6 票

◎交換ピンの投票結果

A 社に賛成 8 票

B 社に賛成 2 票

◎缶バッジの投票結果

A 社に賛成 1 票

B 社に賛成 0 票

C 社に賛成 9 票

採決の結果、ユニフォームは C 社、交換ピンは A 社、缶バッジは C 社に依頼することに決定した。この結果を踏まえて、各社に連絡をすることとする。4 月の中旬までに希望者が申込みをできるように段取りを確認した。

第2部 (14:30～16:00)

1. 開会宣言

吉村弘吉委員長より会議の再開宣言がされ、第 2 部の協議内容について説明がなされた。

2. 出席者確認

吉村弘吉委員長より出席者リストに基づき、第 1 部に引き続いての参加者紹介があり、第 2 部より MD335 公認 TC、JTB 大阪第二事業部の沼間章作氏と MD334 の公認 TC、JTB 名古屋事業部の丹羽祐太氏が参加する旨が確認された。

3. 議題 メルボルン国際大会の確認

① 株式会社 JTB 大阪支店(幹事エージェント) 報告

(1) ホテル予約状況……………A
MD335 公認 TC、JTB 大阪第二事業部の沼間章作氏から以下の報告があった。

国際本部から日本に正式に割り当てられたホテルについて、各 MD の公認 TC 間で協議が行われ、8 複合の中で割り当てが完了し、すでに各旅行会社で募集が始まっている。

ホテル(Ridges Melbourne)については、もともと割り当てられていたホテル(Four Points By Sheraton Melbourne Docklands)が他のホテルに比べて、外れの方に位置している為、利便性を考え新たに候補としたホテルであり現在調整中である。この 50 室は、MD334、335 で受け持っているが、他の MD で足りない場合は、各 MD の公認 TC 間で協議しあって進めていく予定である。8つ目のホテルとするか、他の7つのホテルに部屋を追加するかについてはオセアル調整局に確認中で、次の会議までには報告できる予定である。

吉村弘吉委員長より以下の発言があった。

通常 10%の上乗せで複合公認 TC より他の旅行会社へ譲っていただいているのに対し、法外な上乗せをしている業者があり、クレームが出ている。ローカルな話から日本全体の問題に発展する可能性がある。

MD335 公認 TC、JTB 大阪第二事業部の沼間章作氏から以下の発言があった。

今までは各 MD にて手数料をお任せしていたが、今後は 8 複合の公認 TC、日本全体の旅行会社で、上乗せは 10%、それ以上では売ってはいけないというルール決めが必要にな

ってくると思う。MD335 ではそういうことはありませんし、現在幹事 TC として押さえているホテルについて、他 MD の公認 TC へ譲る際も手数料はいただきません。

増澤義治一般社団法人日本ライオンズ専務理事から以下の発言があった。

ビジネスで仕事をしている為、10%の上乗せや出発する空港が違う為に料金が多少異なることについては仕方ないと思う。旅行会社間でやり取りをする際に、ホテルの料金が明確になっていないので、元々の値段、手数料等を記載した明細書を発行した方が良い。そうしないと指定のホテルではなく、安いホテルをとって参加する方が出てくる。公認 TC で押さえたホテルを無駄にしない為にも、値段をオープンにしないといけないと思う。

吉村弘吉委員長より以下の発言があった。

各 MD の公認 TC 間で、旅行会社に譲る際の上乗せ(手数料)は 10%と決めていただき、ホテル代金の明示のルール化についても、協議をお願いします。各 MD の国際大会委員の皆様にも公認 TC への働きかけをお願いします。

(2) 各 MD 登録状況.....B
吉村弘吉委員長より以下の発言があった。

2024 年 1 月 29 日時点での日本全体の参加予定者は 786 名になっている。それ以降に増えた数、準地区毎の参加人数、早期登録者の内訳がはっきりしていない。2 月 29 日までに再度報告をお願いします。

各複合地区の国際大会委員は、2024 年 2 月 29 日までに、総参加者数、準地区毎の参加人数、早期登録者の内訳を報告することを確認した。

② パレード進捗.....C
吉村弘吉委員長より以下の発言があった。

鶴嶋国際理事より、今年の国際大会のパレードは、日本で一本化するかという質問があった。前回の会議で確認しましたが、再度確認させてください。

会議参加者全員で、今年の国際大会のパレードは、日本で一本化することを確認した。

吉村弘吉委員長より以下の発言があった。

今年のパレードは、コンペで決まったベストを着用することになるが、日本全体で統一感を出す為、どのような防寒着、ズボン、靴等を着用するのか、ご意見をお聞かせください。

参加者の意見

例年は白の服、靴で参加をしているが、今年は冬季ということで、防寒着が必要になる。統

一感を出す為には、色ぐらいいは2、3色で統一した良い(L 江草)

上の防寒着については、気候によって、調節する方がいることが予想されるので、ある程度の色の指定は必要と感じる。ズボン、スカート、靴については例年通り、白に統一が望ましいと思う(L 中嶋、L 車田)

パレードの時間は長時間になると予想されるので、ベストの下に着る防寒着はかなり温かいものを着用する必要があると思う。色の指定も必要だと思うが、日本は北から南まで広いので、それを考慮した服装の指定が必要だと感じる(L 松浦)

帽子についても着用可否を決めていただきたい(L 曾山)

吉村弘吉委員長より以下の発言があった。

パレードの委員長を各複合地区の国際大会委員から選出し、パレードの服装等も併せてご提案していただくようにしていただきたいと考えております。皆様のご賛同があれば、MD335 の L 江草長史を指名させていただきます。いかがでしょうか。

会議参加者全員の賛成で、今年の国際大会のパレード委員長を MD335 の L 江草長史にやっていただくことを確認した。また L 江草長史の指名により、パレード委員として、MD331 の L 本所光男と MD336 の L 徳永修が任命された。

江草長史 MD335 国際大会委員より以下の発言があった。

荷が重いですが、やらさせていただきます。引き受ける際に必要になるのですが、前回の会議で、今回のパレードは希望者を募ってはどうかという意見がありましたが、希望者と募る場合と全参加では伝え方を変えなくてはなりません。それについてはいかがでしょうか。

吉村弘吉委員長より以下の発言があった。

極力全員参加でお願いしますという方向にしたいです。多くの方にパレードに参加して楽しんでいただきたいと考えておりますが、全員参加を義務化はやめたいと思っております。次回の会議まで草案をお願いします。次回の会議から詳細な協議に入ります。

江草長史 MD335 国際大会委員より以下の発言があった。

例年、パレードについては国際理事候補者の支援委員会と国際大会委員会で協議し、国際理事候補者に費用負担をいただいていたのですが、マーチングバンド等を考慮した場合、今期はどのような費用負担の分担、予算になるのでしょうか。

増澤義治一般社団法人日本ライオンズ専務理事から以下の発言があった。

今期は日本から国際理事が出ないので、国際理事候補者の費用負担は見込めない状況です。日本ライオンズからの国際大会費用を例年よりプラスしておりますが、どのようにする

か、執行理事会で検討する必要がありますので、この場では返答できません。提案を出していただければ、審議事項として協議させていただきます。国旗や横断幕、物品の輸送にかかる費用等は出せる可能性がありますので、また後で相談させてください。

③ 代議委員会進捗・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・D
吉村弘吉委員長より以下の発言があった。

会場の件で、LCIの方にオセアル調整局のマーズ事務局長から打診してもらっているが、まだ返答がない、会場がとれていない状況です。話を進められず、内容も未定で、今日は決めることができません。非常に困っております。濱野国際理事、何か情報はありませんか。

濱野雅司国際理事より以下の発言があった。

今のところ、情報は入ってきておりません。ジャパンレセプションについては、行う理由がきちんと伝わっていないと参加してもらえません。今回は国際理事候補者がいませんので、代議員の方に投票の手順等をお伝えするだけの短い時間になることが予想されます。内容や本当に代議員会を行う必要があるのかを考える必要があります。前は私と城阪国際理事で費用負担しましたが、今回はそれもありませんし、そこも問題になると思います。参加費用も含めて、それに見合う内容なのかを考えていく必要があると考えます。

吉村弘吉委員長より以下の発言があった。

私はジャパンレセプションについては、鶴嶋国際理事に近いところで、色々な話を聞きながら、交渉していく必要があると思っております。そこで松浦淳一国際大会副委員長にジャパンレセプションの委員会の委員長になっていただきたいと考えております。もちろん私も協力いたしますが、窓口等も含めて提案、国際理事との相談をお願いしたいです。

吉村弘吉委員長の提案について松浦淳一国際大会副委員長が了承した。

濱野雅司国際理事より以下の発言があった。

今度3月14日にバンクーバーで国際理事会が行われます。鶴嶋国際理事は国際大会委員ですので、メルボルン国際大会の話が出ると思います。その時には国際本部のスタッフも出席していますので、鶴嶋国際理事と松浦淳一国際大会副委員長が打ち合わせした内容を持ち込んでいただければ、向こうで決定できるのではないかと思います。

増澤義治一般社団法人日本ライオンズ専務理事から以下の発言があった。

大会期間中は、8つのホテルに分かれて宿泊されていますので、どこかで集合してジャパンレセプションを行うとして、シャトルバスを設定しなければいけないことも考えられます。予算

ができましたら、一度日本ライオンズの執行理事会にかけて、その補助を出すのかどうかをご相談させてください。3月末までにある程度の案をいただきたいと思います。

吉村委員長より、鶴嶋国際理事には3月10日ごろまでにお話をする予定であると発言。

松浦副委員長より現在仮決定しているスケジュールについて確認あり。

吉村委員長より前回議事録より変更のない件と、会場はコンベンションセンターを希望している件の回答あり。

吉村委員長よりレセプションについて意見が諮られた。

開催時間を朝もしくは夕方どちらにするか、について意見が出、濱野国際理事からは朝食会の場合は費用が比較的高くなることも考慮し内容を相談いただきたい、海外の方のご来賓も念頭にいられていただきたいとご発言あり。

4. 次回、開催日時

第7回国際大会委員会は、2024年4月24日(水)14:30～17:00に開催する予定とする。

次回はWEB会議ではなく、東京の日本ライオンズの事務局で会議を行う。

会議後は懇親会を行う。

5. 閉会宣言

松浦淳一国際大会副委員長より会議の閉会宣言がされた。

以上

2024年2月21日

議事録作成人

MD333-E 国際大会委員長 車田一恵

2023-2024

2023-2024 一般社団法人日本ライオンズ

第7回国際大会委員会 議事録

日時： 2024 年 4 月 24 日（水）14：30－17：00

場所： 一般社団法人日本ライオンズ事務局＋Zoom

◎出席者：

国際理事

2022-24 国際理事/LCI 大会委員会

鶴嶋 浩二（札幌中島 LC）【欠席】

2023-25 国際理事

城阪 勝喜（大阪港 LC）【欠席】

2023-25 国際理

濱野 雅司（岩槻 LC）

一般社団法人日本ライオンズ

理事長

田名部 智之（八戸 LC）【Web】

専務理事 / 国際大会委員会(補)

増澤 義治（諏訪湖 LC）

国際大会委員会

委員長

吉村 弘吉（和歌山 LC）

副委員長/副理事長

松浦 淳一（岩見沢はまなす LC）

各複合地区国際大会委員

330 複合地区

伊賀 則夫（東京葵 LC）

331 複合地区

本所 光男（室蘭東 LC）

332 複合地区

村上 孝（水沢中央 LC）【Web】

333 複合地区

岡野 良男（土浦環 LC）

334 複合地区

大山 恭範（一宮 LC）

335 複合地区

江草 長史（和田山 LC）

336 複合地区

徳 永 修（尾道 LC）

337 複合地区

曾山 純廣（霧島みらい LC）

オブザーバー

330 複合地区国際大会副委員長

齋藤 友希（戸田 LC）【Web】

MD335 公認 TC JTB 大阪第二事業部

沼間 章作（幹事エージェント）

MD330 公認 TC ウィントラベル東京営業支店

大西 智久【欠席】

MD331 公認 TC JTB 北海道事業部

中牟田 憲一【Web】

MD332 公認 TC 名鉄観光サービス盛岡支店

川村 勲【Web】

MD333 公認 TC ウィントラベル本社

加藤 勉【Web】

MD334 公認 TC JTB 名古屋事業部

丹羽 祐太【Web】

MD336 公認 TC 近畿日本ツーリスト広島支店

金子 愛梨佳【Web】

MD337 公認 TC JTB 福岡支店

藺田 花奈【Web】

◎開会宣言

- ・国際大会委員長 吉村 弘吉

◎ご挨拶

- ・国際理事 濱野 雅司：

国際大会は、全世界のメンバーが集まり、大会ならではの目標がある。開会式、閉会式、投票、セミナーなどへの参加は、多くのメンバーに会えるとても刺激的なことであります。大会委員、準地区・地区からもメンバーに向け発信していただき、多くの参加を訴求していただきたい。

- ・一般社団法人日本ライオンズ 理事長 田名部 智之：

これまでになく吉村委員長には現地地下見していただいたことで、充実した会議内容になると推察される。残り2か月の任期、しっかり務めさせていただくのでよろしくお願いします。

- ・一般社団法人日本ライオンズ 専務理事 増澤 義治：

現地下見で詳細を調べていただいたので、本日はある程度の形に煮詰めていただければありがたい。またパレード等の費用は社団から理事会に提出済みなので、その辺りも明確にして、有意義な内容にしていきたい。

◎本日の出席者確認及び進行について

出席者確認は会議資料にて確認して進行役は吉村委員長が務める。

◎議事録作成人の指名、および提出べ切の確認

吉村委員長から MD332 村上委員が指名された。

主要議題：第106回 メルボルン国際大会確認 【2024年6月21日（金）-25日（火）】

A. 委員長現地地下見報告について

吉村委員長が視察者を代表し説明、本日の会議で追加議題としたい事項を述べた。

【本日決定したい事項】

- パレードのパフォーマンスとしての「和太鼓りんどう」、よさこい「燃-ZEN-」の参加の有無。
- 日本代議員会の会場選定。

【追記情報】

- パレードルートは心地良い環境のため、水の配布が予定されておらず、各自持参を検討。
- 今回の代議員会は朝食会ではなく、「ジャパンレセプション（日本代議員会）」とする。

B. 現在の各種情報について

●登録者数（大会・代議員）

- ・複合の報告体制にもよるが、個人大会登録までは厳密的に追えないため、大会参加予定者数は

現時点での 786 名を最終とする。

- ・代議員登録者数は現在調査中。
- ・MD336 から「大会参加予定者数 72 名」「早期登録者数 55 名」と訂正があった。

●頒布品注文数について

- ・4/23 現在、ベスト購入合計 800 枚強。800 人がパレード参加人数として予想される。

●ホテル室数について

- ・沼間氏から現状報告：

ホテルの部屋数が前回室数 460 室から約 150 室減の合計 313 室に変更された。その理由としては今回は予約サイト(MCI)ではグループ登録でなく個人登録を先行したため公認 TC 通さず個人で予約が行われたことや、非公認 TC を通しての予約等が考えられる。

- ・増澤専務理事から：

公認 TC の仕組みを改めて調整する必要あり、次年度への課題・検討事項としたい。

- ・吉村委員長から：

諸問題はあったものの 8 つの公認 TC が一つになって協力しあい、まとめ、対応、処理してくれたことは確かであり評価する点、今年度の成果であると発言。

●国際協会からの通達について

- ・現時点ではメルボルン大会での会則変更などの公式通達は無いことの確認。
- ・パレード、レセプション関連は、本日公式に決定したら、LCI に報告の上、プログラムに掲載していただけるよう進めていく。

A. 委員長現地見報告について（補足）

吉村委員長が沼間氏へ、現地下見の補足説明をするよう指名する。

- ・沼間氏から補足報告：

MD335 向け沼間氏作成資料を元に、一般的な渡航までの準備、現地交通情報、各施設の立地などの情報が共有された。

- ・吉村委員長から：

今回、大会会場まではトラムやシャトルバスを併用して移動できるため、バスはチャータしないと考えている。

C. パレード進捗について

●MD335 江草委員（パレード委員長）から：

隊列について

- ・「和太鼓・よさこい」、「JAPAN 横断幕担当」、「DG,DGE 整列箇所」等、隊列について各委員から意見交換して下記の通り決定した。

- ・和太鼓とよさこいは先頭と隊列後半部分に配置する。

隊列整備担当について

- ・各準地区から1名ずつ（全35名）選任してもらう。
- ・「JAPAN 横断幕」は国際大会委員（全8名）が担当する。
- ・先頭の国旗旗手担当は田名部理事長に務めていただき、その区間は審査員席近くとする。それ以外の区間には交代要員を配する。他の2本の国旗旗手の手配は江草パレード委員長が指名する事に決定。

ユニフォームについて

- ・ズボンと靴は白又はベージュとしますが通知書類には「望ましい」と記載すること。
- ・ベスト下に着用する服装について各委員から意見が出たが、黒・紺とするが強制するものでないので江草パレード委員長が取りまとめることとした。

パレード前日打合せについて

- ・前日の20時頃から行うことで検討中。

その他報告

- ・MD330ではパレード沿道のギャラリーに向け、お土産として「たけとんぼと紙風船」セットを配布することが決まっていると報告あり。隊列を乱さない範囲で、パレード中に配布することは問題がない事を確認する。

●コンテスト参加申請内容の確認（〆切：5/3(金・祝)）について

- ・国際大会インターナショナル・パレード申請フォームの人数記載は800名とし、その他記載については委員長確認のもと日本ライオンズで申請を行う。

D. ジャパンレセプション（日本代議員会）進捗について

* 【会場選定】

- ・クラウンプロムナートホテルとクラウンプラザホテルの2候補会場から費用・交通アクセス・開始時間を考慮し、クラウンプラザホテル併設の「パールリバーフロント」に決定した。

* 【パールリバーフロント（クラウンプラザホテル）】開催概要（予定）

- ・カクテルレセプション形式。メイン(VIP)用に、テーブル&椅子を設置し、ほかサイドに少し椅子を配置する。
- ・16:30 受付スタート、17:00-18:00（コアタイム）
- ・参加人数は300人とし、現時点で報告を頂いている登録者数から算出の上、各複合間で調整を行い、複合ごとの参加割り当て人数を決定。

【各複合割当数】（合計：300名）

MD330	MD331	MD332	MD333	MD334	MD335	MD336	MD337
45名	20名	30名	45名	50名	65名	25名	20名

- ・チケットはナンバーを入れて作成し、複合地区ガバナー協議会議長宛て文書は、理事長および委員長名で追って配信する。
- ・カクテルレセプション（アルコール、ソフトドリンク 1h フリー、カナッペ程度の軽食つき）、登録料はお 1 人 8,000 円とする。
- ・内容として今年度は I D C が不在の為、国際理事による代議員投票の手順のほか、各国からの国際役員、ホスト委員会 PID にもご挨拶をいただきたい。

E. パレード、ジャパソレセプション（日本代議員会）予算案について

- ・吉村大会委員長から説明。現時点での案で進め、追って理事会で承認を得る。

F. その他

- ・吉村委員長から、現地サポート要員として社団事務局員 2 名の派遣を要請して良いか確認があり、同意を得、追って理事会で承認を得ることになった。

次回、（第 8 回国際大会委員会）開催日程

- ・5 月 2 8 日（火）1 0 : 0 0 - 1 1 : 3 0（Web 開催）

◎閉会宣言

- ・国際大会副委員長 松浦 淳一：

4 月 1 日から 3 日間、2030 年国際大会札幌開催に向け、フランク・ムーア PIP が現地視察で来日。開催地はメルボルン国際大会の投票で決まる。秋元札幌市長も現地で挨拶を行なうため渡豪する予定。またメルボルン国際大会においては世界的に見ても、ホテルの件等、私たちが与えられた課題についてかけ離れているところがあるのではとも思うが、ぜひとも皆さんで参加し、価値のあるメルボルン国際大会にすべく進めましょう。

以上

2024 年 5 月 2 日

議事録作成人

332 複合地区国際大会委員長 村上 孝